

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第4833404号
(P4833404)

(45) 発行日 平成23年12月7日(2011.12.7)

(24) 登録日 平成23年9月30日(2011.9.30)

(51) Int. Cl.	F 1	
AO 1 N 51/00	(2006.01)	AO 1 N 51/00
AO 1 N 47/40	(2006.01)	AO 1 N 47/40
AO 1 N 47/44	(2006.01)	AO 1 N 47/44
AO 1 P 7/04	(2006.01)	AO 1 P 7/04
AO 1 H 5/00	(2006.01)	AO 1 H 5/00
		A
請求項の数 3 (全 106 頁)		

(21) 出願番号	特願2000-539707 (P2000-539707)	(73) 特許権者	500584309
(86) (22) 出願日	平成11年1月14日 (1999.1.14)		シンジェンタ パーティシペーションズ
(65) 公表番号	特表2002-509865 (P2002-509865A)		アクチェンゲゼルシャフト
(43) 公表日	平成14年4月2日 (2002.4.2)		スイス国, ツェーハー 4058
(86) 国際出願番号	PCT/EP1999/000183		ル, シュバルツバルトアレー 215
(87) 国際公開番号	W01999/035913	(74) 代理人	100077517
(87) 国際公開日	平成11年7月22日 (1999.7.22)		弁理士 石田 敬
審査請求日	平成17年12月15日 (2005.12.15)	(74) 代理人	100092624
(31) 優先権主張番号	80/98		弁理士 鶴田 準一
(32) 優先日	平成10年1月16日 (1998.1.16)	(74) 代理人	100087871
(33) 優先権主張国	スイス(CH)		弁理士 福本 積
(31) 優先権主張番号	706/98	(74) 代理人	100089901
(32) 優先日	平成10年3月25日 (1998.3.25)		弁理士 吉井 一男
(33) 優先権主張国	スイス(CH)	(74) 代理人	100108903
			弁理士 中村 和広
最終頁に続く			

(54) 【発明の名称】 形質転換植物に対するネオニコチノイド類の使用

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

活性成分としてチアメトキサムと、少なくとも1つの助剤とを含む農薬組成物を、有害生物またはそれらの環境に適用することを特徴とする、－エンドトキシン Cry III I a 又は －エンドトキシン Cry I Aを発現できる形質転換植物の作物における有害生物を防除する方法。

【請求項2】

形質転換の植物またはその繁殖材料が処理されることを特徴とする請求項1に従う方法。

【請求項3】

形質転換有用植物の繁殖材料が処理されることを特徴とする請求項2に従う方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

本発明は、ニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物（特にチアメトキサム；thiamethoxam）で有害生物を防除（controlling）する方法に関し；より詳しくは、有用植物の形質転換（transgenic）作物内および該作物上の有害生物をニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物で防除する新規な方法に関する。

【0002】

ある有害生物防除方法が、文献において提案されている。しかしながら、これらの方法は、有害生物防除の分野において十分に満足できるものではなく、そのために、有害生物

、特に虫およびダニ (Acarina) 目の代表的なものを防除し、およびこれらと戦うために、または植物、特に作物植物を保護するために、更なる方法を提供することへの需要がある。この目的は、本発明に従って本発明の方法を提供することによって達成される。

【0003】

したがって、本発明は、例えば、トウモロコシ、穀類、大豆、トマト、綿、ジャガイモ、イネおよびマスタードの作物における等の形質転換の有用植物の作物における有害生物を防除する方法であって、遊離形でまたは農芸化学的に有用な塩の形でニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物、特にチアメトキサム、イミダクロプリド (imidacloprid)、Ti-435またはチアクロプリド (thiacloprid) と、少なくとも1つの助剤とを含む農薬 (pesticidal) 組成物を、その有害生物またはそれらの環境、特にその作物植物自体に適用することを特徴とする方法に；当該組成物の使用に、およびそれで処理された形質転換植物の繁殖材料 (propagation material) に関する。

10

【0004】

驚くべきことに、例えば、農薬的に、特に殺虫的に、殺ダニ的に、殺線虫剂的にまたは殺菌的に (fungicidally) 活性な成分を発現する1以上の遺伝子を含む、または除草剤に対して寛容性を有するか、または菌類 (fungi) の攻撃に対して抵抗性の形質転換の有用植物に対する有害生物を防除するためのニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物の使用が相乗効果を有することが、今や判明した。形質転換の植物と組み合わせたニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物の使用が、防除されるべき有害生物に対して原理的に予想された相加的な効果を上回り、したがってニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物の作用の、および、形質転換の植物によって、発現された活性原理の範囲を広げることは、特に2つの点において、非常に驚くべきことである：

20

【0005】

特に、本発明の範囲内において、形質転換の有用植物により発現された効果との組合せにおけるニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物の農薬的な活性が、一般に予想できるような、ニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物単独の農薬的な活性と形質転換の作物植物単独との活性との比較において相加的なだけでなく、相乗効果も存在することが驚くべきことに見出された。しかしながら、用語「相乗的」は、この関連において農薬的な活性に制限されると理解されるべきでは決してなく、その用語は、ニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物単独と、形質転換の有用植物単独との比較において、本発明に従う方法の他の有利な性質にも関連する。言及できるこのような有利な性質の例は：他の有害生物、例えば抵抗性の株への作用の農薬的スペクトルの拡大；ニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物の適用割合 (rate) の減少、またはニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物単独で、または形質転換の有用植物単独では完全に無効である適用割合においても、本発明に従う組成物を用いる有害生物の十分な防除；改良された作物安全性；栄養分または油等のより高い含有量、より良好な繊維品質、改良された保存寿命 (shelf life)、マイコトキシン等の有毒な生成物の低減された含有量、残留物または任意の種類的好適でない成分の低減された含有量またはより良好な消化性等の生産物品質の改善；好適でない温度、干ばつ (droughts) または水の塩分への改善された寛容性；栄養素取込、水取込および光合成等の改良された同化速度；改変された葉エリア (area)、低減された植物性 (vegetative) 成長、収量の増大、有利な種子形/種子厚さまたは発芽性等の有利な作物性質、腐生植物または着生植物による改変されたコロニー化、老衰の減少、改善されたフィトアレキシン生産、加速された熟成、花セット (flower set) の増加、低減された莢落下およびシャッターリング (shattering)、有益動物および捕食動物へのより良好な誘引、増大された受粉、鳥への誘引の低減；または当業者に公知の他の利点である。

30

40

【0006】

チアメトキサム (5 - (2 - クロロチアゾール - 5 - イルメチル) - 3 - メチル - 4 - ニトロイミノ - パーヒドロ - 1, 3, 5 - オキサジアジン) 等のニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物は、EP - A - O' 5 8 0 ' 5 5 3号から公知である。

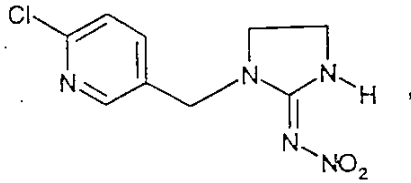
【0007】

50

本発明の範囲内では、「農薬マニュアル (The Pesticide Manual)」、第 10 版、(1991)、The British Crop Protection Council (ロンドン)、第 591 頁から公知の、式

【 0008 】

【 化 1 】



10

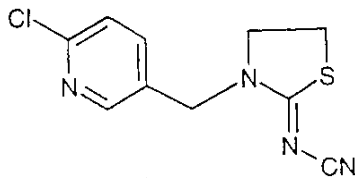
【 0009 】

のイミダクロプリド (imidacloprid) も好ましく ;

ヨーロッパ特許公開 (EP - A) 第 235 ' 725 号から公知の、式

【 0010 】

【 化 2 】



20

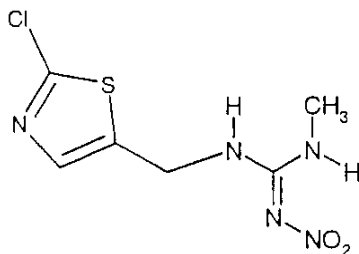
【 0011 】

のチアクロプリド (Thiacloprid) も好ましく ;

更に、ヨーロッパ特許公開第 376 ' 279 号から公知の、式

【 0012 】

【 化 3 】



40

【 0013 】

Ti- 435 (クロチアミジン ; Clotiamidin) も好ましい。

【 0014 】

農芸化学的に適合性の (compatible) ニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物の塩は、例えば、無機および有機酸の酸付加塩、特に塩酸、臭化水素酸、硫酸、硝酸、過塩素酸、リン酸、ギ酸、酢酸、トリフルオロ酢酸、シュウ酸、マロン酸、トルエンスルホン酸または安息香酸の塩である。本発明の範囲内で好ましいものは、活性成分として、チアメ

50

トキサム、イミダクロプリドをそれぞれ遊離形で、とりわけチアメトキサムを含むそれ自体は公知の組成物である。

【0015】

本発明に従って用いられる形質転換の植物は、例えば、毒を産生する無脊椎動物、特に節足動物門から公知の、パチルス・チュリンジェンシス (thuringiensis) 株から得ることができるような、例えば、それらが選択的に作用する毒を合成できるように；または、レクチン (lectins) 等の植物から公知の；または除草剤または殺菌剤 (fungicidal) 耐性を発現できるように、組換えDNA技術により変換された植物またはそれらの繁殖材料である。このような毒、またはこのような毒を合成できる形質転換の植物の例は、例えばヨーロッパ特許公開第 0 374 753号、国際公開第 WO 93/07278号、WO 95/34656号、ヨーロッパ特許公開 0 427 529号およびヨーロッパ特許公開第 451 878号において開示されており、これらは、参照することによりここに組み込む。

10

【0016】

このような形質転換の植物を生成する方法は当業者に周知であり、例えば上記した刊行物に記述されている。

このような形質転換の植物により発現可能な毒は、例えば、殺虫的な性質を有し、および、形質転換の植物により発現される蛋白質等の毒、例えばパチルスセレウス (cereus) 蛋白質またはパチルスポピリアエ (popilliae) 蛋白質；またはパチルス・チュリンジェンシスエンドトキシン (B. t.)；例えば、CryIA(a)、CryIA(b)、CryIA(c)、CryIIA、CryIIIA、CryIIB2、またはCytA；VIP1；VIP2；VIP3等；または、例えば、Photobabidus luminescens、Xenorhabdus nematophilus等のPhotobabidus種またはXenorhabdus種等の線虫類にコロニーを作る (colonising) バクテリアの殺虫性の蛋白質；トリプシンインヒビター、セリンプロテアーゼインヒビター、パタチン (patatin)、シスタチン、パパインインヒビター等のプロテイナーゼインヒビター；リシン (ricin)、トウモロコシ RIP、アブリン (abrin)、ルフイン (luffin)、サポリン (saporin) またはブリヨジン (bryodin) 等のリポソーム不活性化蛋白質 (RIP)；エンドレクチン、大麦レクチンまたはスノードロップレクチン等の植物レクチン；またはアグルチニン類；サソリ毒、スパイダー毒液、スズメバチ毒液および他の虫特異的なニューロトキシン等の動物により生産された毒；3-ヒドロキシステロイドオキシダーゼ、エクジステロイドUDP-グリコシルトランスフェラーゼ、コレステロールオキシダーゼ、エクジソンインヒビター、HMG-CoAレダクターゼ、ナトリウムおよびカルシウム等のイオンチャネル遮断剤、幼若ホルモンエステラーゼ、利尿ホルモンレセプター、スチルベンシクターゼ、ピベンジルシクターゼ、キチナーゼおよびグルカナーゼ等のステロイド代謝酵素を含む。

20

30

【0017】

殺虫剤耐性をコード化し、一つ以上の毒を発現する一つ以上の遺伝子を含む公知の形質転換の植物の例は：KnockOut (登録商標) (トウモロコシ)、YieldGard (登録商標) (トウモロコシ)、NuCOTN 33B (登録商標) (綿)、Bollgard (登録商標)、NewLeaf (登録商標) (ジャガイモ)、NatureGard (登録商標) およびProtecta (登録商標) である。

40

【0018】

以下の表は、標的および原理、有害生物、主に虫、ダニ、線虫類、ウイルス、バクテリアおよび病気に寛容性を示す、または特定の除草剤または除草剤の種類に寛容性を示す形質転換の作物表現型の更なる例を含む。

表A1：作物：トウモロコシ

実施 (effected) 標的または

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

1以上の発現原理

アセトラクテートシクターゼ

スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロ

50

<u>(A L S)</u>			
<u>アセチルC o Aカルボキシラ</u> <u>ーゼ (A C C a s e)</u>		ピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フ タリド	
<u>ヒドロキシフェニルピルビン</u> <u>酸ジオキシゲナーゼ (H P P</u> <u>D)</u>		アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、 シクロヘキサンジオン	
		イソキサフルトール (Isoxaflutol) またはイ ソキサクロルトール (Isoxachlortol) 等のイ ソキサゾール類、メソトリオン (mesotrione) またはスルコトリオン (sulcotrione) 等のト リオン類	
<u>ホスフィノトリチン (thrici</u> <u>n) アセチルトランスフェラ</u> <u>ーゼ</u>		ホスフィノトリチン	10
<u>O - メチルトランスフェラー</u> <u>ゼ</u>		変更リグニンレベル	
<u>グルタミンシンテターゼ</u>		グルフォシネート (Glufosinate)、ピアラフ ォス (Bialaphos)	
<u>アデニロコハク酸リアーゼ (</u> <u>A D S L)</u>		I M P および A M P 合成のインヒビター	
<u>アデニロコハク酸シンターゼ</u> <u>アントラニレートシンターゼ</u>		アデニロコハク酸合成のインヒビター トリプトファン合成および異化作用のインヒビ ター	20
<u>ニトリラーゼ (Nitrilase)</u>		ブロモキシニル (Bromoxynil) およびロキシニ ル (Ioxynil) 等の 3 , 5 - ジハロ - 4 - ヒド ロキシベンゾニトリル類	
<u>5 - エノールピルボイル - 3</u> <u>- ホスフォシキミ酸シンター</u> <u>ゼ (E P S P S)</u>		グリホセート (glyphosate) またはスルホセー ト (sulfosate)	
<u>グリホセートキシドレダクタ</u> <u>ーゼ</u>		グリホセートまたはスルホセート	
<u>プロトポルフィリノーゲンオ</u> <u>キシダーゼ (P R O T O X)</u>		ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニ ルピラゾール類、ピリジン誘導体類、フェノピ レート (phenopylate)、オキサジアゾール類 、その他	30
【 0 0 1 9 】			
<u>実施標的または 1 以上の発現</u> <u>原理</u>		< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>P 4 5 0 S U 1 等のチトク</u> <u>ローム P 4 5 0</u>		生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤	
<u>Dimboa 生合成 (B x 1 遺伝子)</u>		Helminthosporium turcicum 、 Rhopalosiphum maydi 類、 Diplodia maydis、 Ostrinia nubi lalis 、 鱗翅類 .	40
<u>C M I I I (小さいベーシッ</u> <u>クトウモロコシ種子ペプチド</u> <u>コーン - S A F P (ゼーマチ</u> <u>ン ; zeamatin)</u>		例えば、フサリウム、alternaria、sclerotina 等の植物病原体 フサリウム、alternaria、sclerotina、rhizoc tonia 、 chaetomium、phycomyces等の植物病原 体	
<u>H m 1 遺伝子</u>		Cochliobulus	
<u>キチナーゼ</u>		植物病原体	
<u>グルカナーゼ</u>		植物病原体	50

<u>コート蛋白質</u>	maize dwarf mosaicウイルス、maize chlorotic dwarf ウィルス等のウィルス	
<u>バチルス・チュリンジェンシス毒、VIP 3、バチルスセレウス毒、Photorabdus およびXenorhabdus 毒</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、例えば、os trinia nubilalis、heliothis zea 、アワヨトウ幼虫、例えば、spodoptera frugiperda 、corn rootworm 類、sesamia 種、黒ネキリムシ、asian corn borer、ゾウムシ類	
<u>3 - ヒドロキシステロイドオキシダーゼ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、例えば、os trinia nubilalis、heliothis zea 、アワヨトウ幼虫例えば、spodoptera frugiperda 、corn rootworm 類、sesamia 種、黒ネキリムシ、asian corn borer、ゾウムシ類	10
<u>ペルオキシダーゼ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、例えば、os trinia nubilalis、heliothis zea 、アワヨトウ幼虫例えば、spodoptera frugiperda 、corn rootworm 類、sesamia 種、黒ネキリムシ、asian corn borer、ゾウムシ類	
【 0 0 2 0 】		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	< 物表現型 / 寛容性の対象 >	20
<u>ロイシンアミノペプチダーゼインヒビター (LAPI) 等のアミノペプチダーゼインヒビター</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、例えば、os trinia nubilalis、heliothis zea 、アワヨトウ幼虫例えば、spodoptera frugiperda 、corn rootworm 類、sesamia 種、黒ネキリムシ、asian corn borer、ゾウムシ類	
<u>リモネンシンターゼ</u>	corn rootworm	
<u>レクチン類</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、例えば、os trinia nubilalis、heliothis zea 、アワヨトウ幼虫例えば、spodoptera frugiperda 、corn rootworm 類、sesamia 種、黒ネキリムシ、asian corn borer、ゾウムシ類	30
<u>シスタチン、パタチン、ヴィルジフェリン (virgiferin)、CPTI 等のプロテアーゼインヒビター</u>	ゾウムシ類、 corn rootworm	
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、例えば、os trinia nubilalis、heliothis zea 、アワヨトウ幼虫例えば、spodoptera frugiperda 、corn rootworm 類、sesamia 種、黒ネキリムシ、asian corn borer、ゾウムシ類	40
<u>トウモロコシ 5 C 9 ポリペプチド</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、例えば、os trinia nubilalis、heliothis zea 、アワヨトウ幼虫例えば、spodoptera frugiperda 、corn rootworm 類、sesamia 種、黒ネキリムシ、asian corn borer、ゾウムシ類	
<u>HMG - CoA レダクターゼ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、例えば、os trinia nubilalis、heliothis zea 、アワヨトウ幼虫例えば、spodoptem frugiperda、corn rootworm 類、sesamia 種、黒ネキリムシ、asia	50

【0021】

表A2：作物コムギ

実施標的または1以上の発現
原理アセトラクテートシンターゼ
(ALS)アセチルCoAカルボキシラ
ーゼ(ACCase)ヒドロキシフェニルピルビン
酸ジオキシゲナーゼ(HPP
D)ホスフィノトリチンアセチル
トランスフェラーゼO-メチルトランスフェラー
ゼグルタミンシンテターゼ
アデニロコハク酸リアーゼ(A
DSL)アデニロコハク酸シンターゼ
アントラニレートシンターゼニトリラーゼ5-エノールピルボイル-3
-ホスフォシキミ酸シンター
ゼ(EPSPS)グリホセートキシドレダク
ターゼプロトポルフィリノーゲンオ
キシダーゼ(PROTOX)P450 SU1等のチトク
ロームP450抗菌類性(antifungal)ポリ
ペプチドAlyAFPグルコースオキシダーゼピロールニトリン合成遺伝子セリン/スレオニンキナーゼ過敏レスポンス誘引(elicit
ing)ポリペプチド全身性獲得耐性(SAR)遺
伝子キチナーゼグルカナーゼ

n corn borer、ゾウムシ類

<作物表現型/寛容性の対象>

スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロ
ピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フ
タリドアリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、
シクロヘキサジオンイソキサフルトールまたはイソキサクロルト
ール等のイソキサゾール類、メソトリオンまたは
スルコトリオン等のトリオン類

ホスフィノトリチン

改変リグニンレベル

グルフォシネート、ピアラフォス

IMPおよびAMP合成のインヒビター

アデニロコハク酸合成のインヒビター

トリプトファン合成および異化作用のインヒビ
タープロモキシニルおよびロキシニル等の3,5-
ジハロ-4-ヒドロキシベンゾニトリル類

グリホセートまたはスルホセート

グリホセートまたはスルホセート

ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニ
ルピラゾール類、ピリジン誘導體類、フェノピ
レート、オキサジアゾール類、その他

生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤

例えば、septoriaおよびfusarium等の植物病
原体例えば、フサリウムおよびseptoria等の植物病
原体例えば、フサリウムおよびseptoria等の植物病
原体例えば、フサリウム、septoriaおよび他の病気
の植物病原体例えば、フサリウム、septoriaおよび他の病気
の植物病原体ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性
の病原体

植物病原体

植物病原体

10

20

30

40

50

<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	B Y D V および M S M V 等のウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	B Y D V および M S M V 等のウィルス	
<u>バチルス・チュリンジェンシ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、	
<u>ス毒、V I P 3、バチルス</u>		
<u>セレウス毒、Photorabdus お</u>		
<u>よびXenorhabdus 毒</u>		
<u>3 - ヒドロキシステロイドオ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類	
<u>キシダーゼ</u>		
<u>ペルオキシダーゼ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類	
<u>ロイシニアミノペプチダーゼ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、	10
<u>インヒビター等のアミノペプ</u>		
<u>チダーゼインヒビター</u>		
<u>レクチン類</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、アブラムシ (aphids)	
<u>シスタチン、パタチン、ヴィ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、アブラムシ	
<u>ルジフェリン、C P T I 等の</u>		
<u>プロテアーゼインヒビター</u>		
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、アブラムシ	
<u>H M G - C o A レダクターゼ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、例えば、os trinia nubilalis、heliothis zea、アウヨト ウ幼虫例えば、spodoptera frugiperda、corn rootworm 類、sesamia 種、黒ネキリムシ、as ian corn borer、ゾウムシ類	20
【 0 0 2 2 】		
<u>表 A 3 : 作物大麦</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>原理</u>		
<u>アセトラクテートシンターゼ</u>	スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロ	
<u>(A L S)</u>	ピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フ タリド	30
<u>アセチル C o A カルボキシラ</u>	アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、	
<u>ーゼ (A C C a s e)</u>	シクロヘキサンジオン	
<u>ヒドロキシフェニルピルビン</u>	イソキサフルトールまたはイソキサクロルトー	
<u>酸ジオキシゲナーゼ (H P P</u>	ル等のイソキサゾール類、メソトリオンまたは	
<u>D)</u>	スルコトリオン等のトリオン類	
<u>ホスフィノトリチンアセチル</u>	ホスフィノトリチン	
<u>トランスフェラーゼ</u>		
<u>O - メチルトランスフェラー</u>	改変リグニンレベル	40
<u>ゼ</u>		
<u>グルタミンシンテターゼ</u>	グルフォシネート、ピアラフォス	
<u>アデニロコハク酸リアーゼ (</u>	I M P および A M P 合成のインヒビター	
<u>A D S L)</u>		
<u>アデニロコハク酸シンターゼ</u>	アデニロコハク酸合成のインヒビター	
<u>アントラニレートシンターゼ</u>	トリプトファン合成および異化作用のインヒビ ター	
<u>ニトリラーゼ</u>	プロモキシニルおよびロキシニル等の 3 , 5 - ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類	
<u>5 - エノールピルボイル - 3</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>- ホスフォシキミ酸シンター</u>		50

<u>ゼ (EPSPS)</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>グリホセートキシドレダクターゼ</u>		
<u>プロトポルフィリノーゲンオキシダーゼ (PROTOX)</u>	ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導体類、フェノピレート、オキサジアゾール類、その他	
<u>P450 SU1等のチトクロームP450</u>	生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤	
<u>抗菌類性ポリペプチドAllyAFP</u>	例えば、septoriaおよびfusarium等の植物病原体	10
<u>【0023】</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>		
<u>グルコースオキシダーゼ</u>	例えば、フサリウムおよびseptoria等の植物病原体	
<u>ピロールニトリン合成遺伝子</u>	例えば、フサリウムおよびseptoria等の植物病原体	
<u>セリン/スレオニンキナーゼ</u>	例えば、フサリウム、septoriaおよび他の病気の植物病原体	20
<u>過敏レスポンス誘引 (eliciting) ポリペプチド</u>	例えば、フサリウム、septoriaおよび他の病気の植物病原体	
<u>全身性獲得耐性 (SAR) 遺伝子</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類の病原体	
<u>キチナーゼ</u>	植物病原体	
<u>グルカナーゼ</u>	植物病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	BYDVおよびMSMV等のウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	BYDVおよびMSMV等のウィルス	
<u>バチルス・チュリンジェンシス毒、VIP 3、バチルスセレウス毒、Photorabdus およびXenorhabdus 毒</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、	30
<u>3-ヒドロキシステロイドオキシダーゼ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、	
<u>ペルオキシダーゼ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類	
<u>ロイシンアミノペプチダーゼ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、	
<u>インヒビター等のアミノペプチダーゼインヒビター</u>		
<u>レクチン類</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、アブラムシ	
<u>シスタチン、パタチン、ヴィルジフェリン、CPTI等のプロテアーゼインヒビター</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、アブラムシ	40
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、アブラムシ	
<u>HMG-CoAレダクターゼ</u>	鱗翅類、鞘翅類、双翅類、線虫類、アブラムシ	
<u>【0024】</u>		
<u>表A4：作物イネ</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>		
<u>アセトラクテートシンターゼ</u>	スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロ	50

<u>(A L S)</u>			
<u>アセチルC o Aカルボキシラ</u> <u>ーゼ (A C C a s e)</u>		ピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フ タリド	
<u>ヒドロキシフェニルピルビン</u> <u>酸ジオキシゲナーゼ (H P P</u> <u>D)</u>		アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、 シクロヘキサンジオン	
<u>ホスフィノトリチンアセチル</u> <u>トランスフェラーゼ</u>		イソキサフルトールまたはイソキサクロルトー ル等のイソキサゾール類、メソトリオンまたは スルコトリオン等のトリオン類	
<u>O - メチルトランスフェラー</u> <u>ゼ</u>		ホスフィノトリチン	
<u>グルタミンシンテターゼ</u>		改変リグニンレベル	10
<u>アデニロコハク酸リアーゼ (</u> <u>A D S L)</u>		グルフォシネート、ピアラフォス	
<u>アデニロコハク酸シンターゼ</u>		I M PおよびA M P合成のインヒビター	
<u>アントラニレートシンターゼ</u>		アデニロコハク酸合成のインヒビター	
<u>ニトリラーゼ</u>		トリプトファン合成および異化作用のインヒビ ター	
<u>5 - エノールピルボイル - 3</u> <u>- ホスフォシキミ酸シンター</u> <u>ゼ (E P S P S)</u>		プロモキシニルおよびロキシニル等の3 , 5 - ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類	
<u>グリホセートキシドレダクタ</u> <u>ーゼ</u>		グリホセートまたはスルホセート	20
<u>プロトポルフィリノーゲンオ</u> <u>キシダーゼ (P R O T O X)</u>		グリホセートまたはスルホセート	
<u>P 4 5 0 S U 1等のチトク</u> <u>ローム P 4 5 0</u>		ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニ ルピラゾール類、ピリジン誘導体類、フェノピ レート、オキサジアゾール類、その他	
<u>抗菌類性ポリペプチド A 1 y</u> <u>A F P</u>		生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤	
<u>グルコースオキシダーゼ</u>		植物病原体	30
<u>ピロールニトリン合成遺伝子</u> <u>セリン / スレオニンキナーゼ</u>		植物病原体 植物病原体 例えば、フサリウム、septoriaおよび他の病気 の	
<u>フェニルアラニンアンモニア</u> <u>リアーゼ (P A L)</u>		バクテリア性すす紋病 (leaf blight)、誘導 性 (inducible) のrice blast等の植物病原体	
<u>【 0 0 2 5 】</u>		< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>実施標的または1以上の発現</u> <u>原理</u>			40
<u>フィトアレキシン</u>		バクテリア性すす紋病、rice blast等の植物病 原体	
<u>B - 1 , 3 - グルカナーゼア</u> <u>ンチセンス</u>		バクテリア性すす紋病、rice blast等の植物病 原体	
<u>レセプターキナーゼ</u>		バクテリア性すす紋病、rice blast等の植物病 原体	
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプ</u> <u>チド</u>		植物病原体	
<u>全身性獲得耐性 (S A R) 遺</u>		ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類の	50

<u>伝子</u>	病原体	
<u>キチナーゼ</u>	バクテリア性すす紋病、rice blast等の植物病原体	
<u>グルカナーゼ</u>	植物病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	BYDVおよびMSMV等のウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	BYDVおよびMSMV等のウィルス	
<u>バチルス・チュリンジェンシス毒、VIP 3、バチルスセレウス毒、Photorabdus およびXenorhabdus 毒</u>	例えば、stemborer等の鱗翅類、rice waterゾウムシ等の鞘翅類、双翅類、brown rice hopper等のrice hopper類	10
<u>3 - ヒドロキシステロイドオキシダーゼ</u>	例えば、stemborer等の鱗翅類、rice waterゾウムシ等の鞘翅類、双翅類、brown rice hopper等のrice hopper類	
<u>ペルオキシダーゼ</u>	例えば、stemborer等の鱗翅類、rice waterゾウムシ等の鞘翅類、双翅類、brown rice hopper等のrice hopper類	
<u>ロイシンアミノペプチダーゼ</u>	例えば、stemborer等の鱗翅類、rice waterゾウムシ等の鞘翅類、双翅類、brown rice hopper等のrice hopper類	
<u>インヒビター等のアミノペプチダーゼインヒビター</u>	例えば、stemborer等の鱗翅類、rice waterゾウムシ等の鞘翅類、双翅類、brown rice hopper等のrice hopper類	20
<u>レクチン類</u>	例えば、stemborer等の鱗翅類、rice waterゾウムシ等の鞘翅類、双翅類、brown rice hopper等のrice hopper類	
<u>プロテアーゼインヒビター</u>	例えば、stemborer等の鱗翅類、rice waterゾウムシ等の鞘翅類、双翅類、brown rice hopper等のrice hopper類	
【0026】		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	例えば、stemborer等の鱗翅類、rice waterゾウムシ等の鞘翅類、双翅類、brown rice hopper等のrice hopper類	30
<u>HMG - CoAレダクターゼ</u>	例えば、stemborer等の鱗翅類、rice waterゾウムシ等の鞘翅類、双翅類、brown rice hopper等のrice hopper類	
【0027】		
<u>表A5：作物大豆</u>		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	40
<u>アセトラクテートシンターゼ (ALS)</u>	スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フタリド	
<u>アセチルCoAカルボキシラーゼ (ACCase)</u>	アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、シクロヘキサンジオン	
<u>ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ (HPPD)</u>	イソキサフルトールまたはイソキサクロルトール等のイソキサゾール類、メソトリオンまたはスルコトリオン等のトリオン類	
<u>ホスフィノトリチンアセチルトランスフェラーゼ</u>	ホスフィノトリチン	50

<u>0 - メチルトランスフェラーゼ</u>	改変リグニンレベル	
<u>グルタミンシンターゼ</u>	グルフォシネート、ピアラフォス	
<u>アデニコハク酸リアーゼ (ADSL)</u>	IMPおよびAMP合成のインヒビター	
<u>アデニコハク酸シンターゼ</u>	アデニコハク酸合成のインヒビター	
<u>アントラニレートシンターゼ</u>	トリプトファン合成および異化作用のインヒビター	
<u>ニトリラーゼ</u>	プロモキシニルおよびロキシニル等の3, 5 - ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類	10
<u>5 - エノールピルボイル - 3 - ホスフォシキミ酸シンターゼ (EPSPS)</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>【0028】</u>		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>グリホセートキシドレダクターゼ</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>プロトポルフィリノーゲンオキシダーゼ (PROTOX)</u>	ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導体類、フェノレート、オキサジアゾール類、その他	20
<u>P450 SU1またはセレクション等のチトクロームP450</u>	生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤	
<u>抗菌類性ポリペプチドAlyAFP</u>	フサリウム、sclerotinia、茎腐病 (stem rot) 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>シュウ酸オキシダーゼ</u>	フサリウム、sclerotinia、茎腐病 (stem rot) 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>グルコースオキシダーゼ</u>	フサリウム、sclerotinia、茎腐病等のバクテリア性および菌類病原体	30
<u>ピロールニトリン合成遺伝子</u>	フサリウム、sclerotinia、茎腐病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>セリン/スレオニンキナーゼ</u>	フサリウム、sclerotinia、茎腐病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (PAL)</u>	フサリウム、sclerotinia、茎腐病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>フィトアレキシン</u>	バクテリア性すす紋病、rice blast等の植物病原体	
<u>B - 1, 3 - グルカナーゼアンチセンス</u>	バクテリア性すす紋病、rice blast等の植物病原体	40
<u>レセプターキナーゼ</u>	フサリウム、sclerotinia、茎腐病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプチド</u>	植物病原体	
<u>全身性獲得耐性 (SAR) 遺伝子</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類の病原体	
<u>キチナーゼ</u>	フサリウム、sclerotinia、茎腐病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>グルカナーゼ</u>	フサリウム、sclerotinia、茎腐病等のバクテ	50

【0029】

実施標的または1以上の発現原理

二本鎖リボヌクレアーゼ
コート蛋白質
パチルス・チュリンジェンシ
ス毒、VIP 3、パチルス
セレウス毒、Photorabdsu お
よびXenorhabdsu 毒
3-ヒドロキシステロイドオ
キシダーゼ
ペルオキシダーゼ
ロイシニアミノペプチダーゼ
インヒビター等のアミノペプ
チダーゼインヒビター
レクチン類
ヴィルジフェリン等のプロテ
アーゼインヒビター
リボソーム不活性化蛋白質
HMG-CoAレダクターゼ
バルナーゼ(Barnase)
シスト線虫孵化刺激
抗摂食原理

【0030】

表A6：作物ジャガイモ
 実施標的または1以上の発現原理

アセトラクテートシンターゼ
(ALS)
アセチルCoAカルボキシラ
ーゼ(ACCASE)
ヒドロキシフェニルピルビン
酸ジオキシゲナーゼ(HPP
D)

【0031】

実施標的または1以上の発現原理

ホスフィノトリチンアセチル
トランスフェラーゼ
O-メチルトランスフェラー
ゼ
グルタミンシンテターゼ
アデニロコハク酸リアーゼ(
ADSL)
アデニロコハク酸シンターゼ

リア性および菌類病原体

<作物表現型/寛容性の対象>

BYDVとSBMV等のウィルス
 BYDVおよびMSMV等のウィルス
 鱗翅類、鞘翅類、アブラムシ

鱗翅類、鞘翅類、アブラムシ

鱗翅類、鞘翅類、アブラムシ

鱗翅類、鞘翅類、アブラムシ

鱗翅類、鞘翅類、アブラムシ

鱗翅類、鞘翅類、アブラムシ

鱗翅類、鞘翅類、アブラムシ

鱗翅類、鞘翅類、アブラムシ

根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類
シスト線虫

根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類

<作物表現型/寛容性の対象>

スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロ
 ピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フ
 タリド

アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、
 シクロヘキサジオン

イソキサフルトールまたはイソキサクロルト
 ール等のイソキサゾール類、メソトリオンまたは
 スルコトリオン等のトリオン類

<作物表現型/寛容性の対象>

ホスフィノトリチン

改変リグニンレベル

グルフォシネート、ピアラフォス
 IMPおよびAMP合成のインヒビター

アデニロコハク酸合成のインヒビター

10

20

30

40

50

<u>アントラニレートシンターゼ</u>	トリプトファン合成および異化作用のインヒビター	
<u>ニトリラーゼ</u>	プロモキシニルおよびロキシニル等の3, 5 - ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類	
<u>5 - エノールピルボイル - 3 - ホスフォシキミ酸シンターゼ (EPSPS)</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>グリホセートキシドレダクターゼ</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>プロトボルフィリノーゲンオキシダーゼ (PROTOX)</u>	ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導體類、フェノレート、オキサジアゾール類、その他	10
<u>P450 SU1またはセレクション等のチトクロームP450</u>	生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤	
<u>ポリフェノールオキシダーゼまたはポリフェノールオキシダーゼアンチセンス</u>	黒斑bruise	
<u>メタロチオネイン (Metallothionein)</u>	Phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	20
<u>リボヌクレアーゼ</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia	
<u>抗菌類性ポリペプチドAllyAFP</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>グルコースオキシダーゼ</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>ピロールニトリン合成遺伝子</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>【0032】</u>		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	30
<u>セリン / スレオニンキナーゼ</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>Cecropin B</u>	コリネバクテリウム sepedonicum、Erwinia carotovora等のバクテリア	
<u>フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (PAL)</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>フィトアレキシン</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>B - 1, 3 - グルカナーゼアンチセンス</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体	40
<u>レセプターキナーゼ</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプチド</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>全身性獲得耐性 (SAR) 遺伝子</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類の病原体	
<u>キチナーゼ</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>バルナーゼ</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等	50

<u>病気耐性レスポンス遺伝子 49</u>	のバクテリア性および菌類病原体 Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体 黒斑	
<u>トランスアルドラーゼアンチセンス</u>		
<u>グルカナーゼ</u>	Phytophthora、Verticillium、Rhizoctonia 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	PLRV、PVYおよびTRV等のウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	PLRV、PVYおよびTRV等のウィルス	
<u>7 kDa または 60 kDa 蛋白質</u>	PLRV、PVYおよびTRV等のウィルス	10
<u>核インクルージョン蛋白質、例えば a または b</u>	PLRV、PVYおよびTRV等のウィルス	
<u>【0033】</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>プソイドユビキチン</u>	PLRV、PVYおよびTRV等のウィルス	
<u>レプリカーゼ</u>	PLRV、PVYおよびTRV等のウィルス	
<u>バチルス・チュリンジェンシス毒、VIP 3、バチルスセレウス毒、Photorabdus および Xenorhabdus 毒</u>	colorado potato beetle等の鞘翅類、アブラムシ	20
<u>3 - ヒドロキステロイドオキシダーゼ</u>	colorado potato beetle等の鞘翅類、アブラムシ	
<u>ペルオキシダーゼ</u>	colorado potato beetle等の鞘翅類、アブラムシ	
<u>ロイシンアミノペプチダーゼ</u>	colorado potato beetle等の鞘翅類、アブラムシ	
<u>インヒビター等のアミノペプチダーゼインヒビター</u>		30
<u>スチルベンシンターゼ</u>	colorado potato beetle等の鞘翅類、アブラムシ	
<u>レクチン類</u>	colorado potato beetle等の鞘翅類、アブラムシ	
<u>シスタチン、パタチン等のプロテアーゼインヒビター</u>	colorado potato beetle等の鞘翅類、アブラムシ	
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	colorado potato beetle等の鞘翅類、アブラムシ	
<u>HMG - CoA レダクターゼ</u>	colorado potato beetle等の鞘翅類、アブラムシ	40
<u>シスト線虫孵化刺激</u>	シスト線虫	
<u>バルナーゼ</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
<u>抗摂食原理</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
<u>【0034】</u>		
<u>表 A 7 : 作物トマト</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>アセトラクテートシンターゼ (ALS)</u>	スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フ	50

【 0 0 3 5 】

実施標的または1以上の発現原理

タリド

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

アセチルC o Aカルボキシラ
ーゼ (A C C a s e)

ヒドロキシフェニルピルビン
酸ジオキシゲナーゼ (H P P
D)

ホスフィノトリチンアセチル
トランスフェラーゼ

O - メチルトランスフェラー
ゼ

グルタミンシンテターゼ
アデニロコハク酸リアーゼ (
A D S L)

アデニロコハク酸シンターゼ
アントラニレートシンターゼ

ニトリラーゼ

5 - エノールピルボイル - 3
- ホスフォシキミ酸シンター
ゼ (E P S P S)

グリホセートキシドレダクタ
ーゼ

プロトポルフィリノーゲンオ
キシダーゼ (P R O T O X)

P 4 5 0 S U 1 またはセレ
クシオン等のチトクローム P
4 5 0

ポリフェノールオキシダーゼ
またはポリフェノールオキシ
ダーゼアンチセンス

メタロチオネイン (Metallot
hionein)

リボヌクレアーゼ
抗菌類性ポリペプチド A l y
A F P

シュウ酸オキシダーゼ

グルコースオキシダーゼ

ピロールニトリン合成遺伝子

アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、
シクロヘキサンジオン
イソキサフルトールまたはイソキサクロルトー
ル等のイソキサゾール類、メソトリオンまたは
スルコトリオン等のトリオン類
ホスフィノトリチン

改変リグニンレベル

グルフォシネート、ピアラフォス
I M P および A M P 合成のインヒビター

アデニロコハク酸合成のインヒビター
トリプトファン合成および異化作用のインヒビ
ター

プロモキシニルおよびロキシニル等の 3 , 5 -
ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類
グリホセートまたはスルホセート

グリホセートまたはスルホセート

ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニ
ルピラゾール類、ピリジン誘導體類、フェノピ
レート、オキサジアゾール類、その他
生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤

黒斑bruise

phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原
体

Phytophthora 、 Verticillium、Rhizoctonia
bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うど
んこ病、crown rot 、 leaf mould等のバクテリ
ア性および菌類病原体

bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うど
んこ病、crown rot 、すすかび病、その他等の
バクテリア性および菌類病原体

bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うど
んこ病、crown rot 、すすかび病、その他等の
バクテリア性および菌類病原体

bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うど
んこ病、crown rot 、すすかび病、その他等の

10

20

30

40

50

<u>セリン / スレオニンキナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体 bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot 、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>Cecropin B</u>	bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot 、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (P A L)</u>	bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot 、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	10
例えば <u>C f 9</u> 、 <u>C f 5</u> 、 <u>C f 4</u> 、 <u>C f 2</u> 等の <u>C f 遺伝子</u>	すすかび病	
<u>オスモチン (Osmotin)</u>	alternaria solani	
<u>アルファ ホルドチオニン (Hordothionin)</u>	バクテリア	
<u>システミン (Systemin)</u>	bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot 、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	
【 0 0 3 6 】		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	20
<u>ポリガラクトウルナーゼ (Polylgalacturonase) インヒビター類</u>	bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot 、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>P r f 調節 (regulatory) 遺伝子</u>	bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot 、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>I 2 フサリウム耐性座 (locus)</u>	フサリウム	30
<u>フィトアレキシン</u>	bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot 、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>B - 1 , 3 - グルカナーゼアンチセンス</u>	bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot 、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>レセプターキナーゼ</u>	bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot 、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプチド</u>	bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot 、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	40
<u>全身性獲得耐性 (S A R) 遺伝子</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類の病原体	
<u>キチナーゼ</u>	bacterial speck 、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot 、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	
【 0 0 3 7 】		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	50

<u>バルナーゼ</u>	bacterial speck、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>グルカナーゼ</u>	bacterial speck、フサリウム、軟腐病、うどんこ病、crown rot、すすかび病、その他等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	PLRV、PVYおよびTomov等のウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	PLRV、PVYおよびTomov等のウィルス	10
<u>7kDaまたは60kDa蛋白質</u>	PLRV、PVYおよびTomov等のウィルス	
<u>核インクルージョン蛋白質、例えばaまたはb核蛋白質(nucleoprotein)</u>	PLRV、PVYおよびTomov等のウィルス	
<u>プソイドユビキチン</u>	TRV	
<u>レプリカーゼ</u>	PLRV、PVYおよびTomov等のウィルス	20
<u>パチルス・チュリンジェンシス毒、VIP 3、パチルスセレウス毒、PhotorabdusおよびXenorabdus毒</u>	heliothis等の鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>3-ヒドロキシステロイドオキシダーゼ</u>	heliothis等の鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>ペルオキシダーゼ</u>	heliothis等の鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>ロイシンアミノペプチダーゼインヒビター等のアミノペプチダーゼインヒビター</u>	heliothis等の鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	30
<u>レクチン類</u>	heliothis等の鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>シスタチン、パタチン等のプロテアーゼインヒビター</u>	heliothis等の鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	heliothis等の鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>スチルベンシンターゼ</u>	heliothis等の鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
【0038】		40
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	<作物表現型/寛容性の対象>	
<u>HMG-CoAレダクターゼ</u>	heliothis等の鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>シスト線虫孵化刺激</u>	シスト線虫	
<u>バルナーゼ</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
<u>抗摂食原理</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
【0039】		
<u>表A8:作物コショウ</u>		50

実施標的または1以上の発現原理

アセトラクテートシンターゼ (ALS)

アセチルCoAカルボキシラーゼ (ACCase)

ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ (HPD)

ホスフィノトリチンアセチルトランスフェラーゼ

O-メチルトランスフェラーゼ

グルタミンシンテターゼ

アデニロコハク酸リアーゼ (ADSL)

アデニロコハク酸シンターゼ
アントラニレートシンターゼ

ニトリラーゼ

5-エノールピルボイル-3-ホスフォシキミ酸シンターゼ (EPSPS)

グリホセートキンドレダクターゼ

【0040】

実施標的または1以上の発現原理

プロトポルフィリノーゲンオキシダーゼ (PROTOX)

P450 SU1またはセレクシオン等のチトクロームP450

ポリフェノールオキシダーゼ
またはポリフェノールオキシダーゼアンチセンス

メタロチオネイン

リボヌクレアーゼ

抗菌類性ポリペプチド AlyAFP

シュウ酸オキシダーゼ

グルコースオキシダーゼ

ピロールニトリン合成遺伝子
セリン/スレオニンキナーゼ

Cecropin B

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フタリド

アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、シクロヘキサジオン

イソキサフルトールまたはイソキサクロルトール等のイソキサゾール類、メソトリオンまたはスルコトリオン等のトリオン類

ホスフィノトリチン

改変リグニンレベル

グルフォシネート、ピアラフォス
IMPおよびAMP合成のインヒビター

アデニロコハク酸合成のインヒビター
トリプトファン合成および異化作用のインヒビター

ブromoキシニルおよびロキシニル等の3,5-ジハロ-4-ヒドロキシベンゾニトリル類
グリホセートまたはスルホセート

グリホセートまたはスルホセート

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導體類、フェノレート、オキサジアゾール類、その他
生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤

バクテリア性および菌類病原体

バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体

バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体

rot、すすかび病、その他等のバクテリア性お

10

20

30

40

50

<u>フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (PAL)</u>	よび菌類病原体	
<u>例えば Cf 9、Cf 5、Cf 4、Cf 2 等の Cf 遺伝子</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>オスモチン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>アルファ ホルドチオニン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>システミン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>ポリガラクトウルナーゼインヒビター類</u>	バクテリア性および菌類病原体	10
<u>Prf 調節遺伝子</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>I 2 フサリウム耐性座</u>	フサリウム	
<u>フィトアレキシン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>B - 1, 3 - グルカナーゼアンチセンス</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>レセプターキナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプチド</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>全身性獲得耐性 (SAR) 遺伝子</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類の病原体	20
<u>【0041】</u>		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	<作物表現型/寛容性の対象>	
<u>キチナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>バルナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>グルカナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	CMV、TEV等のウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	CMV、TEV等のウィルス	
<u>7kDaまたは60kDa蛋白質</u>	CMV、TEV等のウィルス	30
<u>核インクルージョン蛋白質、例えばaまたはb</u>	CMV、TEV等のウィルス	
<u>核蛋白質</u>	CMV、TEV等のウィルス	
<u>プソイドユビキチン</u>	CMV、TEV等のウィルス	
<u>レプリカーゼ</u>	CMV、TEV等のウィルス	
<u>バチルス・チュリンジェンシス毒、VIP 3、バチルスセレウス毒、Photorabdus およびXenorhabdus 毒</u>	鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	40
<u>3 - ヒドロキシステロイドオキシダーゼ</u>	鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>ペルオキシダーゼ</u>	鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>ロイシンアミノペプチダーゼ</u>	鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>インヒビター等のアミノペプチダーゼインヒビター</u>		
<u>レクチン類</u>	鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>シスタチン、パタチン等のプロテアーゼインヒビター</u>	鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	50

<u>スチルベンシンターゼ</u>	鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>HMG-CoAレダクターゼ</u>	鱗翅類、コナジラミ、アブラムシ	
<u>シスト線虫孵化刺激</u>	シスト線虫	
<u>バルナーゼ</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
<u>抗摂食原理</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
【0042】		
<u>表A9：作物ブドウ</u>		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	<作物表現型/寛容性の対象>	10
<u>アセトラクテートシンターゼ (ALS)</u>	スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フタリド	
【0043】		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	<作物表現型/寛容性の対象>	
<u>アセチルCoAカルボキシラーゼ (ACCase)</u>	アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、シクロヘキサンジオン	
<u>ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ (HPPD)</u>	イソキサフルトールまたはイソキサクロルトール等のイソキサゾール類、メソトリオンまたはスルコトリオン等のトリオン類	20
<u>ホスフィノトリチンアセチルトランスフェラーゼ</u>	ホスフィノトリチン	
<u>O-メチルトランスフェラーゼ</u>	改変リグニンレベル	
<u>グルタミンシンテターゼ</u>	グルフォシネート、ピアラフォス	
<u>アデニコハク酸リアーゼ (ADSL)</u>	IMPおよびAMP合成のインヒビター	
<u>アデニコハク酸シンターゼ</u>	アデニコハク酸合成のインヒビター	30
<u>アントラニレートシンターゼ</u>	トリプトファン合成および異化作用のインヒビター	
<u>ニトリラーゼ</u>	プロモキシニルおよびロキシニル等の3,5-ジハロ-4-ヒドロキシベンゾニトリル類	
<u>5-エノールピルボイル-3-ホスフォシキミ酸シンターゼ (EPSPS)</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>グリホセートキシドレダクターゼ</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>プロトボルフィリノーゲンオキシダーゼ (PROTOX)</u>	ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導体類、フェノピレート、オキサジアゾール類、その他	40
<u>P450 SU1またはセレクション等のチトクロームP450</u>	生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤	
<u>ポリフェノールオキシダーゼ</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>またはポリフェノールオキシダーゼアンチセンス</u>		
<u>メタロチオネイン</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	50

<u>リボヌクレアーゼ</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>抗菌類性ポリペプチド A l y A F P</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>【 0 0 4 4 】</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>シュウ酸オキシダーゼ</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	10
<u>グルコースオキシダーゼ</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>ピロールニトリン合成遺伝子</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>セリン / スレオニンキナーゼ</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>Cecropin B</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (P A L)</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	20
<u>例えば C f 9、C f 5、C f 4、C f 2 等の C f 遺伝子</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>オスモチン</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>アルファ ホルドチオニン</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>システミン</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>ポリガラクトウルナーゼインヒビター類</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	30
<u>P r f 調節遺伝子</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>フィトアレキシン</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>B - 1 , 3 - グルカナーゼアンチセンス</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>レセプターキナーゼ</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプチド</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	40
<u>【 0 0 4 5 】</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>全身性獲得耐性 (S A R) 遺伝子</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性病原体	
<u>キチナーゼ</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>バルナーゼ</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	50

<u>グルカナーゼ</u>	Botrytisおよびうどんこ病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	ウイルス	
<u>コート蛋白質</u>	ウイルス	
<u>7 k D a または 6 0 k D a 蛋白質</u>	ウイルス	
<u>核インクルージョン蛋白質、例えば a または b 核蛋白質</u>	ウイルス	
<u>プソイドユビキチン</u>	ウイルス	10
<u>レプリカーゼ</u>	ウイルス	
<u>バチルス・チュリンジェンシス毒、V I P 3、バチルスセレウス毒、Photorabdus およびXenorhabdus 毒</u>	鞘翅類、アブラムシ	
<u>3 - ヒドロキシステロイドオキシダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>ペルオキシダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>ロイシンアミノペプチダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>インヒビター等のアミノペプチダーゼインヒビター</u>		20
<u>レクチン類</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>シスタチン、パタチン等のプロテアーゼインヒビター</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>スチルベンシンターゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>H M G - C o A レダクターゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>シスト線虫孵化刺激</u>	シスト線虫	
<u>バルナーゼ</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
<u>C B I</u>	根こぶ線虫	30
<u>【 0 0 4 6 】</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>抗摂食原理</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
<u>【 0 0 4 7 】</u>		
<u>表 A 1 0 : 作物 脂肪種子セイヨウアブラナ</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	40
<u>アセトラクテートシンターゼ (A L S)</u>	スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フタリド	
<u>アセチル C o A カルボキシラーゼ (A C C a s e)</u>	アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、シクロヘキサンジオン	
<u>ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ (H P P D)</u>	イソキサフルトールまたはイソキサクロルトール等のイソキサゾール類、メソトリオンまたはスルコトリオン等のトリオン類	
<u>ホスフィノトリチンアセチルトランスフェラーゼ</u>	ホスフィノトリチン	50

<u>0 - メチルトランスフェラーゼ</u>	改変リグニンレベル	
<u>グルタミンシンターゼ</u>	グルフォシネート、ピアラフォス	
<u>アデニコハク酸リアーゼ (ADSL)</u>	IMPおよびAMP合成のインヒビター	
<u>アデニコハク酸シンターゼ</u>	アデニコハク酸合成のインヒビター	
<u>アントラニレートシンターゼ</u>	トリプトファン合成および異化作用のインヒビター	
<u>ニトリラーゼ</u>	プロモキシニルおよびロキシニル等の3, 5 - ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類	10
<u>5 - エノールピルボイル - 3 - ホスフォシキミ酸シンターゼ (EPSPS)</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>グリホセートキシドレダクターゼ</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>プロトポリフィリノーゲンオキシダーゼ (PROTOX)</u>	ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導体類、フェノレート、オキサジアゾール類、その他	
<u>P450 SU1またはセレクション等のチトクロームP450</u>	生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤	20
<u>ポリフェノールオキシダーゼまたはポリフェノールオキシダーゼアンチセンス【0048】</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>メタロチオネイン</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	30
<u>リボヌクレアーゼ</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>抗菌類性ポリペプチドA1yAFP</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>シュウ酸オキシダーゼ</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>グルコースオキシダーゼ</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>ピロールニトリン合成遺伝子</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	40
<u>セリン / スレオニンキナーゼ</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>Cecropin B</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (PAL)</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>例えば Cf 9、Cf 5、Cf 4、Cf 2 等の Cf 遺伝子</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>オスモチン</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia等のバクテリア性および菌類病原体	50

<u>アルファ ホルドチオニン</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia 等の バクテリア性および菌類病原体	
<u>システミン</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia 等の バクテリア性および菌類病原体	
<u>ポリガラクトウルナーゼイン ヒビター類</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia 等の バクテリア性および菌類病原体	
<u>P r f 調節遺伝子</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia 等の バクテリア性および菌類病原体	
<u>フィトアレキシン</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia 等の バクテリア性および菌類病原体	10
【 0 0 4 9 】		
<u>実施標的または 1 以上の発現 原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>B - 1 , 3 - グルカナーゼア ンチセンス</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia 等の バクテリア性および菌類病原体	
<u>レセプターキナーゼ</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia 等の バクテリア性および菌類病原体	
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプ チド</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia 等の バクテリア性および菌類病原体	20
<u>全身性獲得耐性 (S A R) 遺 伝子</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性 病原体	
<u>キチナーゼ</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia 等の バクテリア性および菌類病原体	
<u>バルナーゼ</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia 等の バクテリア性および菌類病原体、線虫類	
<u>グルカナーゼ</u>	Cylindrosporium、Phoma、Sclerotinia 等の バクテリア性および菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	ウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	ウィルス	30
<u>7 k D a または 6 0 k D a 蛋 白質</u>	ウィルス	
<u>核インクルージョン蛋白質、 例えば a または b</u>	ウィルス	
<u>核蛋白質</u>	ウィルス	
<u>プソイドユビキチン</u>	ウィルス	
<u>レプリカーゼ</u>	ウィルス	
<u>バチルス・チュリンジェンシ ス毒、V I P 3、バチルス セレウス毒、Photorabdus お よびXenorhabdus 毒</u>	鱗翅類、アブラムシ	40
<u>3 - ヒドロキシステロイドオ キシダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>ペルオキシダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>ロイシンアミノペプチダーゼ インヒビター等のアミノペプ チダーゼインヒビター</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>レクチン類</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>シスタチン、パタチン、C P T I 等のプロテアーゼインヒ</u>	鱗翅類、アブラムシ	50

ピター

【0050】

実施標的または1以上の発現原理

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

リボソーム不活性化蛋白質

鱗翅類、アブラムシ

スチルベンシンターゼ

鱗翅類、アブラムシ、病気

HMG-CoAレダクターゼ

鱗翅類、アブラムシ

シスト線虫孵化刺激

シスト線虫

10

バルナーゼ

根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類

CBI

根こぶ線虫

線虫類の摂食部位において誘導される抗摂食原理

根こぶ線虫およびrootシスト線虫等の線虫類

【0051】

表A11: 作物 アブラナ属野菜 (キャベツ、芽キャベツ、ブロッコリ、その他)

実施標的または1以上の発現原理

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

アセトラクテートシンターゼ (ALS)

スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フタリド

20

アセチルCoAカルボキシラーゼ (ACCase)

アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、シクロヘキサンジオン

ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ (HPPD)

イソキサフルトールまたはイソキサクロルトール等のイソキサゾール類、メソトリオンまたはスルコトリオン等のトリオン類

ホスフィノトリチンアセチルトランスフェラーゼ

ホスフィノトリチン

O-メチルトランスフェラーゼ

改変リグニンレベル

30

グルタミンシンテターゼ

グルフォシネート、ピアラフォス

アデニコハク酸リアーゼ (ADSL)

IMPおよびAMP合成のインヒビター

アデニコハク酸シンターゼ

アデニコハク酸合成のインヒビター

アントラニレートシンターゼ

トリプトファン合成および異化作用のインヒビター

ニトリラーゼ

プロモキシニルおよびロキシニル等の3,5-ジハロ-4-ヒドロキシベンゾニトリル類

5-エノールピルボイル-3-ホスフォシキミ酸シンターゼ (EPSPS)

グリホセートまたはスルホセート

40

【0052】

実施標的または1以上の発現原理

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

グリホセートキシドレダクターゼ

グリホセートまたはスルホセート

プロトポルフィリノーゲンオキシダーゼ (PROTOX)

ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導體類、フェノピ

50

<u>P 4 5 0 S U 1</u> または <u>セレクシオン等のチトクローム P 4 5 0</u>	レート、オキサジアゾール類、その他 生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤	
<u>ポリフェノールオキシダーゼ</u> または <u>ポリフェノールオキシダーゼアンチセンス</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>メタロチオネイン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>リボヌクレアーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>抗菌類性ポリペプチド A l y A F P</u>	バクテリア性および菌類病原体	10
<u>シュウ酸オキシダーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>グルコースオキシダーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>ピロールニトリン合成遺伝子</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>セリン / スレオニンキナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>Cecropin B</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (P A L)</u>	バクテリア性および菌類病原体	
例えば <u>C f 9、C f 5、C f 4、C f 2</u> 等の <u>C f 遺伝子</u>	バクテリア性および菌類病原体	20
<u>オスモチン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>アルファ ホルドチオニン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>システミン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>ポリガラクトウルナーゼイ</u> <u>ンヒビター類</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>P r f 調節遺伝子</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>フィトアレキシン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>B - 1, 3 - グルカナーゼア</u> <u>ンチセンス</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>レセプターキナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	30
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプ</u> <u>チド</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>全身性獲得耐性 (S A R) 遺</u> <u>伝子</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性 病原体	
<u>キチナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>【 0 0 5 3 】</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現</u> <u>原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>バルナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	40
<u>グルカナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	ウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	ウィルス	
<u>7 k D a</u> または <u>6 0 k D a 蛋</u> <u>白質</u>	ウィルス	
<u>核インクルージョン蛋白質、</u> <u>例えば a</u> または <u>b</u>	ウィルス	
<u>核蛋白質</u>	ウィルス	
<u>プソイドユビキチン</u>	ウィルス	
<u>レプリカーゼ</u>	ウィルス	50

<u>パチルス・チュリンジェンシス毒、VIP 3、パチルスセレウス毒、Photorabdus およびXenorhabdus 毒</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>3 - ヒドロキステロイドオキシダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>ペルオキシダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>ロイシニアミノペプチダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>インヒビター等のアミノペプチダーゼインヒビター</u>		10
<u>レクチン類</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>シスタチン、パタチン、CPTI 等のプロテアーゼインヒビター</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>スチルベンシンターゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、病気	
<u>HMG - CoAレダクターゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ	
<u>シスト線虫孵化刺激</u>	シスト線虫	
<u>バルナーゼ</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
<u>CBI</u>	根こぶ線虫	20
<u>線虫類の摂食部位において誘導された抗摂食原理</u>	根こぶ線虫およびrootシスト線虫等の線虫類	
<u>【0054】</u>		
<u>表A12：作物 リンゴ、梨等の梨果</u>		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	<作物表現型/寛容性の対象>	
<u>アセトラクテートシンターゼ (ALS)</u>	スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フタリド	30
<u>アセチルCoAカルボキシラーゼ (ACCase)</u>	アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、シクロヘキサンジオン	
<u>ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ (HPPD)</u>	イソキサフルトールまたはイソキサクロルトール等のイソキサゾール類、メソトリオンまたはスルコトリオン等のトリオン類	
<u>ホスフィノトリチンアセチルトランスフェラーゼ</u>	ホスフィノトリチン	
<u>O - メチルトランスフェラーゼ</u>	改変リグニンレベル	
<u>グルタミンシンテターゼ</u>	グルフォシネート、ピアラフォス	40
<u>アデニロコハク酸リアーゼ (ADSL)</u>	IMPおよびAMP合成のインヒビター	
<u>アデニロコハク酸シンターゼ</u>	アデニロコハク酸合成のインヒビター	
<u>アントラニレートシンターゼ</u>	トリプトファン合成および異化作用のインヒビター	
<u>ニトリラーゼ</u>	プロモキシニルおよびロキシニル等の3,5 - ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類	
<u>5 - エノールピルボイル - 3 - ホスフォシキミ酸シンターゼ (EPSPS)</u>	グリホセートまたはスルホセート	50

グリホセートキシドレダクターゼ

プロトポルフィリノーゲンオキシダーゼ (P R O T O X)

P 4 5 0 S U 1 またはセレクシオン等のチトクローム P 4 5 0

ポリフェノールオキシダーゼ
またはポリフェノールオキシダーゼアンチセンス

メタロチオネイン

リボヌクレアーゼ

【 0 0 5 5 】

実施標的または 1 以上の発現原理

抗菌類性ポリペプチド A 1 y A F P

シュウ酸オキシダーゼ

グルコースオキシダーゼ

ピロールニトリン合成遺伝子

セリン / スレオニンキナーゼ

Cecropin B

フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (P A L)

例えば C f 9、C f 5、C f 4、C f 2 等の C f 遺伝子
オスモチン

アルファ ホルドチオニン

システミン

ポリガラクトウルナーゼイ
ヒビター類

P r f 調節遺伝子

フィトアレキシン

B - 1 , 3 - グルカナーゼア
ンチセンス

レセプターキナーゼ

グリホセートまたはスルホセート

ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導體類、フェノプレート、オキサジアゾール類、その他
生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤

リンゴ腐敗病 (apple scab)、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体

リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性

10

20

30

40

50

<u>過敏レスポンス誘引ポリペプチド</u>	および菌類病原体	
<u>全身性獲得耐性 (SAR) 遺伝子</u>	リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>分解性蛋白質 (lytic protein)</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性病原体	
<u>リゾチーム</u>	リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>キチナーゼ</u>	リンゴ腐敗病、または火傷病等のバクテリア性および菌類病原体	10
<u>バルナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>グルカナナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	ウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	ウィルス	
<u>7 kDa または 60 kDa 蛋白質</u>	ウィルス	
<u>核インクルージョン蛋白質、例えば a または b または核蛋白質</u>	ウィルス	20
<u>プソイドユビキチン</u>	ウィルス	
<u>レプリカーゼ</u>	ウィルス	
<u>バチルス・チュリンジェンシス毒、VIP 3、バチルスセレウス毒、Photorabdus および Xenorhabdus 毒</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ	
<u>3-ヒドロキシステロイドオキシダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ	
<u>ペルオキシダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ	
<u>ロイシンアミノペプチダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ	30
<u>インヒビター等のアミノペプチダーゼインヒビター</u>		
<u>レクチン類</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ	
<u>シスタチン、パタチン、CPTI 等のプロテアーゼインヒビター</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ	
<u>【0056】</u>		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	40
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ	
<u>スチルベンシンターゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、病気、ダニ	
<u>HMG-CoA レダクターゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ	
<u>シスト線虫孵化刺激</u>	シスト線虫	
<u>バルナーゼ</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
<u>CBI</u>	根こぶ線虫	
<u>線虫類の摂食部位において誘導された抗摂食原理</u>	根こぶ線虫およびrootシスト線虫等の線虫類	
<u>【0057】</u>		
<u>表A13：作物 メロン</u>		50

実施標的または1以上の発現原理

アセトラクテートシンターゼ (ALS)

アセチルCoAカルボキシラーゼ (ACCase)

ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ (HPD)

ホスフィノトリチンアセチルトランスフェラーゼ

O-メチルトランスフェラーゼ

グルタミンシンテターゼ

アデニロコハク酸リアーゼ (ADSL)

アデニロコハク酸シンターゼ
アントラニレートシンターゼ

ニトリラーゼ

5-エノールピルボイル-3-ホスフォシキミ酸シンターゼ (EPSPS)

【0058】

実施標的または1以上の発現原理

グリホセートキシドレダクターゼ

プロトボルフィリノーゲンオキシダーゼ (PROTOX)

P450 SU1またはセレクシオン等のチトクロームP450

ポリフェノールオキシダーゼ
またはポリフェノールオキシダーゼアンチセンス

メタロチオネイン

リボヌクレアーゼ

抗菌類性ポリペプチドAlyAFP

シュウ酸オキシダーゼ

グルコースオキシダーゼ

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フタリド

アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、シクロヘキサジオン

イソキサフルトールまたはイソキサクロルトール等のイソキサゾール類、メソトリオンまたはスルコトリオン等のトリオン類

ホスフィノトリチン

改変リグニンレベル

グルフォシネート、ピアラフォス
IMPおよびAMP合成のインヒビター

アデニロコハク酸合成のインヒビター
トリプトファン合成および異化作用のインヒビター

ブromoキシニルおよびロキシニル等の3,5-ジハロ-4-ヒドロキシベンゾニトリル類
グリホセートまたはスルホセート

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

グリホセートまたはスルホセート

ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導體類、フェノレート、オキサジアゾール類、その他
生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤

phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体

phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体

phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体

phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体

phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体

phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原

10

20

30

40

50

<u>ピロールニトリン合成遺伝子</u>	体 phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>セリン/スレオニンキナーゼ</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>Cecropin B</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (PAL)</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>例えば Cf 9、Cf 5、Cf 4、Cf 2 等の Cf 遺伝子</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	10
<u>オスモチン</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
【0059】		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>アルファ ホルドチオニン</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>システミン</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	20
<u>ポリガラクトウルナーゼインヒビター類</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>Prf 調節遺伝子</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>フィトアレキシン</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>B - 1, 3 - グルカナーゼアンチセンス</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>レセプターキナーゼ</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	30
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプチド</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>全身性獲得耐性 (SAR) 遺伝子</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性病原体	
<u>分解性蛋白質</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>リゾチーム</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>キチナーゼ</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	40
<u>バルナーゼ</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>グルカナーゼ</u>	phytophthora 等のバクテリア性および菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	CMV、PRSV、WMV2、SMV、ZYMV等のウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	CMV、PRSV、WMV2、SMV、ZYMV等のウィルス	
【0060】		50

実施標的または1以上の発現原理

17kDaまたは60kDa蛋白質
核インクルージョン蛋白質、
例えばaまたはbまたは核蛋白質
プソイドユビキチン

レプリカーゼ

バチルス・チュリンジェンシ
ス毒、VIP 3、バチルス
セレウス毒、Photorabdus お
よびXenorhabdus 毒

3-ヒドロキシステロイドオ
キシダーゼ

ペルオキシダーゼ

ロイシンアミノペプチダーゼ
インヒビター等のアミノペプ
チダーゼインヒビター

レクチン類

シスタチン、パタチン、CP
TI、ヴィルジェフェリン等
のプロテアーゼインヒビター

リボソーム不活性化蛋白質

スチルベンシンターゼ

HMG-CoAレダクターゼ

シスト線虫孵化刺激

バルナーゼ

CBI

線虫類の摂食部位において誘
導された抗摂食原理

【0061】

表A14：作物 バナナ

実施標的または1以上の発現原理

アセトラクテートシンターゼ
(ALS)

アセチルCoAカルボキシラ
ーゼ(ACCASE)

ヒドロキシフェニルピルビン
酸ジオキシゲナーゼ(HPP
D)

ホスフィノトリチンアセチル
トランスフェラーゼ

O-メチルトランスフェラー

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

CMV、PRSV、WMV2、SMV、ZYM
V等のウィルス

CMV、PRSV、WMV2、SMV、ZYM
V等のウィルス

CMV、PRSV、WMV2、SMV、ZYM
V等のウィルス

CMV、PRSV、WMV2、SMV、ZYM
V等のウィルス

鱗翅類、アブラムシ、ダニ

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、コナジラミ

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、コナジラミ

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、コナジラミ

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、コナジラミ

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、コナジラミ

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、コナジラミ

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、コナジラミ

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、コナジラミ

シスト線虫

根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類

根こぶ線虫

根こぶ線虫およびrootシスト線虫等の線虫類

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロ
ピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フ
タリド

アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、
シクロヘキサンジオン

イソキサフルトールまたはイソキサクロルトー
ル等のイソキサゾール類、メソトリオンまたは
スルコトリオン等のトリオン類

ホスフィノトリチン

改変リグニンレベル

10

20

30

40

50

ゼグルタミンシンテターゼ
アデニロコハク酸リアーゼ (
A D S L)グルフォシネート、ピアラフォス
I M P および A M P 合成のインヒビターアデニロコハク酸シンターゼ
アントラニレートシンターゼアデニロコハク酸合成のインヒビター
トリプトファン合成および異化作用のインヒビ
ターニトリラーゼプロモキシニルおよびロキシニル等の 3 , 5 -
ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類
グリホセートまたはスルホセート5 - エノールピルボイル - 3
- ホスフォシキミ酸シンター
ゼ (E P S P S)グリホセートキシドレダクタ
ーゼ

グリホセートまたはスルホセート

プロトポルフィリノーゲンオ
キシダーゼ (P R O T O X)ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニ
ルピラゾール類、ピリジン誘導體類、フェノピ
レート、オキサジアゾール類、その他
スルホニル尿素P 4 5 0 S U 1 またはセレ
クション等のチトクローム P
4 5 0ポリフェノールオキシダーゼ
またはポリフェノールオキシ
ダーゼアンチセンス

バクテリア性および菌類病原体

メタロチオネインリボヌクレアーゼ抗菌類性ポリペプチド A 1 y
A F Pシュウ酸オキシダーゼグルコースオキシダーゼ【 0 0 6 2 】実施標的または 1 以上の発現
原理バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

ピロールニトリン合成遺伝子
セリン / スレオニンキナーゼ
Cecropin Bフェニルアラニンアンモニア
リアーゼ (P A L)例えば C f 9、C f 5、C f
4、C f 2 等の C f 遺伝子オスモチンアルファ ホルドチオニンシステミンポリガラクトウルナーゼイン
ヒビター類P r f 調節遺伝子フィトアレキシンB - 1 , 3 - グルカナーゼア
ンチセンスレセプターキナーゼバクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体

バクテリア性および菌類病原体

バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体
バクテリア性および菌類病原体

バクテリア性および菌類病原体

10

20

30

40

50

<u>過敏レスポンス誘引ポリペプチド</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>全身性獲得耐性 (SAR) 遺伝子</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性病原体	
<u>溶菌性蛋白質</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性病原体	
<u>リゾチーム</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性病原体	
<u>キチナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>バルナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	10
<u>グルカナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	Banana bunchy top ウィルス (BBTV) 等のウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	Banana bunchy top ウィルス (BBTV) 等のウィルス	
<u>17kDa または 60kDa 蛋白質</u>	Banana bunchy top ウィルス (BBTV) 等のウィルス	
<u>核インクルージョン蛋白質、例えば a または b または核蛋白質</u>	Banana bunchy top ウィルス (BBTV) 等のウィルス	20
<u>プソイドユビキチン</u>	Banana bunchy top ウィルス (BBTV) 等のウィルス	
【0063】		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>レプリカーゼ</u>	Banana bunchy top ウィルス (BBTV) 等のウィルス	
<u>バチルス・チュリンジェンシス毒、VIP 3、バチルスセレウス毒、Photorabdus および Xenorhabdus 毒</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類	30
<u>3-ヒドロキシステロイドオキシダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類	
<u>ペルオキシダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類	
<u>ロイシンアミノペプチダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類	
<u>インヒビター等のアミノペプチダーゼインヒビター</u>		
<u>レクチン類</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類	
<u>シスタチン、パタチン、CPTI、ヴィルジェフェリン等のプロテアーゼインヒビター</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類	40
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類	
<u>スチルベンシンターゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、病気、ダニ	
<u>HMG-CoA レダクターゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類	
<u>シスト線虫孵化刺激</u>	シスト線虫	
<u>バルナーゼ</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
<u>CB I</u>	根こぶ線虫	
<u>線虫類の摂食部位において誘導された抗摂食原理</u>	根こぶ線虫および root シスト線虫等の線虫類	50

【 0 0 6 4 】

表 A 1 5 : 作物 綿

実施標的または 1 以上の発現原理アセトラクテートシンターゼ (A L S)アセチル C o A カルボキシラーゼ (A C C a s e)ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ (H P P D)

【 0 0 6 5 】

実施標的または 1 以上の発現原理ホスフィノトリチンアセチルトランスフェラーゼO - メチルトランスフェラーゼグルタミンシンテターゼアデニロコハク酸リアーゼ (A D S L)アデニロコハク酸シンターゼアントラニレートシンターゼニトリラーゼ5 - エノールピルボイル - 3 - ホスフォシキミ酸シンターゼ (E P S P S)グリホセートキッドレダクターゼプロトポルフィリノーゲンオキシダーゼ (P R O T O X)P 4 5 0 S U 1 またはセレクシオン等のチトクローム P 4 5 0ポリフェノールオキシダーゼまたはポリフェノールオキシダーゼアンチセンスメタロチオネインリボヌクレアーゼ抗菌類性ポリペプチド A 1 y A F Pシュウ酸オキシダーゼグルコースオキシダーゼピロールニトリン合成遺伝子

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フタリド

アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、シクロヘキサンジオン

イソキサフルトールまたはイソキサクロルトール等のイソキサゾール類、メソトリオンまたはスルコトリオン等のトリオン類

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

ホスフィノトリチン

改変リグニンレベル

グルフォシネート、ピアラフォス I M P および A M P 合成のインヒビター

アデニロコハク酸合成のインヒビター
トリプトファン合成および異化作用のインヒビタープロモキシニルおよびロキシニル等の 3 , 5 - ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類
グリホセートまたはスルホセート

グリホセートまたはスルホセート

ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導体類、フェノピレート、オキサジアゾール類、その他
生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤

バクテリア性および菌類病原体

バクテリア性および菌類病原体

バクテリア性および菌類病原体

バクテリア性および菌類病原体

バクテリア性および菌類病原体

バクテリア性および菌類病原体

バクテリア性および菌類病原体

10

20

30

40

50

<u>セリン/スレオニンキナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>Cecropin B</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>フェニルアラニンアンモニア</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>リアーゼ (PAL)</u>		
<u>例えば Cf 9、Cf 5、Cf</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>4、Cf 2 等の Cf 遺伝子</u>		
<u>オスモチン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>アルファ ホルドチオニン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>【0066】</u>		
<u>実施標的または1以上の発現</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	10
<u>原理</u>		
<u>システミン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>ポリガラクトウルナーゼイン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>ヒビター類</u>		
<u>Prf 調節遺伝子</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>フィトアレキシン</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>B-1, 3-グルカナーゼア</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>ンチセンス</u>		
<u>レセプターキナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	20
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>チド</u>		
<u>全身性獲得耐性 (SAR) 遺</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性	
<u>伝子</u>	病原体	
<u>分解性蛋白質</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>リゾチーム</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>キチナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>バルナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>グルカナーゼ</u>	バクテリア性および菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	wound tumor ウィルス (WTV) 等のウィルス	30
<u>コート蛋白質</u>	wound tumor ウィルス (WTV) 等のウィルス	
<u>17 kDa または 60 kDa</u>	wound tumor ウィルス (WTV) 等のウィルス	
<u>蛋白質</u>		
<u>核インクルージョン蛋白質、</u>	wound tumor ウィルス (WTV) 等のウィルス	
<u>例えば a または b または核蛋</u>		
<u>白質</u>		
<u>プソイドユビキチン</u>	wound tumor ウィルス (WTV) 等のウィルス	
<u>レプリカーゼ</u>	wound tumor ウィルス (WTV) 等のウィルス	
<u>バチルス・チュリンジェンス</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ	
<u>毒、VIP 3、バチルスセ</u>	ミ	40
<u>レウス毒、Photorabdus およ</u>		
<u>びXenorhabdus 毒</u>		
<u>3-ヒドロキシステロイドオ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ	
<u>キシダーゼ</u>	ミ	
<u>ペルオキシダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ	
	ミ	
<u>ロイシンアミノペプチダーゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ	
<u>インヒビター等のアミノペプ</u>	ミ	
<u>チダーゼインヒビター</u>		
<u>レクチン類</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ	50

<u>シスタチン、パタチン、C P T I、ヴィルジフェリン等のプロテアーゼインヒビター</u>	ミ 鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ ミ	
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ ミ	
<u>スチルベンシクターゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ ミ	
<u>H M G - C o Aレダクターゼ</u>	鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ ミ	10
<u>シスト線虫孵化刺激</u>	シスト線虫	
<u>バルナーゼ</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
<u>C B I</u>	根こぶ線虫	
<u>線虫類の摂食部位において誘導された抗摂食原理</u>	根こぶ線虫およびrootシスト線虫等の線虫類	
<u>【 0 0 6 7 】</u>		
<u>表 A 1 6 : 作物 サトウキビ</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	20
<u>アセトラクテートシクターゼ (A L S)</u>	スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロ ピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フ タリド	
<u>アセチル C o Aカルボキシラ ーゼ (A C C a s e)</u>	アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、 シクロヘキサンジオン	
<u>ヒドロキシフェニルピルビン 酸ジオキシゲナーゼ (H P P D)</u>	イソキサフルトールまたはイソキサクロルトー ル等のイソキサゾール類、メソトリオンまたは スルコトリオン等のトリオン類	
<u>ホスフィノトリチンアセチル トランスフェラーゼ</u>	ホスフィノトリチン	30
<u>O - メチルトランスフェラー ゼ</u>	改変リグニンレベル	
<u>グルタミンシンテターゼ</u>	グルフォシネート、ピアラフォス	
<u>アデニロコハク酸リアーゼ (A D S L)</u>	I M P および A M P 合成のインヒビター	
<u>アデニロコハク酸シクターゼ</u>	アデニロコハク酸合成のインヒビター	
<u>【 0 0 6 8 】</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	40
<u>アントラニレートシクターゼ</u>	トリプトファン合成および異化作用のインヒビ ター	
<u>ニトリラーゼ</u>	プロモキシニルおよびロキシニル等の 3 , 5 - ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類	
<u>5 - エノールピルボイル - 3 - ホスフォシキミ酸シクター ゼ (E P S P S)</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>グリホセートキシドレダクタ ーゼ</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>プロトボルフィリノーゲンオ</u>	ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニ	50

<u>キシダーゼ (P R O T O X)</u>	ルピラゾール類、ピリジン誘導体類、フェノピレート、オキサジアゾール類、その他	
<u>P 4 5 0 S U 1 またはセレクション等のチトクローム P 4 5 0</u>	生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤	
<u>ポリフェノールオキシダーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>またはポリフェノールオキシダーゼアンチセンス</u>		
<u>メタロチオネイン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>リボヌクレアーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	10
<u>抗菌類性ポリペプチド A 1 y</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>A F P</u>		
<u>シュウ酸オキシダーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>グルコースオキシダーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>ピロールニトリン合成遺伝子</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>セリン / スレオニンキナーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>Cecropin B</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (P A L)</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>例えば C f 9、C f 5、C f 4、C f 2 等の C f 遺伝子</u>	バクテリア性または菌類病原体	20
<u>オスモチン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>アルファ ホルドチオニン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>システミン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>ポリガラクトウルナーゼイン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>ヒビター類</u>		
<u>P r f 調節遺伝子</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>フィトアレキシン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>B - 1、3 - グルカナーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>アンチセンス</u>		30
<u>レセプターキナーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>【 0 0 6 9 】</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプチド</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>全身性獲得耐性 (S A R) 遺伝子</u>	ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性病原体	
<u>分解性蛋白質</u>	バクテリア性または菌類病原体	40
<u>リゾチーム</u>	clavibacter 等のバクテリア性または菌類病原体	
<u>キチナーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>バルナーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>グルカナーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>	S C M V、S r M V 等のウィルス	
<u>コート蛋白質</u>	S C M V、S r M V 等のウィルス	
<u>1 7 k D a または 6 0 k D a</u>	S C M V、S r M V 等のウィルス	
<u>蛋白質</u>		
<u>核インクルージョン蛋白質、</u>	S C M V、S r M V 等のウィルス	50

例えば a または b または核蛋

白質または核蛋白質

プソイドユビキチン

レプリカーゼ

バチルス・チュリンジェンシ

ス毒、V I P 3、バチルス

セレウス毒、Photorabdus お

よびXenorhabdus 毒

3 - ヒドロキステロイドオ

キシダーゼ

ペルオキシダーゼ

ロイシンアミノペプチダーゼ

インヒビター等のアミノペプ

チダーゼインヒビター

レクチン類

シスタチン、パタチン、C P

T I、ヴィルジフェリン等の

プロテアーゼインヒビター

【 0 0 7 0 】

実施標的または 1 以上の発現

原理

リボソーム不活性化蛋白質

スチルベンシンターゼ

H M G - C o A レダクターゼ

シスト線虫孵化刺激

バルナーゼ

C B I

線虫類の摂食部位において誘

導された抗摂食原理

【 0 0 7 1 】

表 A 1 7 : 作物 ヒマワリ

実施標的または 1 以上の発現

原理

アセトラクテートシンターゼ

(A L S)

アセチル C o A カルボキシラ

ーゼ (A C C a s e)

ヒドロキシフェニルピルビン

酸ジオキシゲナーゼ (H P P

D)

ホスフィノトリチンアセチル

トランスフェラーゼ

S C M V、S r M V 等のウイルス

S C M V、S r M V 等のウイルス

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ

ミ、mexican rice borer 等の甲虫類

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ

ミ、mexican rice borer 等の甲虫類

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ

ミ、mexican rice borer 等の甲虫類

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ

ミ、mexican rice borer 等の甲虫類

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ

ミ、mexican rice borer 等の甲虫類

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ

ミ、mexican rice borer 等の甲虫類

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ

ミ、mexican rice borer 等の甲虫類

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ

ミ、mexican rice borer 等の甲虫類

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ

ミ、mexican rice borer 等の甲虫類

シスト線虫

根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類

根こぶ線虫

根こぶ線虫およびrootシスト線虫等の線虫類

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロ

ピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フ

タリド

アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、

シクロヘキサジオン

イソキサフルトールまたはイソキサクロルトール

等のイソキサゾール類、メソトリオンまたは

スルコトリオン等のトリオン類

ホスフィノトリチン

10

20

30

40

50

<u>0 - メチルトランスフェラーゼ</u>	改変リグニンレベル	
<u>グルタミンシンターゼ</u>	グルフォシネート、ピアラフォス	
<u>アデニロコハク酸リアーゼ (ADSL)</u>	IMPおよびAMP合成のインヒビター	
<u>アデニロコハク酸シンターゼ</u>	アデニロコハク酸合成のインヒビター	
<u>アントラニレートシンターゼ</u>	トリプトファン合成および異化作用のインヒビター	
<u>ニトリラーゼ</u>	プロモキシニルおよびロキシニル等の3, 5 - ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類	10
【0072】		
<u>実施標的または1以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>5 - エノールピルボイル - 3 - ホスフォシキミ酸シンターゼ (EPSPS)</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>グリホセートキンドレダクターゼ</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>プロトポルフィリノーゲンオキシダーゼ (PROTOX)</u>	ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導体類、フェノレート、オキサジアゾール類、その他	20
<u>P450 SU1またはセレクション等のチトクロームP450</u>	生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤	
<u>ポリフェノールオキシダーゼまたはポリフェノールオキシダーゼアンチセンス</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>メタロチオネイン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>リボヌクレアーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	30
<u>抗菌類性ポリペプチドAlyAFP</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>シュウ酸オキシダーゼ</u>	sclerotinia 等のバクテリア性または菌類病原体	
<u>グルコースオキシダーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>ピロールニトリン合成遺伝子</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>セリン / スレオニンキナーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>Cecropin B</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (PAL)</u>	バクテリア性または菌類病原体	40
<u>例えば Cf 9、Cf 5、Cf 4、Cf 2 等の Cf 遺伝子</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>オスモチン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>アルファ ホルドチオニン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>システミン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>ポリガラクトウルナーゼインヒビター類</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>Prf 調節遺伝子</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>フィトアレキシン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>B - 1, 3 - グルカナーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	50

<u>ンチセンス</u>			
<u>レセプターキナーゼ</u>		バクテリア性または菌類病原体	
<u>過敏レスポンス誘引ポリペプチド</u>		バクテリア性または菌類病原体	
<u>【 0 0 7 3 】</u>			
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>		< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>全身性獲得耐性 (S A R) 遺伝子</u>		ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性病原体	10
<u>分解性蛋白質</u>		バクテリア性または菌類病原体	
<u>リゾチーム</u>		バクテリア性または菌類病原体	
<u>キチナーゼ</u>		バクテリア性または菌類病原体	
<u>バルナーゼ</u>		バクテリア性または菌類病原体	
<u>グルカナーゼ</u>		バクテリア性または菌類病原体	
<u>二本鎖リボヌクレアーゼ</u>		C M V、T M V等のウィルス	
<u>コート蛋白質</u>		C M V、T M V等のウィルス	
<u>1 7 k D a または 6 0 k D a 蛋白質</u>		C M V、T M V等のウィルス	
<u>核インクルージョン蛋白質、例えば a または b または核蛋白質</u>		C M V、T M V等のウィルス	20
<u>プソイドユビキチン</u>		C M V、T M V等のウィルス	
<u>レプリカーゼ</u>		C M V、T M V等のウィルス	
<u>バチルス・チュリンジェンシス毒、V I P 3、バチルスセレウス毒、Photorabdus および Xenorhabdus 毒</u>		鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラミ、甲虫類	
<u>3 - ヒドロキシステロイドオキシダーゼ</u>		鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラミ、甲虫類	30
<u>ペルオキシダーゼ</u>		鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラミ、甲虫類	
<u>ロイシンアミノペプチダーゼ</u>		鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラミ、甲虫類	
<u>インヒビター等のアミノペプチダーゼインヒビター</u>		鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラミ、甲虫類	
<u>レクチン類</u>		鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラミ、甲虫類	
<u>シスタチン、パタチン、C P T I、ヴィルジフェリン等のプロテアーゼインヒビター</u>		鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラミ、甲虫類	40
<u>リボソーム不活性化蛋白質</u>		鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラミ、甲虫類	
<u>スチルベンシンターゼ</u>		鱗翅類、アブラムシ、病気、ダニ	
<u>【 0 0 7 4 】</u>			
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>		< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>H M G - C o A レダクターゼ</u>		鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラミ、甲虫類	
<u>シスト線虫孵化刺激</u>		シスト線虫	50

<u>バルナーゼ</u>	根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類	
<u>C B I</u>	根こぶ線虫	
<u>線虫類の摂食部位において誘導された抗摂食原理</u>	根こぶ線虫およびrootシスト線虫等の線虫類	
<u>【 0 0 7 5 】</u>		
<u>表 A 1 8 : 作物 サトウダイコン、ビートの根</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>アセトラクテートシンターゼ (A L S)</u>	スルホニル尿素、イミダゾリノン、トリアゾロピリミジン、ピリミジロキシベンゾエート、フタリド	10
<u>アセチル C o A カルボキシラーゼ (A C C a s e)</u>	アリーロキシフェノキシアルカンカルボン酸、シクロヘキサンジオン	
<u>ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ (H P P D)</u>	イソキサフルトールまたはイソキサクロルトール等のイソキサゾール類、メソトリオンまたはスルコトリオン等のトリオン類	
<u>ホスフィノトリチンアセチルトランスフェラーゼ</u>	ホスフィノトリチン	
<u>O - メチルトランスフェラーゼ</u>	改変リグニンレベル	20
<u>グルタミンシンテターゼ</u>	グルフォシネート、ピアラフォス	
<u>アデニロコハク酸リアーゼ (A D S L)</u>	I M P および A M P 合成のインヒビター	
<u>アデニロコハク酸シンターゼ</u>	アデニロコハク酸合成のインヒビター	
<u>アントラニレートシンターゼ</u>	トリプトファン合成および異化作用のインヒビター	
<u>ニトリラーゼ</u>	プロモキシニルおよびロキシニル等の 3 , 5 - ジハロ - 4 - ヒドロキシベンゾニトリル類	
<u>5 - エノールピルボイル - 3 - ホスフォシキミ酸シンターゼ (E P S P S)</u>	グリホセートまたはスルホセート	30
<u>【 0 0 7 6 】</u>		
<u>実施標的または 1 以上の発現原理</u>	< 作物表現型 / 寛容性の対象 >	
<u>グリホセートキンドレダクターゼ</u>	グリホセートまたはスルホセート	
<u>プロトポルフィリノーゲンオキシダーゼ (P R O T O X)</u>	ジフェニルエーテル類、環状イミド類、フェニルピラゾール類、ピリジン誘導體類、フェノピレート、オキサジアゾール類、その他	40
<u>P 4 5 0 S U 1 またはセレクション等のチトクローム P 4 5 0</u>	生体異物およびスルホニル尿素類等の除草剤	
<u>ポリフェノールオキシダーゼまたはポリフェノールオキシダーゼアンチセンス</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>メタロチオネイン</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>リボヌクレアーゼ</u>	バクテリア性または菌類病原体	
<u>抗菌類性ポリペプチド A 1 y</u>	バクテリア性または菌類病原体	50

A F Pシュウ酸オキシダーゼ

sclerotinia 等のバクテリア性または菌類病原体

グルコースオキシダーゼ

バクテリア性または菌類病原体

ピロールニトリン合成遺伝子

バクテリア性または菌類病原体

セリン / スレオニンキナーゼ

バクテリア性または菌類病原体

Cecropin B

バクテリア性または菌類病原体

フェニルアラニンアンモニアリアーゼ (P A L)

バクテリア性または菌類病原体

例えば C f 9、C f 5、C f 4、C f 2 等の C f 遺伝子

バクテリア性または菌類病原体

10

オスモチン

バクテリア性または菌類病原体

アルファ ホルドチオニン

バクテリア性または菌類病原体

システミン

バクテリア性または菌類病原体

ポリガラクトウルナーゼインヒビター類

バクテリア性または菌類病原体

P r f 調節遺伝子

バクテリア性または菌類病原体

フィトアレキシン

バクテリア性または菌類病原体

B - 1 , 3 - グルカナーゼアンチセンス

バクテリア性または菌類病原体

20

A X + W I N 蛋白質

Cercospora beticola 等のバクテリア性または菌類病原体

レセプターキナーゼ

バクテリア性または菌類病原体

過敏レスポンス誘引ポリペプチド

バクテリア性または菌類病原体

全身性獲得耐性 (S A R) 遺伝子

ウィルス性、バクテリア性、菌類性、線虫類性病原体

【 0 0 7 7 】実施標的または 1 以上の発現原理

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

30

分解性蛋白質

バクテリア性または菌類病原体

リゾチーム

バクテリア性または菌類病原体

キチナーゼ

バクテリア性または菌類病原体

バルナーゼ

バクテリア性または菌類病原体

グルカナーゼ

バクテリア性または菌類病原体

二本鎖リボヌクレアーゼ

B N Y V V 等のウィルス

コート蛋白質

B N Y V V 等のウィルス

1 7 k D a または 6 0 k D a 蛋白質

B N Y V V 等のウィルス

40

核インクルージョン蛋白質、例えば a または b または核蛋白質

B N Y V V 等のウィルス

プソイドユビキチン

B N Y V V 等のウィルス

レプリカーゼ

B N Y V V 等のウィルス

バチルス・チュリンジェンシス毒、V I P 3、バチルスセレウス毒、Photorabdus および Xenorhabdus 毒

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラミ、甲虫類、rootflies

3 - ヒドロキシステロイドオ

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ

50

キシダーゼ
ペルオキシダーゼ

ミ、甲虫類、rootflies
鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ
ミ、甲虫類、rootflies

ロイシンアミノペプチダーゼ
インヒビター等のアミノペプ
チダーゼインヒビター

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ
ミ、甲虫類、rootflies

レクチン類

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ
ミ、甲虫類、rootflies

シスタチン、パタチン、C P
T I、ヴィルジフェリン等の
プロテアーゼインヒビター

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ
ミ、甲虫類、rootflies

10

リボソーム不活性化蛋白質

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ
ミ、甲虫類、rootflies

スチルベンシンターゼ

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ
ミ、甲虫類、rootflies

H M G - C o Aレダクターゼ

鱗翅類、アブラムシ、ダニ、線虫類、コナジラ
ミ、甲虫類、rootflies

【 0 0 7 8 】

実施標的または1以上の発現
原理

< 作物表現型 / 寛容性の対象 >

20

シスト線虫孵化刺激

シスト線虫

バルナーゼ

根こぶ線虫およびシスト線虫等の線虫類

beetシスト線虫耐性座

シスト線虫

C B I

根こぶ線虫

線虫類の摂食部位において誘
導された抗摂食原理

根こぶ線虫およびrootシスト線虫等の線虫類

【 0 0 7 9 】

本発明に従う方法により防除可能な上記有害動物は、例えば虫、ダニ目の代表的なもの、および綱 (class) 線虫類の代表的なもの、特に、以下のものを含む；

30

【 0 0 8 0 】

目 Lepidoptera Accleris種から、Adoxophyes種、特に Adoxophyes reticulana； Aegeria種、Agrotis 種、特に Agrtis spinifera； Alabama argillaceae、Amylois 種、Anticarsia gemmatalis、Archips 種、Argyrotaenia種、Autographa種、Busseola fusca、Caddra cautella、Carposina nipponensis、Chilo 種、Choristoneura 種、Clysia ambigua、Cnaphalocrocis種、Cnephasia 種、Cochylis種、Coleophora種、Crocidolomia binotalis、Cryptophlebia leucotreta、Cydia 種、特に Cydia pomonella； Diatraea 種、Diparopsis castanea、Earias種、Ephestia種、特に E. Khueniella； Eucosma種、Eupoecilia ambiguella、Euproctis 種、Euxoa 種、Grapholita種、Hedya nubiferana、Heliothis 種、特に H. virescena および H. zea； Hellula undalis、Hyphantria cunea、Keiferia lycopersicella、Leucoptera scitella、Lithocollethis種、Lobesia 種、Lymantria 種、Lyonetia種、Malacosoma種、Mamestra brassicae、Manduca sexta、Operophtera 種、Ostrinia nubilalis、Pammene 種、Pandemis種、Panolis flammea、Pectinophora hora種、Phthorimaea operculella、Pieris rapae、Pieris種、Plutella xylostella、Prays 種、Scirpophaga 種、Sesamia 種、Sparganothis種、Spodoptera littoralis、Synanthedon 種、Thaumetopoea種、Tortrix 種、Trichoplusia ni および Yponomeuta 種；

40

【 0 0 8 1 】

目 Coleoptera から、例えば Agriotes 種、Anthonomus種、Atomaria linearis、Chaetocnema tibialis、Cosmopolites種、Curculio種、Dermestes 種、Diabrotica種、Epilac

50

hna 種、Eremnus 種、Leptinotarsa decemlineata、Lissorhoptrus 種、Melolontha種、Oryzaephilus種、Otiiorhynchus種、Phlyctinus種、Popillia種、Psylliodes種、Rhizopertha 種、Scarabeidae、Sitophilus種、Sitotroga 種、Tenebrio種、Tribolium 種および Trogoderma 種；

【 0 0 8 2 】

目 Orthoptera から、例えば Blatta 種、Blattella 種、Gryllotalpa 種、Leucophaca maderae、Locusta 種、Periplaneta 種および Schistocerca 種；

【 0 0 8 3 】

目 Isoptera から、例えば Reticulitermes 種；

【 0 0 8 4 】

目 Psocoptera から、例えば Liposcelis 種；

【 0 0 8 5 】

目 Anoplura から、例えば Haematopinus 種、Linognathus 種、Pediculus 種、Pemphigus 種および Phylloxera 種；

【 0 0 8 6 】

目 Mallophaga から、例えば Damalinae種および Trichodectes 種；

【 0 0 8 7 】

目 Thysanoptera から、例えば Frankliniella種、Hercinothrips 種、Taeniothrips種、Thripas palmi、Thrips tabaci および Scirtothrips aurantii；

【 0 0 8 8 】

目 Heteropteraから、例えば Cimex種、Diatantiella theobroma、Dysdercus 種、Euchistus 種 Eurygaster 種 Leptocorisa種、Nezara種、Piesma種、Rhodnius種、Sahlbergella singularis、Scotinophara種および Triatoma 種；

【 0 0 8 9 】

目 Homopteraから、例えば Aleurothrixus floccosus、Aleyrodes brassicae、Aonidiella aurantii、Aphididae、Aphis craccivora、A. fabae、A. gossypii；Aspidiotus 種、Bemisia tabaci、Ceroplaster 種、Chrysomphalus aonidium、Chrysomphalus dictyospermi、Coccus hesperidum、Empoasca種、Eriosoma lanigerum、Erythroneura種、Gascardia 種、Laodelphax種、Lecanium corni、Lepidosaphes種、Macrosiphus 種、Myzus 種、特に M.persicae；Nephotettix種、特に N. cincticeps；Nilaparvata種、特に N. lugens；Paratoria種、Pemphigus 種、Planococcus 種、Pseudaulacaspis 種、Pseudococcus種、特に P. Fragilis、P. citriculus および P. comatocki；Psylla 種、特に P. pyri；Pulvinaria aethiopica、Quadraspidiotus 種、Rhopalosiphum 種、Saissetia 種、Scaphoideus 種、Schizaphis種、Sitobion種、Trialeurodes vaporariorum、Triozia erytraea および Unaspis citri；

【 0 0 9 0 】

目 Hymenopteraから、例えば Acromyrmex、Atta種、Cephus種、Diprion 種、Diprionidae、Gilpinia polytoma、Hoplocampa種、Lasius種、Monomorium pharaonis、Neodiprion種、Solenopsis種および Vespa種；

【 0 0 9 1 】

目 Dipteraから、例えば Aedes種、Antherigona soccata、Bibio hortulanus、Calliphora erythrocephala、Ceratitis 種、Chrysomyia種、Culex 種、Cuterebra 種、Dacus 種、Drosophila melanogaster、Fannia種、Gastrophilus種、Glossina種、Hypoderma 種、Hyppobosca種、Liriomyza 種、Lucilia 種、Melanagromyza 種、Musca 種、Oestrus 種、Orseolia種、Oscinella frit、Pegomyia hyoscyami、Phorbia 種、Rhagoletis pomonella、Sciara種、Stomoxys種、Tabanus 種、Tannia種およびTipula種；

【 0 0 9 2 】

目 Siphonaptera から、例えば Ceratophyllus種および Xenopsylla cheopis；

【 0 0 9 3 】

目 Thysanuraから、例えば Lepisma saccharina、および

10

20

30

40

50

【 0 0 9 4 】

目 Acarinaから、例えば *Acarus siro*、*Aceria sheldoni* ; *Aculus* 種、特に *A. schlechtendali* ; *Amblyomma*種、*Argas* 種、*Boophilus* 種、*Brevipalpus* 種、特に *B. caiflornicus*および *B. phoenicis* ; *Bryobia praetiosa*、*Calipitrimerus*種、*Chorioptes*種、*Dermanyssus gallinae*、*Eotetranychus* 種、特に *E. carpini*および *E. orientalis* ; *Eriophyes*種、特に *E. vitis* ; *Hyalomma* 種、*Ixodes*種、*Olygonychus pratensis*、*Ornithodoros*種、*Panonychus*種、特に *P. ulmi* および *P. citri* ; *Phyllocoptruta* 種、特に *P. oleivora* ; *Polyphagotarsonemus*種、特に *P. latus* ; *Psoroptes*種、*Rhipicephalus* 種、*Rhizoglyphus*種、*Sarcoptes* 種、*Tarsonemus*種および *Tetranychus*種、とりわけ *T. urticae*、*T. cinnabarinus* および *T. Kanzawai*。

10

【 0 0 9 5 】

綱 Nematodaの代表的なもの ;

(1) root knot線虫類、シスト形成線虫類、stem eelworms および foliar nematodes からなる群から選ばれた線虫類 ;

(2) *Anguina*種 ; *Aphelenchoides*種 ; *Ditylenchus*種 ; *Globodera*種、例えば *Globodera rostochiensis* ; *Heterodera* 種、例えば *Heterodera avenae*、*Heterodera glycines*、*Heterodera schachtii*または *Heterodera trifolii* ; *Longidorus* 種 ; *Meloidogyne* 種、例えば *Meloidogyne incognita*または *Meloidogyne javanica* ; *Pratylenchus*、例えば *Pratylenchus neglectans*または *Pratylenchus penetrans* ; *Radopholus* 種、例えば *Radopholus similis* ; *Trichodorus*種 ; *Tylenchulus*、例えば *Tylenchulus semipenetrans* ; および *Xiphinema*種からなる群から選ばれた nematodes ; または、

20

(3) *Heterodera* 種、例えば *Heterodera glycines* ; および *Meloidogyne*種、例えば *Meloidogyne incognita*からなる群から選ばれた nematodes 。

【 0 0 9 6 】

本発明に従う方法は、農業において、園芸において、および森林において、主に有用植物および鑑賞植物またはその部分、例えば、このような植物の果実、花、葉、柄、塊茎または根、特に形質転換植物に対して生ずる上記したタイプの全ての有害生物を防除、すなわち抑制または駆除させる。ある場合には、これらの有害生物に対する保護は、後の時点で形成される植物の部分にも及ぶ。

【 0 0 9 7 】

本発明に従う方法は、例えば、イネ、トウモロコシまたはモロコシ等の穀類において ; 果実、例えばリンゴ、西洋ナシ、プラム、桃、アーモンド、サクランボまたはベリー (例えばイチゴ、キイチゴおよびブラックベリー) 等の石果、梨状果、および柔果 (soft fruits) において ; 豆、ヒラマメ、エンドウまたは大豆等のマメ科植物において ; 脂肪種子、セイヨウアブラナ、マスタード、ポピー、オリーブ、ヒマワリ、ココナッツ、ヒマシ油植物、カカオまたはピーナッツ等の油作物において ; カボチャ、キュウリまたはメロン等のカボチャ (*marrow*) 科において ; 綿、亜麻、大麻またはジュート等の繊維植物において ; オレンジ、レモン、グレープフルーツまたはタンジェリン等の柑橘類果実において ; ホウレンソウ、レタス、アスパラガス、キャベツ種、ニンジン、タマネギ、トマト、ジャガイモ、ビートまたはトウガラシ等の野菜において ; アボガド、シナモンまたはカンファー等の月桂樹科において ; またはタバコ、ナッツ、コーヒー、ナス植物、砂糖大根、茶、コショウ、ブドウの木、ホップ、バナナ科、天然ゴム (*latex*) 植物または鑑賞植物において ; 主にトウモロコシ、イネ、穀類、大豆、トマト、綿、ジャガイモ、砂糖大根、イネおよびマスタードにおいて ; 特に、綿、イネ、大豆、ジャガイモおよびトウモロコシにおける有害生物を防除するために有利に使用可能である。

30

40

【 0 0 9 8 】

本発明に従う方法は、有害生物防除の分野において農薬的組成物の低い使用濃度でも予防的および / 又は治療的に価値があり、それにより、非常に有利な殺生物性スペクトルが達成されることが明らかになった。温血動物、魚および植物とともに使用された場合のその組成物の有利な適合性と組み合わせられて、本発明に従う方法は、通常的感受性のものの

50

みならず、有害生物による攻撃から保護されるべき形質転換の作物植物の種に応じて、虫およびダニ目の代表的なもの等の通常は耐性の有害動物の全てのまたは個々の発達上の段階に対して使用可能である。本発明に従う方法の殺虫的および/又は殺ダニ的な効果は、直接に、すなわち、例えば直ちにまたはある時間が経過した後、例えば脱皮の間、に生ずる有害生物の駆除で、または間接的に、例えば、低減された産卵および/又は孵化割合において明白にできる。良好な作用は、少なくとも40～50%の駆除割合(死亡率)に対応する。

【0099】

意図する目的および広く行われる状況に従い、本発明の範囲内の、それ自体は公知の農薬は、エマルジョン化可能な濃縮物、サスペンション濃縮物、直接スプレー可能または希釈可能な溶液、拡張可能(spreadable)なペースト、希釈したエマルジョン、水和剤(wettable powder)、溶解性粉末、分散性粉末、ダスト、粒剤またはニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物を含むポリマー性物質におけるカプセル化物である。

10

【0100】

その活性成分は、これらの組成物において、従来から製剤化の技術において用いられる、エキстенダー(例えば溶媒または固体キャリアーまたは界面活性化合物(界面活性剤))等の助剤のうちの少なくとも1つと共に使用される。

【0101】

用いられる製剤化助剤は、例えば、固体キャリアー、溶媒、安定剤、「遅い放出」助剤、着色剤類、および適当な場合には界面活性物質(界面活性剤)である。適当なキャリアーおよび助剤は、作物保護製品として従来から用いられるそれら全ての物質である。溶媒、固体キャリアー、界面活性化合物、非イオン性界面活性剤、カチオン性界面活性剤、アニオン性界面活性剤、および本発明に従って使用される組成物中の他の助剤等の適当な助剤は、ヨーロッパ特許公開第736 252号に記述されているものである。

20

【0102】

有害生物を防除するためのこれらの組成物は、例えば、水和剤、粉末、ダスト、粒剤、溶液、エマルジョン化可能な濃縮物、エマルジョン、サスペンション濃縮物またはエーロゾルとして製剤化することが可能である。例えば、それらの組成物は、ヨーロッパ特許公開第736 252号に記述されたタイプのものである。

【0103】

ニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物を含む本発明の範囲内の組成物の作用は、他の殺虫剤的な、殺ダニ剤的なおよび/又は殺菌剤的な活性成分を加えることにより実質的に拡張することができ、一般に行われている状況に適合させることができる。加えられた活性成分の適当な例は、活性成分の以下の類の代表的なものである：有機リン化合物、ニトロフェノールおよび誘導体、ホルムアミジン類、尿素類、カルバメート類、ピレスロイド類、塩素化炭化水素類；混合物において特に好ましい成分は、例えば、アバメクチン(abamectin)、エマメクチン(emamectin)、スピノサド(spinosad)、ピメトロジン(pymetrozine)、フェノキシカーブ(fenoxycarb)、イミダクロプリド(imidacloprid)、Ti-435、フィプロニル(fipronil)、ピリプロキシフェン(pyriproxyfen)、ダイアジノン(diazinon)またはジアフェンチウロン(diafenthiuron)である。

30

40

【0104】

一般に、本発明の範囲内の組成物は、0.1～99%、特に0.1～95%のニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物と、1～99.9%、特に5～99.9%の少なくとも一つの固体のまたは液体の助剤を含み、一般に、組成物の0～25%、特に0.1～20%は、界面活性剤であってもよい(個々の場合の「%」は、質量%(重量%)を意味する)。商業的な製品としては、濃縮された組成物がより好ましいが、エンドユーザは一般に、活性成分のかなり低い濃度を有する希釈した組成物を用いるであろう。

【0105】

本発明に従う組成物は、他の固体または液体の助剤、例えば安定剤等、例えばエポキシ化されたまたは非エポキシ化植物油(例えばエポキシ化された椰子油、菜種油または大豆

50

油)、消泡剤、例えばシリコン油、保存剤、粘度調整剤、バインダーおよび/又は粘着付与剤、更に肥料または他の特定の効果を達成するための活性成分(例えば殺バクテリア剤、殺菌剤、殺線虫剤、殺軟体動物剤または除草剤)をも含んでいてもよい。

【0106】

本発明に従う組成物は公知の方法で、例えば助剤または複数の助剤との混合より前に、例えば特定の粒径を与えるために、例えばその活性成分を摩砕し、篩いにかけておよび/又は圧縮することにより、および/又はその活性成分を十分にその助剤または複数の助剤と混合および/又は摩砕することにより製造される。

上記したタイプの有害生物を防除するための本発明に従う方法は、意図された目的および一般に行われている状況に従い当業者に公知の方法で、すなわちその組成物を、スプレー、湿潤、噴霧、ダスティング、ブラッシング-オン、種子粉衣(seed dressing)、散布または注入することにより行われる。典型的な使用濃度は、0.1~1000 ppmの間、好ましくは0.1~500 ppmの間の活性成分である。適用割合は広範囲内で変化でき、土壌構成、適用のタイプ(葉(foliar)適用; 種子粉衣; 種すじ中への適用)、形質転換の作物植物、防除されるべき有害生物、個々の場合に一般的な気候的な状況、適用のタイプにより決定される他のファクター、適用のタイミング、および標的作物に依存する。ヘクタール当たりの適用割合は、一般にヘクタール当たり1~2000 g、特に10~1000 g/ha、好ましくは10~500 g/ha、とりわけ10~200 g/haのニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物である。

【0107】

本発明の範囲内の作物保護の分野における適用の好ましいタイプは、葉への適用(葉適用)である。適用の頻度および適用の割合(rate)は、当該病原体による侵襲のリスクに適合させることができる。

しかしながら、植物の部位(site)を液体製剤で灌漑(drenching)することにより、またはその活性成分を土壌中で固体の形、例えば粒剤の形で適用すること(土壌適用)により、土壌から根系を介して植物に入れることもできる(全身的な適用)。水稻の場合、このような粒剤を水田(flooded rice field)に計量して与えてもよい。

【0108】

本発明に従う組成物は、有害動物、特に、虫およびダニ目の代表的なものから、形質転換の植物の繁殖材料、例えば果実、塊茎またはケルネル、または植物カッピング等を保護することにも適している。繁殖材料は適用に先立ち、その組成物で処理され、例えば種蒔きに先立ち種子を粉衣することができる。活性成分は、そのケルネルを液体組成物に浸漬することにより、またはそれらを固体の組成物でコーティングすることにより、種子ケルネルに適用(コーティング)してもよい。繁殖材料に適用する際には、その組成物は適用部位、例えば、種蒔きの間の種すじ内へ適用してもよい。植物繁殖材料のこれらの処理方法、およびこのように処理された植物繁殖材料も、本発明の更なる主題である。

【0109】

本発明に従う方法で使用可能なニトロイミノまたはニトログアニジノ化合物の製剤の例、例えば溶液、粒剤、ダスト、スプレー可能な粉末、エマルジョン濃縮物、コートされた粒剤、およびサスペンション濃縮物は、例えばヨーロッパ特許公開第580 553号(例F1~F10)に記述されている。

【0110】

表 B

以下の略号が、表において用いられる：

形質転換植物の活性原理：A P

Photorhabdus luminescens：P L

Xenorhabdus nematophilus：X N

プロテイナーゼインヒビター類：P I n h .

植物レクチン：P L e c

アグルチニン：A g g l .

10

20

30

40

50

3 - ヒドロキシステロイドオキシダーゼ : H O

コレステロールオキシダーゼ : C O

キチナーゼ : C H

グルカナーゼ : G L

スチルベンシンターゼ : S S

【 0 1 1 1 】

【 表 1 】

	AP	防除の対象		AP	防除の対象
B.1	CryIA(a)	Adoxophyes 種	B.5	CryIA(a)	Chilo 種
B.2	CryIA(a)	Agrotis 種	B.6	CryIA(a)	Clysia ambiguella
B.3	CryIA(a)	Alabama argillaceae	B.7	CryIA(a)	Crocidolomia binotalis
B.4	CryIA(a)	Anticarsia gemmatalis	B.8	CryIA(a)	Cydia 種
			B.9	CryIA(a)	Diparopsis

10

【 0 1 1 2 】

【 表 2 】

20

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
		castanea	B.38	CryIA(a)	Aleyrodes 種	
B.10	CryIA(a)	Earias 種	B.39	CryIA(a)	Aonidiella 種	
B.11	CryIA(a)	Ephestia 種	B.40	CryIA(a)	Aphididae 種	
B.12	CryIA(a)	Heliothis 種	B.41	CryIA(a)	Aphis 種	
B.13	CryIA(a)	Hellula undalis	B.42	CryIA(a)	Bemisia tabaci	
B.14	CryIA(a)	Keiferia	B.43	CryIA(a)	Empoasca 種	
		lycopersicella	B.44	CryIA(a)	Mycus 種	10
B.15	CryIA(a)	Leucoptera scitella	B.45	CryIA(a)	Nephotettix 種	
B.16	CryIA(a)	Lithocollethis 種	B.46	CryIA(a)	Nilaparvata 種	
B.17	CryIA(a)	Lobesia botrana	B.47	CryIA(a)	Pseudococcus 種	
B.18	CryIA(a)	Ostrinia nubilalis	B.48	CryIA(a)	Psylla 種	
B.19	CryIA(a)	Pandemis 種	B.49	CryIA(a)	Quadraspidotus	
B.20	CryIA(a)	Pectinophora			種	
		gossyp.	B.50	CryIA(a)	Schizaphis 種	
B.21	CryIA(a)	Phyllocnistis citrella	B.51	CryIA(a)	Trialeurodes 種	
B.22	CryIA(a)	Pieris spp.	B.52	CryIA(a)	Lyriomyza 種	20
B.23	CryIA(a)	Plutella xylostella	B.53	CryIA(a)	Oscinella 種	
B.24	CryIA(a)	Scirpophaga 種	B.54	CryIA(a)	Phorbia 種	
B.25	CryIA(a)	Sesamia 種	B.55	CryIA(a)	Frankliniella 種	
B.26	CryIA(a)	Sparganothis 種	B.56	CryIA(a)	Thrips 種	
B.27	CryIA(a)	Spodoptera 種	B.57	CryIA(a)	Scirtothrips aurantii	
B.28	CryIA(a)	Tortrix 種	B.58	CryIA(a)	Aceria 種	
B.29	CryIA(a)	Trichoplusia ni	B.59	CryIA(a)	Aculus 種	
B.30	CryIA(a)	Agriotes 種	B.60	CryIA(a)	Brevipalpus 種	
B.31	CryIA(a)	Anthonomus	B.61	CryIA(a)	Panonychus 種	
		grandis	B.62	CryIA(a)	Phyllocoptuta 種	30
B.32	CryIA(a)	Curculio 種	B.63	CryIA(a)	Tetranychus 種	
B.33	CryIA(a)	Diabrotica baiteata	B.64	CryIA(a)	Heterodera 種	
B.34	CryIA(a)	Leptinotarsa 種	B.65	CryIA(a)	Meloidogyne 種	
B.35	CryIA(a)	Lissorhoptrus 種	B.66	CryIA(b)	Adoxophyes 種	
B.36	CryIA(a)	Otiorynchus 種	B.67	CryIA(b)	Agrotis 種	
B.37	CryIA(a)	Aleurothrixus 種	B.68	CryIA(b)	Alabama	

【 0 1 1 3 】

【 表 3 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
		argillaceae	B.95	CryIA(b)	Agriotes 種	
B.69	CryIA(b)	Anticarsia gemmatalis	B.96	CryIA(b)	Anthonomus grandis	
B.70	CryIA(b)	Chilo 種	B.97	CryIA(b)	Curculio 種	
B.71	CryIA(b)	Clysia ambiguella	B.98	CryIA(b)	Diabrotica balteata	
B.72	CryIA(b)	Crocidolomia binotalis	B.99	CryIA(b)	Leptinotarsa 種	
B.73	CryIA(b)	Cydia 種	B.100	CryIA(b)	Lissorhoptus 種	10
B.74	CryIA(b)	Diparopsis castanea	B.101	CryIA(b)	Otiorhynchus 種	
B.75	CryIA(b)	Earias 種	B.102	CryIA(b)	Aleurothrixus 種	
B.76	CryIA(b)	Ephestia 種	B.103	CryIA(b)	Aleyrodes 種	
B.77	CryIA(b)	Heliothis 種	B.104	CryIA(b)	Aonidiella 種	
B.78	CryIA(b)	Hellula undalis	B.105	CryIA(b)	Aphididae 種	
B.79	CryIA(b)	Keiferia lycopersicella	B.106	CryIA(b)	Aphis 種	
B.80	CryIA(b)	Leucoptera scitella	B.107	CryIA(b)	Bemisia tabaci	
B.81	CryIA(b)	Lithocollethis 種	B.108	CryIA(b)	Empoasca 種	
B.82	CryIA(b)	Lobesia botrana	B.109	CryIA(b)	Mycus 種	20
B.83	CryIA(b)	Ostrinia nubilalis	B.110	CryIA(b)	Nephotettix 種	
B.84	CryIA(b)	Pandemis 種	B.111	CryIA(b)	Nilaparvata 種	
B.85	CryIA(b)	Pectinophora gossyp.	B.112	CryIA(b)	Pseudococcus 種	
B.86	CryIA(b)	Phyllocnistis citrella	B.113	CryIA(b)	Psylla 種	
B.87	CryIA(b)	Pieris 種	B.114	CryIA(b)	Quadraspidiotus 種	
B.88	CryIA(b)	Plutella xylostella	B.115	CryIA(b)	Schizaphis 種	
B.89	CryIA(b)	Scirpophaga 種	B.116	CryIA(b)	Trialeurodes 種	
B.90	CryIA(b)	Sesamia 種	B.117	CryIA(b)	Lyriomyza 種	
B.91	CryIA(b)	Sparganothis 種	B.118	CryIA(b)	Oscinella 種	30
B.92	CryIA(b)	Spodoptera 種	B.119	CryIA(b)	Phorbia 種	
B.93	CryIA(b)	Tortrix 種	B.120	CryIA(b)	Frankliniella 種	
B.94	CryIA(b)	Trichoplusia ni	B.121	CryIA(b)	Thrips 種	
			B.122	CryIA(b)	Scirtothrips aurantii	
			B.123	CryIA(b)	Aceria 種	
			B.124	CryIA(b)	Aculus 種	

【 0 1 1 4 】

【 表 4 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.125	CryIA(b)	Brevipalpus 種	B.151	CryIA(c)	Phyllocnistis citrella	
B.126	CryIA(b)	Panonychus 種	B.152	CryIA(c)	Pieris 種	
B.127	CryIA(b)	Phyllocoptruta 種	B.153	CryIA(c)	Plutella xylostella	
B.128	CryIA(b)	Tetranychus 種	B.154	CryIA(c)	Scirpophaga 種	
B.129	CryIA(b)	Heterodera 種	B.155	CryIA(c)	Sesamia 種	
B.130	CryIA(b)	Meloidogyne 種	B.156	CryIA(c)	Sparganothis 種	
B.131	CryIA(c)	Adoxophyes 種	B.157	CryIA(c)	Spodoptera 種	10
B.132	CryIA(c)	Agrotis 種	B.158	CryIA(c)	Tortrix 種	
B.133	CryIA(c)	Alabama argillaceae	B.159	CryIA(c)	Trichoplusia ni	
B.134	CryIA(c)	Anticarsia gemmatalis	B.160	CryIA(c)	Agriotes 種	
B.135	CryIA(c)	Chilo 種	B.161	CryIA(c)	Anthonomus grandis	
B.136	CryIA(c)	Clysia ambiguella	B.162	CryIA(c)	Curculio 種	
B.137	CryIA(c)	Crocidolomia binotalis	B.163	CryIA(c)	Diabrotica balteata	
B.138	CryIA(c)	Cydia 種	B.164	CryIA(c)	Leptinotarsa 種	
B.139	CryIA(c)	Diparopsis castanea	B.165	CryIA(c)	Lissorhoptrus 種	20
B.140	CryIA(c)	Earias 種	B.166	CryIA(c)	Otiiorhynchus 種	
B.141	CryIA(c)	Ephestlia 種	B.167	CryIA(c)	Aleurothrixus 種	
B.142	CryIA(c)	Heliothis 種	B.168	CryIA(c)	Aleyrodes 種	
B.143	CryIA(c)	Hellula undalis	B.169	CryIA(c)	Aonidiella 種	
B.144	CryIA(c)	Keiferia lycopersicella	B.170	CryIA(c)	Aphididae 種	
B.145	CryIA(c)	Leucoptera scitella	B.171	CryIA(c)	Aphis 種	
B.146	CryIA(c)	Lithocollethis 種	B.172	CryIA(c)	Bemisia tabaci	
B.147	CryIA(c)	Lobesia botrana	B.173	CryIA(c)	Empoasca 種	
B.148	CryIA(c)	Ostrinia nubilalis	B.174	CryIA(c)	Mycus 種	
B.149	CryIA(c)	Pandemis 種	B.175	CryIA(c)	Nephotettix 種	30
B.150	CryIA(c)	Pectinophora gossypiella.	B.176	CryIA(c)	Nilaparvata 種	
			B.177	CryIA(c)	Pseudococcus 種	
			B.178	CryIA(c)	Psylla 種	
			B.179	CryIA(c)	Quadraspidiotus 種	
			B.180	CryIA(c)	Schizaphis 種	

【 0 1 1 5 】

【 表 5 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.181	CryIA(c)	Trialeurodes 種	B.209	CryIIA	Keiferia	
B.182	CryIA(c)	Lyriomyza 種			lycopersicella	
B.183	CryIA(c)	Oscinella 種	B.210	CryIIA	Leucoptera scitella	
B.184	CryIA(c)	Phorbia 種	B.211	CryIIA	Lithocollethis 種	
B.185	CryIA(c)	Frankliniella 種	B.212	CryIIA	Lobesia botrana	
B.186	CryIA(c)	Thrips 種	B.213	CryIIA	Ostrinia nubilalis	
B.187	CryIA(c)	Scirtothrips aurantii	B.214	CryIIA	Pandemis 種	10
B.188	CryIA(c)	Aceria 種	B.215	CryIIA	Pectinophora	
B.189	CryIA(c)	Aculus 種			gossyp.	
B.190	CryIA(c)	Brevipalpus 種	B.216	CryIIA	Phyllocnistis citrella	
B.191	CryIA(c)	Panonychus 種	B.217	CryIIA	Pieris 種	
B.192	CryIA(c)	Phyllocoptruta 種	B.218	CryIIA	Plutella xylostella	
B.193	CryIA(c)	Tetranychus 種	B.219	CryIIA	Scirpophaga 種	
B.194	CryIA(c)	Heterodera 種	B.220	CryIIA	Sesamia 種	
B.195	CryIA(c)	Meloidogyne 種	B.221	CryIIA	Sparganthis 種	
B.196	CryIIA	Adoxophyes 種	B.222	CryIIA	Spodoptera 種	20
B.197	CryIIA	Agrotis 種	B.223	CryIIA	Tortrix 種	
B.198	CryIIA	Alabama	B.224	CryIIA	Trichopiusia ni	
		argillaceae	B.225	CryIIA	Agriotes 種	
B.199	CryIIA	Anticarsia	B.226	CryIIA	Anthonomus	
		gemmatalis			grandis	
B.200	CryIIA	Chilo 種	B.227	CryIIA	Curculio 種	
B.201	CryIIA	Clysia ambiguella	B.228	CryIIA	Diabrotica balteata	
B.202	CryIIA	Crocidolomia	B.229	CryIIA	Leptinotarsa 種	
		binotalis	B.230	CryIIA	Lissorhoptrus 種	
B.203	CryIIA	Cydia 種	B.231	CryIIA	Otiorthynchus 種	30
B.204	CryIIA	Diparopsis	B.232	CryIIA	Aleurothrixus 種	
		castanea	B.233	CryIIA	Aleyrodes 種	
B.205	CryIIA	Earias 種	B.234	CryIIA	Aonidiella 種	
B.206	CryIIA	Ephestia 種	B.235	CryIIA	Aphididae 種	
B.207	CryIIA	Heliothis 種	B.236	CryIIA	Aphis 種	
B.208	CryIIA	Hellula undalis	B.237	CryIIA	Bemisia tabaci	

【 0 1 1 6 】

【 表 6 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.238	CryIIA	Empoasca 種	B.267	CryIIIA	Crocidolomia	
B.239	CryIIA	Mycus 種			binotalis	
B.240	CryIIA	Nephotettix 種	B.268	CryIIIA	Cydia 種	
B.241	CryIIA	Nilaparvata 種	B.269	CryIIIA	Diparopsis	
B.242	CryIIA	Pseudococcus 種			castanea	
B.243	CryIIA	Psylla 種	B.270	CryIIIA	Earias 種	
B.244	CryIIA	Quadraspidotus	B.271	CryIIIA	Ephestia 種	10
		種	B.272	CryIIIA	Heliothis 種	
B.245	CryIIA	Schizaphis 種	B.273	CryIIIA	Hellula undalis	
B.246	CryIIA	Trialeurodes 種	B.274	CryIIIA	Keiferia	
B.247	CryIIA	Lyriomyza 種			lycopersicella	
B.248	CryIIA	Oscinella 種	B.275	CryIIIA	Leucoptera scitella	
B.249	CryIIA	Phorbia 種	B.276	CryIIIA	Lithocollethis 種	
B.250	CryIIA	Frankliniella 種	B.277	CryIIIA	Lobesia botrana	
B.251	CryIIA	Thrips 種	B.278	CryIIIA	Ostrinia nubilalis	
B.252	CryIIA	Scirtothrips aurantii	B.279	CryIIIA	Pandemis 種	20
B.253	CryIIA	Aceria 種	B.280	CryIIIA	Pectinophora	
B.254	CryIIA	Aculus 種			gossyp.	
B.255	CryIIA	Brevipalpus 種	B.281	CryIIIA	Phyllocnistis citrella	
B.256	CryIIA	Panonychus 種	B.282	CryIIIA	Pieris 種	
B.257	CryIIA	Phyllocoptruta 種	B.283	CryIIIA	Plutella xylostella	
B.258	CryIIA	Tetranychus 種	B.284	CryIIIA	Scirpophaga 種	
B.259	CryIIA	Heterodera 種	B.285	CryIIIA	Sesamia 種	
B.260	CryIIA	Meloidogyne 種	B.286	CryIIIA	Sparganothis 種	
B.261	CryIIIA	Adoxophyes 種	B.287	CryIIIA	Spodoptera 種	
B.262	CryIIIA	Agrotis 種	B.288	CryIIIA	Tortrix 種	30
B.263	CryIIIA	Alabama	B.289	CryIIIA	Trichoplusia ni	
		argillaceae	B.290	CryIIIA	Agriotes 種	
B.264	CryIIIA	Anticarsia	B.291	CryIIIA	Anthonomus	
		gemmatalis			grandis	
B.265	CryIIIA	Chilo 種	B.292	CryIIIA	Curculio 種	
B.266	CryIIIA	Clysia ambiguella	B.293	CryIIIA	Diabrotica balteata	

【 0 1 1 7 】

【 表 7 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.294	CryIIIA	Leptinotarsa 種	B.325	CryIIIA	Meloidogyne 種	
B.295	CryIIIA	Lissorhoptus 種	B.326	CryIIIB2	Adoxophyes 種	
B.296	CryIIIA	Otiorthynchus 種	B.327	CryIIIB2	Agrotis 種	
B.297	CryIIIA	Aleurothrixus 種	B.328	CryIIIB2	Alabama	
B.298	CryIIIA	Aleyrodes 種			argillaceae	
B.299	CryIIIA	Aonidiella 種	B.329	CryIIIB2	Anticarsia	
B.300	CryIIIA	Aphididae 種			gemmatalis	10
B.301	CryIIIA	Aphis 種	B.330	CryIIIB2	Chilo 種	
B.302	CryIIIA	Bemisia tabaci	B.331	CryIIIB2	Clysia ambiguella	
B.303	CryIIIA	Empoasca 種	B.332	CryIIIB2	Crocidolomia	
B.304	CryIIIA	Mycus 種			binotalis	
B.305	CryIIIA	Nephotettix 種	B.333	CryIIIB2	Cydia 種	
B.306	CryIIIA	Nilaparvata 種	B.334	CryIIIB2	Diparopsis	
B.307	CryIIIA	Pseudococcus 種			castanea	
B.308	CryIIIA	Psylla 種	B.335	CryIIIB2	Earias 種	
B.309	CryIIIA	Quadraspidiotus	B.336	CryIIIB2	Ephestia 種	
		種	B.337	CryIIIB2	Heliothis 種	20
B.310	CryIIIA	Schizaphis 種	B.338	CryIIIB2	Hellula undalis	
B.311	CryIIIA	Trialeurodes 種	B.339	CryIIIB2	Keiferia	
B.312	CryIIIA	Lyriomyza 種			lycopersicella	
B.313	CryIIIA	Oscinella 種	B.340	CryIIIB2	Leucoptera scitella	
B.314	CryIIIA	Phorbia 種	B.341	CryIIIB2	Lithocollethis 種	
B.315	CryIIIA	Frankliniella 種	B.342	CryIIIB2	Lobesia botrana	
B.316	CryIIIA	Thrips 種	B.343	CryIIIB2	Ostrinia nubilalis	
B.317	CryIIIA	Scirtothrips aurantii	B.344	CryIIIB2	Pandemis 種	
B.318	CryIIIA	Aceria 種	B.345	CryIIIB2	Pectinophora	
B.319	CryIIIA	Aculus 種			gossyp.	30
B.320	CryIIIA	Brevipalpus 種	B.346	CryIIIB2	Phyllocnistis citrella	
B.321	CryIIIA	Panonychus 種	B.347	CryIIIB2	Pieris 種	
B.322	CryIIIA	Phyllocoptruta 種	B.348	CryIIIB2	Plutella xylostella	
B.323	CryIIIA	Tetranychus 種	B.349	CryIIIB2	Scirpophaga 種	
B.324	CryIIIA	Heterodera 種	B.350	CryIIIB2	Sesamia 種	

【 0 1 1 8 】

【 表 8 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.351	CryIIIB2	Sparganothis 種	B.381	CryIIIB2	Thrips 種	
B.352	CryIIIB2	Spodoptera 種	B.382	CryIIIB2	Scirtothrips aurantii	
B.353	CryIIIB2	Tortrix 種	B.383	CryIIIB2	Aceria 種	
B.354	CryIIIB2	Trichoplusia ni	B.384	CryIIIB2	Aculus 種	
B.355	CryIIIB2	Agriotes 種	B.385	CryIIIB2	Brevipalpus 種	
B.356	CryIIIB2	Anthonomus grandis	B.386	CryIIIB2	Panonychus 種	
B.357	CryIIIB2	Curculio 種	B.387	CryIIIB2	Phyllocoptruta 種	10
B.358	CryIIIB2	Diabrotica balteata	B.388	CryIIIB2	Tetranychus 種	
B.359	CryIIIB2	Leptinotarsa 種	B.389	CryIIIB2	Heterodera 種	
B.360	CryIIIB2	Lissorhoptrus 種	B.390	CryIIIB2	Meloidogyne 種	
B.361	CryIIIB2	Otiorynchus 種	B.391	CytA	Adoxophyes 種	
B.362	CryIIIB2	Aleurothrixus 種	B.392	CytA	Agrotis 種	
B.363	CryIIIB2	Aleyrodes 種	B.393	CytA	Alabama argillaceae	
B.364	CryIIIB2	Aonidiella 種	B.394	CytA	Anticarsia gemmatalis	20
B.365	CryIIIB2	Aphididae 種	B.395	CytA	Chilo 種	
B.366	CryIIIB2	Aphis 種	B.396	CytA	Clysia ambiguella	
B.367	CryIIIB2	Bemisia tabaci	B.397	CytA	Crocidolomia binotalis	
B.368	CryIIIB2	Empoasca 種	B.398	CytA	Cydia 種	
B.369	CryIIIB2	Mycus 種	B.399	CytA	Diparopsis castanea	
B.370	CryIIIB2	Nephotettix 種	B.400	CytA	Earias 種	
B.371	CryIIIB2	Nilaparvata 種	B.401	CytA	Ephestia 種	
B.372	CryIIIB2	Pseudococcus 種	B.402	CytA	Heliothis 種	30
B.373	CryIIIB2	Psylla 種	B.403	CytA	Hellula undalis	
B.374	CryIIIB2	Quadraspidotus 種	B.404	CytA	Keiferia lycopersicella	
B.375	CryIIIB2	Schizaphis 種	B.405	CytA	Leucoptera scitella	
B.376	CryIIIB2	Trialeurodes 種	B.406	CytA	Lithocollethis 種	
B.377	CryIIIB2	Lyriomyza 種	B.407	CytA	Lobesia botrana	
B.378	CryIIIB2	Oscinella 種				
B.379	CryIIIB2	Phorbia 種				
B.380	CryIIIB2	Frankliniella 種				

【 0 1 1 9 】

【 表 9 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.408	CytA	Ostrinia nubilalis	B.438	CytA	Psylla 種	
B.409	CytA	Pandemis 種	B.439	CytA	Quadraspidiotus 種	
B.410	CytA	Pectinophora gossyp.	B.440	CytA	Schizaphis 種	
B.411	CytA	Phyllocnistis citrella	B.441	CytA	Trialeurodes 種	
B.412	CytA	Pieris 種	B.442	CytA	Lyriomyza 種	
B.413	CytA	Plutella xylostella	B.443	CytA	Oscinella 種	10
B.414	CytA	Scirpophaga 種	B.444	CytA	Phorbia 種	
B.415	CytA	Sesamia 種	B.445	CytA	Frankliniella 種	
B.416	CytA	Sparganothis 種	B.446	CytA	Thrips 種	
B.417	CytA	Spodoptera 種	B.447	CytA	Scirtothrips aurantii	
B.418	CytA	Tortrix 種	B.448	CytA	Aceria 種	
B.419	CytA	Trichoplusia ni	B.449	CytA	Aculus 種	
B.420	CytA	Agriotes 種	B.450	CytA	Brevipalpus 種	
B.421	CytA	Anthonomus grandis	B.451	CytA	Panonychus 種	
B.422	CytA	Curculio 種	B.452	CytA	Phyllocoptruta 種	20
B.423	CytA	Diabrotica balteata	B.453	CytA	Tetranychus 種	
B.424	CytA	Leptinotarsa 種	B.454	CytA	Heterodera 種	
B.425	CytA	Lissorhoptrus 種	B.455	CytA	Meloidogyne 種	
B.426	CytA	Otiiorhynchus 種	B.456	VIP3	Adoxophyes 種	
B.427	CytA	Aleurothrixus 種	B.457	VIP3	Agrotis 種	
B.428	CytA	Aleyrodes 種	B.458	VIP3	Alabama argillaceae	
B.429	CytA	Aonidiella 種	B.459	VIP3	Anticarsia gemmatalis	
B.430	CytA	Aphididae 種	B.460	VIP3	Chilo 種	30
B.431	CytA	Aphis 種	B.461	VIP3	Clyisia ambiguella	
B.432	CytA	Bemisia tabaci	B.462	VIP3	Crocidolomia binotalis	
B.433	CytA	Empoasca 種	B.463	VIP3	Cydia 種	
B.434	CytA	Mycus 種	B.464	VIP3	Diparopsis castanea	
B.435	CytA	Nephotettix 種				
B.436	CytA	Nilaparvata 種				
B.437	CytA	Pseudococcus 種				

【 0 1 2 0 】

【 表 1 0 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.465	VIP3	Earias 種	B.494	VIP3	Aonidiella 種	
B.466	VIP3	Ephestia 種	B.495	VIP3	Aphididae 種	
B.467	VIP3	Heliothis 種	B.496	VIP3	Aphis 種	
B.468	VIP3	Hellula undalis	B.497	VIP3	Bemisia tabaci	
B.469	VIP3	Keiferia lycopersicella	B.498	VIP3	Empoasca 種	
B.470	VIP3	Leucoptera scitella	B.499	VIP3	Mycus 種	
B.471	VIP3	Lithocollethis 種	B.500	VIP3	Nephotettix 種	10
B.472	VIP3	Lobesia botrana	B.501	VIP3	Nilaparvata 種	
B.473	VIP3	Ostrinia nubilalis	B.502	VIP3	Pseudococcus 種	
B.474	VIP3	Pandemis 種	B.503	VIP3	Psylla 種	
B.475	VIP3	Pectinophora gossyp.	B.504	VIP3	Quadraspidotus 種	
B.476	VIP3	Phyllocnistis citrella	B.505	VIP3	Schizaphis 種	
B.477	VIP3	Pieris 種	B.506	VIP3	Trialeurodes 種	
B.478	VIP3	Plutella xylostella	B.507	VIP3	Lyriomyza 種	
B.479	VIP3	Scirpophaga 種	B.508	VIP3	Oscinella 種	20
B.480	VIP3	Sesamia 種	B.509	VIP3	Phorbia 種	
B.481	VIP3	Sparganothis 種	B.510	VIP3	Frankliniella 種	
B.482	VIP3	Spodoptera 種	B.511	VIP3	Thrips 種	
B.483	VIP3	Tortrix 種	B.512	VIP3	Scirtothrips aurantii	
B.484	VIP3	Trichoplusia ni	B.513	VIP3	Aceria 種	
B.485	VIP3	Agriotes 種	B.514	VIP3	Aculus 種	
B.486	VIP3	Anthonomus grandis	B.515	VIP3	Brevipalpus 種	
B.487	VIP3	Curculio 種	B.516	VIP3	Panonychus 種	
B.488	VIP3	Diabrotica balteata	B.517	VIP3	Phyllocoptruta 種	
B.489	VIP3	Leptinotarsa 種	B.518	VIP3	Tetranychus 種	30
B.490	VIP3	Lissorhoptrus 種	B.519	VIP3	Heterodera 種	
B.491	VIP3	Otiorynchus 種	B.520	VIP3	Meloidogyne 種	
B.492	VIP3	Aleurothrixus 種	B.521	GL	Adoxophyes 種	
B.493	VIP3	Aleyrodes 種	B.522	GL	Agrotis 種	
			B.523	GL	Alabama argillaceae	

【 0 1 2 1 】

【 表 1 1 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.524	GL	Anticarsia gemmatalis	B.551	GL	Anthonomus grandis	
B.525	GL	Chilo 種	B.552	GL	Curculio 種	
B.526	GL	Clysia ambiguella	B.553	GL	Diabrotica balteata	
B.527	GL	Crocidolomia binotalis	B.554	GL	Leptinotarsa 種	
B.528	GL	Cydia 種	B.555	GL	Lissorhoptrus 種	
B.529	GL	Diparopsis castanea	B.556	GL	Otiorynchus 種	10
B.530	GL	Earias 種	B.557	GL	Aleurothrixus 種	
B.531	GL	Ephestia 種	B.558	GL	Aleyrodes 種	
B.532	GL	Heliothis 種	B.559	GL	Aonidiella 種	
B.533	GL	Hellula undalis	B.560	GL	Aphididae 種	
B.534	GL	Keiferia lycopersicella	B.561	GL	Aphis 種	
B.535	GL	Leucoptera scitella	B.562	GL	Bemisia tabaci	
B.536	GL	Lithocollethis 種	B.563	GL	Empoasca 種	
B.537	GL	Lobesia botrana	B.564	GL	Mycus 種	
B.538	GL	Ostrinia nubilalis	B.565	GL	Nephotettix 種	20
B.539	GL	Pandemis 種	B.566	GL	Nilaparvata 種	
B.540	GL	Pectinophora gossyp.	B.567	GL	Pseudococcus 種	
B.541	GL	Phyllocnistis citrella	B.568	GL	Psylla 種	
B.542	GL	Pieris 種	B.569	GL	Quadraspidiotus 種	
B.543	GL	Plutella xylostella	B.570	GL	Schizaphis 種	
B.544	GL	Scirpophaga 種	B.571	GL	Trialeurodes 種	
B.545	GL	Sesamia 種	B.572	GL	Lyriomyza 種	
B.546	GL	Sparganothis 種	B.573	GL	Oscinella 種	
B.547	GL	Spodoptera 種	B.574	GL	Phorbia 種	30
B.548	GL	Tortrix 種	B.575	GL	Frankliniella 種	
B.549	GL	Trichoplusia ni	B.576	GL	Thrips 種	
B.550	GL	Agriotes 種	B.577	GL	Scirtothrips aurantii	
			B.578	GL	Aceria 種	
			B.579	GL	Aculus 種	
			B.580	GL	Brevipalpus 種	

【 0 1 2 2 】

【 表 1 2 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.581	GL	Panonychus 種	B.607	PL	Pieris 種	
B.582	GL	Phyllocoptruta 種	B.608	PL	Plutella xylostella	
B.583	GL	Tetranychus 種	B.609	PL	Scirpophaga 種	
B.584	GL	Heterodera 種	B.610	PL	Sesamia 種	
B.585	GL	Meloidogyne 種	B.611	PL	Sparganothis 種	
B.586	PL	Adoxophyes 種	B.612	PL	Spodoptera 種	
B.587	PL	Agrotis 種	B.613	PL	Tortrix 種	10
B.588	PL	Alabama argillaceae	B.614	PL	Trichoplusia ni	
B.589	PL	Anticarsia gemmatalis	B.615	PL	Agriotes 種	
B.590	PL	Chilo 種	B.616	PL	Anthonomus grandis	
B.591	PL	Clysia ambiguella	B.617	PL	Curculio 種	
B.592	PL	Crocidolomia binotalis	B.618	PL	Diabrotica balteata	
B.593	PL	Cydia 種	B.619	PL	Leptinotarsa 種	
B.594	PL	Diparopsis castanea	B.620	PL	Lissorhoptrus 種	
B.595	PL	Earias 種	B.621	PL	Otiorhynchus 種	20
B.596	PL	Ephestia 種	B.622	PL	Aleurothrixus 種	
B.597	PL	Heliothis 種	B.623	PL	Aleyrodes 種	
B.598	PL	Hellula undalis	B.624	PL	Aonidiella 種	
B.599	PL	Keiferia lycopersicella	B.625	PL	Aphididae 種	
B.600	PL	Leucoptera scitella	B.626	PL	Aphis 種	
B.601	PL	Lithocollethis 種	B.627	PL	Bemisia tabaci	
B.602	PL	Lobesia botrana	B.628	PL	Empoasca 種	
B.603	PL	Ostrinia nubilalis	B.629	PL	Mycus 種	
B.604	PL	Pandemis 種	B.630	PL	Nephotettix 種	
B.605	PL	Pectinophora gossyp.	B.631	PL	Nilaparvata 種	30
B.606	PL	Phyllocnistis citrella	B.632	PL	Pseudococcus 種	
			B.633	PL	Psylla 種	
			B.634	PL	Quadraspidiotus 種	
			B.635	PL	Schizaphis 種	
			B.636	PL	Trialeurodes 種	

【 0 1 2 3 】

【 表 1 3 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.637	PL	Lyriomyza 種			lycopersicella	
B.638	PL	Oscinella 種	B.665	XN	Leucoptera scitella	
B.639	PL	Phorbia 種	B.666	XN	Lithocollethis 種	
B.640	PL	Frankliniella 種	B.667	XN	Lobesia botrana	
B.641	PL	Thrips 種	B.668	XN	Ostrinia nubilalis	
B.642	PL	Scirtothrips aurantii	B.669	XN	Pandemis 種	
B.643	PL	Aceria 種	B.670	XN	Pectinophora	10
B.644	PL	Aculus 種			gossyp.	
B.645	PL	Brevipalpus 種	B.671	XN	Phyllocnistis citrella	
B.646	PL	Panonychus 種	B.672	XN	Pieris 種	
B.647	PL	Phyllocoptruta 種	B.673	XN	Plutella xylostella	
B.648	PL	Tetranychus 種	B.674	XN	Scirpophaga 種	
B.649	PL	Heterodera 種	B.675	XN	Sesamia 種	
B.650	PL	Meloidogyne 種	B.676	XN	Sparganothis 種	
B.651	XN	Adoxophyes 種	B.677	XN	Spodoptera 種	
B.652	XN	Agrotis 種	B.678	XN	Tortrix 種	20
B.653	XN	Alabama	B.679	XN	Trichoplusia ni	
		argillaceae	B.680	XN	Agriotes 種	
B.654	XN	Anticarsia	B.681	XN	Anthonomus	
		gemmatalis			grandis	
B.655	XN	Chilo 種	B.682	XN	Curculio 種	
B.656	XN	Clysia ambiguella	B.683	XN	Diabrotica balteata	
B.657	XN	Crocidolomia	B.684	XN	Leptinotarsa 種	
		binotalis	B.685	XN	Lissorhoptrus 種	
B.658	XN	Cydia 種	B.686	XN	Otiorhynchus 種	
B.659	XN	Diparopsis	B.687	XN	Aleurothrixus 種	30
		castanea	B.688	XN	Aleyrodes 種	
B.660	XN	Earias 種	B.689	XN	Aonidiella 種	
B.661	XN	Ephestia 種	B.690	XN	Aphididae 種	
B.662	XN	Heliothis 種	B.691	XN	Aphis 種	
B.663	XN	Hellula undalis	B.692	XN	Bemisia tabaci	
B.664	XN	Keiferia	B.693	XN	Empoasca 種	

【 0 1 2 4 】

【 表 1 4 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.694	XN	Mycus 種			binotalis	
B.695	XN	Nephotettix 種	B.723	Plnh.	Cydia 種	
B.696	XN	Nilaparvata 種	B.724	Plnh.	Diparopsis	
B.697	XN	Pseudococcus 種			castanea	
B.698	XN	Psylla 種	B.725	Plnh.	Earias 種	
B.699	XN	Quadraspidiotus	B.726	Plnh.	Ephestia 種	
		種	B.727	Plnh.	Heliothis 種	10
B.700	XN	Schizaphis 種	B.728	Plnh.	Hellula undalis	
B.701	XN	Trialeurodes 種	B.729	Plnh.	Keiferia	
B.702	XN	Lyriomyza 種			lycopersicella	
B.703	XN	Oscinella 種	B.730	Plnh.	Leucoptera scitella	
B.704	XN	Phorbia 種	B.731	Plnh.	Lithocollethis 種	
B.705	XN	Frankliniella 種	B.732	Plnh.	Lobesia botrana	
B.706	XN	Thrips 種	B.733	Plnh.	Ostrinia nubilalis	
B.707	XN	Scirtothrips aurantii	B.734	Plnh.	Pandemis 種	
B.708	XN	Aceria 種	B.735	Plnh.	Pectinophora	20
B.709	XN	Aculus 種			gossyp.	
B.710	XN	Brevipalpus 種	B.736	Plnh.	Phyllocnistis citrella	
B.711	XN	Panonychus 種	B.737	Plnh.	Pieris 種	
B.712	XN	Phyllocoptruta 種	B.738	Plnh.	Plutella xylostella	
B.713	XN	Tetranychus 種	B.739	Plnh.	Scirpophaga 種	
B.714	XN	Heterodera 種	B.740	Plnh.	Sesamia 種	
B.715	XN	Meloidogyne 種	B.741	Plnh.	Sparganothis 種	
B.716	Plnh.	Adoxophyes 種	B.742	Plnh.	Spodoptera 種	
B.717	Plnh.	Agrotis 種	B.743	Plnh.	Tortrix 種	
B.718	Plnh.	Alabama	B.744	Plnh.	Trichoplusia ni	30
		argillaceae	B.745	Plnh.	Agriotes 種	
B.719	Plnh.	Anticarsia	B.746	Plnh.	Anthonomus	
		gemmatalis			grandis	
B.720	Plnh.	Chilo 種	B.747	Plnh.	Curculio 種	
B.721	Plnh.	Clysia ambiguella	B.748	Plnh.	Diabrotica balteata	
B.722	Plnh.	Crocidolomia	B.749	Plnh.	Leptinotarsa 種	

【 0 1 2 5 】

【 表 1 5 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.750	Plnh.	Lissorhoptrus 種	B.781	Plec	Adoxophyes 種	
B.751	Plnh.	Otiorynchus 種	B.782	Plec	Agrotis 種	
B.752	Plnh.	Aleurothrixus 種	B.783	Plec	Alabama	
B.753	Plnh.	Aleyrodes 種			argillaceae	
B.754	Plnh.	Aonidiella 種	B.784	Plec	Anticarsia	
B.755	Plnh.	Aphididae 種			gemmatalis	
B.756	Plnh.	Aphis 種	B.785	Plec	Chilo 種	10
B.757	Plnh.	Bemisia tabaci	B.786	Plec	Clysia ambiguella	
B.758	Plnh.	Empoasca 種	B.787	Plec	Crociodomia	
B.759	Plnh.	Mycus 種			binotalis	
B.760	Plnh.	Nephotettix 種	B.788	Plec	Cydia 種	
B.761	Plnh.	Nilaparvata 種	B.789	Plec	Diparopsis	
B.762	Plnh.	Pseudococcus 種			castanea	
B.763	Plnh.	Psylla 種	B.790	Plec	Earias 種	
B.764	Plnh.	Quadraspidotus	B.791	Plec	Ephestia 種	
		種	B.792	Plec	Heliothis 種	20
B.765	Plnh.	Schizaphis 種	B.793	Plec	Hellula undalis	
B.766	Plnh.	Trialeurodes 種	B.794	Plec	Keiferia	
B.767	Plnh.	Lyriomyza 種			lycopersicella	
B.768	Plnh.	Oscinella 種	B.795	Plec	Leucoptera scitella	
B.769	Plnh.	Phorbia 種	B.796	Plec	Lithocollethis 種	
B.770	Plnh.	Frankliniella 種	B.797	Plec	Lobesia botrana	
B.771	Plnh.	Thrips 種	B.798	Plec	Ostrinia nubilalis	
B.772	Plnh.	Scirtothrips aurantii	B.799	Plec	Pandemis 種	
B.773	Plnh.	Aceria 種	B.800	Plec	Pectinophora	
B.774	Plnh.	Aculus 種			gossyp.	30
B.775	Plnh.	Brevipalpus 種	B.801	Plec	Phyllocnistis citrella	
B.776	Plnh.	Panonychus 種	B.802	Plec	Pieris 種	
B.777	Plnh.	Phyllocoptruta 種	B.803	Plec	Plutella xylostella	
B.778	Plnh.	Tetranychus 種	B.804	Plec	Scirpophaga 種	
B.779	Plnh.	Heterodera 種	B.805	Plec	Sesamia 種	
B.780	Plnh.	Meloidogyne 種	B.806	Plec	Sparganothis 種	

【 0 1 2 6 】

【 表 1 6 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.807	Plec	Spodoptera 種	B.837	Plec	Scirtothrips aurantii	
B.808	Plec	Tortrix 種	B.838	Plec	Aceria 種	
B.809	Plec	Trichoplusia ni	B.839	Plec	Aculus 種	
B.810	Plec	Agriotes 種	B.840	Plec	Brevipalpus 種	
B.811	Plec	Anthonomus grandis	B.841	Plec	Panonychus 種	
B.812	Plec	Curculio 種	B.842	Plec	Phyllocoptruta 種	
B.813	Plec	Diabrotica balteata	B.843	Plec	Tetranychus 種	10
B.814	Plec	Leptinotarsa 種	B.844	Plec	Heterodera 種	
B.815	Plec	Lissorhoptus 種	B.845	Plec	Meloidogyne 種	
B.816	Plec	Otiorhynchus 種	B.846	Aggl.	Adoxophyes 種	
B.817	Plec	Aleurothrixus 種	B.847	Aggl.	Agrotis 種	
B.818	Plec	Aleyrodes 種	B.848	Aggl.	Alabama argillaceae	
B.819	Plec	Aonidiella 種	B.849	Aggl.	Anticarsia gemmatalis	
B.820	Plec	Aphididae 種	B.850	Aggl.	Chilo 種	20
B.821	Plec	Aphis 種	B.851	Aggl.	Clysia ambiguella	
B.822	Plec	Bemisia tabaci	B.852	Aggl.	Crocidolomia binotalis	
B.823	Plec	Empoasca 種	B.853	Aggl.	Cydia 種	
B.824	Plec	Mycus 種	B.854	Aggl.	Diparopsis castanea	
B.825	Plec	Nephotettix 種	B.855	Aggl.	Earias 種	
B.826	Plec	Nilaparvata 種	B.856	Aggl.	Ephestia 種	
B.827	Plec	Pseudococcus 種	B.857	Aggl.	Heliothis 種	
B.828	Plec	Psylla 種	B.858	Aggl.	Hellula undalis	30
B.829	Plec	Quadraspidiotus 種	B.859	Aggl.	Keiferia lycopersicella	
B.830	Plec	Schizaphis 種	B.860	Aggl.	Leucoptera scitella	
B.831	Plec	Trialeurodes 種	B.861	Aggl.	Lithocollethis 種	
B.832	Plec	Lyriomyza 種	B.862	Aggl.	Lobesia botrana	
B.833	Plec	Oscinella 種	B.863	Aggl.	Ostrinia nubilalis	
B.834	Plec	Phorbia 種				
B.835	Plec	Frankliniella 種				
B.836	Plec	Thrips 種				

【 0 1 2 7 】

【 表 1 7 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.864	Aggl.	Pandemis 種	B.894	Aggl.	Quadraspidotus	
B.865	Aggl.	Pectinophora			種	
		gossyp.	B.895	Aggl.	Schizaphis 種	
B.866	Aggl.	Phyllocnistis citrella	B.896	Aggl.	Trialeurodes 種	
B.867	Aggl.	Pieris 種	B.897	Aggl.	Lyriomyza 種	
B.868	Aggl.	Plutella xylostella	B.898	Aggl.	Oscinella 種	
B.869	Aggl.	Scirpophaga 種	B.899	Aggl.	Phorbia 種	10
B.870	Aggl.	Sesamia 種	B.900	Aggl.	Frankliniella 種	
B.871	Aggl.	Sparganothis 種	B.901	Aggl.	Thrips 種	
B.872	Aggl.	Spodoptera 種	B.902	Aggl.	Scirtothrips aurantii	
B.873	Aggl.	Tortrix 種	B.903	Aggl.	Aceria 種	
B.874	Aggl.	Trichoplusia ni	B.904	Aggl.	Aculus 種	
B.875	Aggl.	Agriotes 種	B.905	Aggl.	Brevipalpus 種	
B.876	Aggl.	Anthonomus	B.906	Aggl.	Panonychus 種	
		grandis	B.907	Aggl.	Phyllocoptruta 種	
B.877	Aggl.	Curculio 種	B.908	Aggl.	Tetranychus 種	20
B.878	Aggl.	Diabrotica balteata	B.909	Aggl.	Heterodera 種	
B.879	Aggl.	Leptinotarsa 種	B.910	Aggl.	Meloidogyne 種	
B.880	Aggl.	Lissorhoptrus 種	B.911	CO	Adoxophyes 種	
B.881	Aggl.	Otiorhynchus 種	B.912	CO	Agrotis 種	
B.882	Aggl.	Aleurothrixus 種	B.913	CO	Alabama	
B.883	Aggl.	Aleyrodes 種			argillaceae	
B.884	Aggl.	Aonidiella 種	B.914	CO	Anticarsia	
B.885	Aggl.	Aphididae 種			gemmatalis	
B.886	Aggl.	Aphis 種	B.915	CO	Chilo 種	
B.887	Aggl.	Bemisia tabaci	B.916	CO	Clysia ambiguella	30
B.888	Aggl.	Empoasca 種	B.917	CO	Crocidolomia	
B.889	Aggl.	Mycus 種			binotalis	
B.890	Aggl.	Nephotettix 種	B.918	CO	Cydia 種	
B.891	Aggl.	Nilaparvata 種	B.919	CO	Diparopsis	
B.892	Aggl.	Pseudococcus 種			castanea	
B.893	Aggl.	Psylla 種	B.920	CO	Earias 種	

【 0 1 2 8 】

【 表 1 8 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.921	CO	Ephestia 種	B.950	CO	Aphididae 種	
B.922	CO	Heliothis 種	B.951	CO	Aphis 種	
B.923	CO	Hellula undalis	B.952	CO	Bemisia tabaci	
B.924	CO	Keiferia lycopersicella	B.953	CO	Empoasca 種	
B.925	CO	Leucoptera scitella	B.954	CO	Mycus 種	
B.926	CO	Lithocollethis 種	B.955	CO	Nephotettix 種	10
B.927	CO	Lobesia botrana	B.956	CO	Nilaparvata 種	
B.928	CO	Ostrinia nubilalis	B.957	CO	Pseudococcus 種	
B.929	CO	Pandemis 種	B.958	CO	Psylla 種	
B.930	CO	Pectinophora gossyp.	B.959	CO	Quadraspidotus 種	
B.931	CO	Phyllocnistis citrella	B.960	CO	Schizaphis 種	
B.932	CO	Pieris 種	B.961	CO	Trialeurodes 種	
B.933	CO	Plutella xylostella	B.962	CO	Lyriomyza 種	
B.934	CO	Scirpophaga 種	B.963	CO	Oscinella 種	
B.935	CO	Sesamia 種	B.964	CO	Phorbia 種	20
B.936	CO	Sparganothis 種	B.965	CO	Frankliniella 種	
B.937	CO	Spodoptera 種	B.966	CO	Thrips 種	
B.938	CO	Tortrix 種	B.967	CO	Scirtothrips aurantii	
B.939	CO	Trichoplusia ni	B.968	CO	Aceria 種	
B.940	CO	Agriotes 種	B.969	CO	Aculus 種	
B.941	CO	Anthonomus grandis	B.970	CO	Brevipalpus 種	
B.942	CO	Curculio 種	B.971	CO	Panonychus 種	
B.943	CO	Diabrotica balteata	B.972	CO	Phyllocoptruta 種	
B.944	CO	Leptinotarsa 種	B.973	CO	Tetranychus 種	
B.945	CO	Lissorhoptrus 種	B.974	CO	Heterodera 種	30
B.946	CO	Otiorhynchus 種	B.975	CO	Meloidogyne 種	
B.947	CO	Aleurothrixus 種	B.976	CH	Adoxophyes 種	
B.948	CO	Aleyrodes 種	B.977	CH	Agrotis 種	
B.949	CO	Aonidiella 種	B.978	CH	Alabama argillaceae	
			B.979	CH	Anticarsia	

【 0 1 2 9 】

【 表 1 9 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
		gemmatalis			grandis	
B.980	CH	Chilo 種	B.1007	CH	Curculio 種	
B.981	CH	Clysia ambiguella	B.1008	CH	Diabrotica balteata	
B.982	CH	Crocidolomia	B.1009	CH	Leptinotarsa 種	
		binotalis	B.1010	CH	Lissorhoptus 種	
B.983	CH	Cydia 種	B.1011	CH	Otiorhynchus 種	
B.984	CH	Diparopsis	B.1012	CH	Aleurothrixus 種	10
		castanea	B.1013	CH	Aleyrodes 種	
B.985	CH	Earias 種	B.1014	CH	Aonidiella 種	
B.986	CH	Ephestia 種	B.1015	CH	Aphididae 種	
B.987	CH	Heliiothis 種	B.1016	CH	Aphis 種	
B.988	CH	Hellula undalis	B.1017	CH	Bemisia tabaci	
B.989	CH	Keiferia	B.1018	CH	Empoasca 種	
		lycopersicella	B.1019	CH	Mycus 種	
B.990	CH	Leucoptera scitella	B.1020	CH	Nephotettix 種	
B.991	CH	Lithocollethis 種	B.1021	CH	Nilaparvata 種	20
B.992	CH	Lobesia botrana	B.1022	CH	Pseudococcus 種	
B.993	CH	Ostrinia nubilalis	B.1023	CH	Psylla 種	
B.994	CH	Pandemis 種	B.1024	CH	Quadraspidiotus	
B.995	CH	Pectinophora			種	
		gossyp.	B.1025	CH	Schizaphis 種	
B.996	CH	Phyllocnistis citrella	B.1026	CH	Trialeurodes 種	
B.997	CH	Pieris 種	B.1027	CH	Lyriomyza 種	
B.998	CH	Plutella xylostella	B.1028	CH	Oscinella 種	
B.999	CH	Scirpophaga 種	B.1029	CH	Phorbia 種	
B.1000	CH	Sesamia 種	B.1030	CH	Frankliniella 種	30
B.1001	CH	Sparganothis 種	B.1031	CH	Thrips 種	
B.1002	CH	Spodoptera 種	B.1032	CH	Scirtothrips aurantii	
B.1003	CH	Tortrix 種	B.1033	CH	Aceria 種	
B.1004	CH	Trichoplusia ni	B.1034	CH	Aculus 種	
B.1005	CH	Agriotes 種	B.1035	CH	Brevipalpus 種	
B.1006	CH	Anthonomus	B.1036	CH	Panonychus 種	

【 0 1 3 0 】

【 表 2 0 】

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.1037	CH	Phyllocoptruta 種	B.1063	SS	Plutella xylostella	
B.1038	CH	Tetranychus 種	B.1064	SS	Scirpophaga 種	
B.1039	CH	Heterodera 種	B.1065	SS	Sesamia 種	
B.1040	CH	Meloidogyne 種	B.1066	SS	Sparganothis 種	
B.1041	SS	Adoxophyes 種	B.1067	SS	Spodoptera 種	
B.1042	SS	Agrotis 種	B.1068	SS	Tortrix 種	
B.1043	SS	Alabama	B.1069	SS	Trichoplusia ni	10
		argillaceae	B.1070	SS	Agriotes 種	
B.1044	SS	Anticarsia	B.1071	SS	Anthonomus	
		gemmatalis			grandis	
B.1045	SS	Chilo 種	B.1072	SS	Curculio 種	
B.1046	SS	Clysia ambiguella	B.1073	SS	Diabrotica balteata	
B.1047	SS	Crocidolomia	B.1074	SS	Leptinotarsa 種	
		binotalis	B.1075	SS	Lissorhoptus 種	
B.1048	SS	Cydia 種	B.1076	SS	Otiorhynchus 種	
B.1049	SS	Diparopsis	B.1077	SS	Aleurothrixus 種	
		castanea	B.1078	SS	Aleyrodes 種	20
B.1050	SS	Earias 種	B.1079	SS	Aonidiella 種	
B.1051	SS	Ephestia 種	B.1080	SS	Aphididae 種	
B.1052	SS	Heliothis 種	B.1081	SS	Aphis 種	
B.1053	SS	Hellula undalis	B.1082	SS	Bemisia tabaci	
B.1054	SS	Keiferia	B.1083	SS	Empoasca 種	
		lycopersicella	B.1084	SS	Mycus 種	
B.1055	SS	Leucoptera scitella	B.1085	SS	Nephotettix 種	
B.1056	SS	Lithocollethis 種	B.1086	SS	Nilaparvata 種	
B.1057	SS	Lobesia botrana	B.1087	SS	Pseudococcus 種	30
B.1058	SS	Ostrinia nubilalis	B.1088	SS	Psylla 種	
B.1059	SS	Pandemis 種	B.1089	SS	Quadraspidotus	
B.1060	SS	Pectinophora			種	
		gossyp.	B.1090	SS	Schizaphis 種	
B.1061	SS	Phyllocnistis citrella	B.1091	SS	Trialeurodes 種	
B.1062	SS	Pieris 種	B.1092	SS	Lyriomyza 種	

【 0 1 3 1 】

【 表 2 1 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象	
B.1093	SS	Oscinella 種	B.1120	HO	Leucoptera scitella	
B.1094	SS	Phorbia 種	B.1121	HO	Lithocollethis 種	
B.1095	SS	Frankliniella 種	B.1122	HO	Lobesia botrana	
B.1096	SS	Thrips 種	B.1123	HO	Ostrinia nubilalis	
B.1097	SS	Scirtothrips aurantii	B.1124	HO	Pandemis 種	
B.1098	SS	Aceria 種	B.1125	HO	Pectinophora	
B.1099	SS	Aculus 種			gossypiella	10
B.1100	SS	Brevipalpus 種	B.1126	HO	Phyllocnistis citrella	
B.1101	SS	Panonychus 種	B.1127	HO	Pieris 種	
B.1102	SS	Phyllocoptruta 種	B.1128	HO	Plutella xylostella	
B.1103	SS	Tetranychus 種	B.1129	HO	Scirpophaga 種	
B.1104	SS	Heterodera 種	B.1130	HO	Sesamia 種	
B.1105	SS	Meloidogyne 種	B.1131	HO	Sparganothis 種	
B.1106	HO	Adoxophyes 種	B.1132	HO	Spodoptera 種	
B.1107	HO	Agrotis 種	B.1133	HO	Tortrix 種	
B.1108	HO	Alabama	B.1134	HO	Trichoplusia ni	20
		argillaceae	B.1135	HO	Agriotes 種	
B.1109	HO	Anticarsia	B.1136	HO	Anthonomus	
		gemmatalis			grandis	
B.1110	HO	Chilo 種	B.1137	HO	Curculio 種	
B.1111	HO	Clysia ambiguella	B.1138	HO	Diabrotica balteata	
B.1112	HO	Crocidolomia	B.1139	HO	Leptinotarsa 種	
		binotalis	B.1140	HO	Lissorhoptrus 種	
B.1113	HO	Cydia 種	B.1141	HO	Otiorhynchus 種	
B.1114	HO	Diparopsis	B.1142	HO	Aleurothrixus 種	
		castanea	B.1143	HO	Aleyrodes 種	30
B.1115	HO	Earias 種	B.1144	HO	Aonidiella 種	
B.1116	HO	Ephestia 種	B.1145	HO	Aphididae 種	
B.1117	HO	Heliothis 種	B.1146	HO	Aphis 種	
B.1118	HO	Hellula undalis	B.1147	HO	Bemisia tabaci	
B.1119	HO	Keiferia	B.1148	HO	Empoasca 種	
		lycopersicella	B.1149	HO	Mycus 種	

【 0 1 3 2 】

【 表 2 2 】

40

	AP	防除の対象		AP	防除の対象
B.1150	HO	Nephotettix 種	B.1160	HO	Frankliniella 種
B.1151	HO	Nilaparvata 種	B.1161	HO	Thrips 種
B.1152	HO	Pseudococcus 種	B.1162	HO	Scirtothrips aurantii
B.1153	HO	Psylla 種	B.1163	HO	Aceria 種
B.1154	HO	Quadraspidiotus 種	B.1164	HO	Aculus 種
B.1155	HO	Schizaphis 種	B.1165	HO	Brevipalpus 種
B.1156	HO	Trialeurodes 種	B.1166	HO	Panonychus 種
B.1157	HO	Lyriomyza 種	B.1167	HO	Phyllocoptruta 種
B.1158	HO	Oscinella 種	B.1168	HO	Tetranychus 種
B.1159	HO	Phorbia 種	B.1169	HO	Heterodera 種
			B.1170	HO	Meloidogyne 種

10

【 0 1 3 3 】

生物学的例

表 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表 B の B . 1 ~ B . 1 1 7 0 の個々の組合せのいずれか一つ (anyone) に対応する、形質転換の綿へのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

20

【 0 1 3 4 】

表 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表 B の B . 1 ~ B . 1 1 7 0 の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換イネへのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 3 5 】

表 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表 B の B . 1 ~ B . 1 1 7 0 の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ジャガイモへのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

30

【 0 1 3 6 】

表 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表 B の B . 1 ~ B . 1 1 7 0 の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換アブラナ属へのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 3 7 】

表 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表 B の B . 1 ~ B . 1 1 7 0 の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換マトへのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 3 8 】

表 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表 B の B . 1 ~ B . 1 1 7 0 の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ウリ科 (cucubits) の植物へのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

40

【 0 1 3 9 】

表 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表 B の B . 1 ~ B . 1 1 7 0 の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ダイズへのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 4 0 】

表 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表 B の B . 1 ~ B . 1 1 7 0 の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換トウモロコシへのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

50

【0141】

表9：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換コムギへのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0142】

表10：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換バナナへのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0143】

表11：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換の柑橘類木へのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

10

【0144】

表12：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換の梨状果木へのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0145】

表13：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換コショウへのチアメトキサムの適用を含む有害生物を防除する方法。

20

【0146】

表14：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換の綿へのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0147】

表15：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換イネへのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0148】

表16：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ジャガイモへのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

30

【0149】

表17：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換トマトへのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0150】

表18：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ウリ科の植物へのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

40

【0151】

表19：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ダイズへのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0152】

表20：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換トウモロコシへのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0153】

表21：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合

50

せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換コムギへのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 5 4 】

表 2 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換バナナへのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 5 5 】

表 2 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換のオレンジ木へのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

10

【 0 1 5 6 】

表 2 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換の梨状果へのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 5 7 】

表 2 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換のウリ科へのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 5 8 】

表 2 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換コショウへのイミダクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

20

【 0 1 5 9 】

表 2 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換の綿へのT i - 4 3 5の適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 6 0 】

表 2 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換イネへのT i - 4 3 5の適用を含む有害生物を防除する方法。

30

【 0 1 6 1 】

表 2 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ジャガイモへのT i - 4 3 5の適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 6 2 】

表 3 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換アブラナ属へのT i - 4 3 5の適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 6 3 】

表 3 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換トマトへのT i - 4 3 5の適用を含む有害生物を防除する方法。

40

【 0 1 6 4 】

表 3 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ウリ科の植物へのT i - 4 3 5の適用を含む有害生物を防除する方法。

【 0 1 6 5 】

表 3 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB . 1 ~ B . 1 1 7 0の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ダイズへのT i - 4 3 5の適用を含む有害生物を防除する方法。

50

【0166】

表34：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換トウモロコシへのTi-435の適用を含む有害生物を防除する方法。

【0167】

表35：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換コムギへのTi-435の適用を含む有害生物を防除する方法。

【0168】

表36：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換バナナへのTi-435の適用を含む有害生物を防除する方法。

10

【0169】

表37：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換の柑橘類木へのTi-435の適用を含む有害生物を防除する方法。

【0170】

表38：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換の梨状果木へのTi-435の適用を含む有害生物を防除する方法。

20

【0171】

表39：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換の綿へのチアクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0172】

表40：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換イネへのチアクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0173】

表41：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ジャガイモへのチアクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

30

【0174】

表42：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換アブラナ属へのチアクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0175】

表43：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換トマトへのチアクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

40

【0176】

表44：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ウリ科の植物へのチアクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0177】

表45：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換ダイズへのチアクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0178】

表46：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合

50

せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換トウモロコシへのチアクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0179】

表47：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換コムギへのチアクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

【0180】

表48：形質転換植物により発現された活性の原理と、防除されるべき有害生物との組合せが、表BのB.1～B.1170の個々の組合せのいずれか一つに対応する、形質転換バナナへのチアクロプリドの適用を含む有害生物を防除する方法。

10

【0181】

表C：

略号：

アセチルCoAカルボキシラーゼ：ACCCase

アセトラクテートシンターゼ：ALS

ヒドロキシフェニルピルベートジオキシゲナーゼ：HPPD

蛋白質合成の阻害：IPS

ホルモン類似体(mimic)：HO

グルタミンシンセターゼ：GS

プロトボルフィリノーゲンオキシダーゼ：PROTOX

5-エノールピルポイル-3-ホスフォシキミ酸シンターゼ：EPSPS

20

【0182】

【表23】

	原理	寛容性の対象	作物
C.1	ALS	スルホニル尿素等***	綿
C.2	ALS	スルホニル尿素等***	イネ
C.3	ALS	スルホニル尿素等***	ブラシカ
C.4	ALS	スルホニル尿素等***	ジャガイモ
C.5	ALS	スルホニル尿素等***	トマト
C.6	ALS	スルホニル尿素等***	ウリ種
C.7	ALS	スルホニル尿素等***	ダイズ
C.8	ALS	スルホニル尿素等***	トウモロコシ
C.9	ALS	スルホニル尿素等***	コムギ
C.10	ALS	スルホニル尿素等***	梨果
C.11	ALS	スルホニル尿素等***	石果
C.12	ALS	スルホニル尿素等***	かんきつ類
C.13	ACCCase	+++	綿
C.14	ACCCase	+++	イネ
C.15	ACCCase	+++	ブラシカ
C.16	ACCCase	+++	ジャガイモ
C.17	ACCCase	+++	トマト

30

40

【0183】

【表24】

	原理	寛容性の対象	作物	
C.18	ACCase	+++	ウリ科	
C.19	ACCase	+++	ダイズ	
C.20	ACCase	+++	トウモロコシ	
C.21	ACCase	+++	コムギ	
C.22	ACCase	+++	梨果	
C.23	ACCase	+++	石果	
C.24	ACCase	+++	かんきつ類	10
C.25	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	綿	
C.26	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	イネ	
C.27	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	ブラシカ	
C.28	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	ジャガイモ	
C.29	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	トマト	
C.30	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	ウリ科	
C.31	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	ダイズ	
C.32	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	トウモロコシ	
C.33	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	コムギ	20
C.34	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	梨果	
C.35	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	石果	
C.36	HPPD	イソキサフルトール、イソキサクロール、スルコトリオン、メソトリオン	かんきつ類	
C.37	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	綿	
C.38	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	イネ	
C.39	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	ブラシカ	
C.40	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	ジャガイモ	
C.41	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	トマト	
C.42	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	ウリ科	
C.43	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	ダイズ	30
C.44	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	トウモロコシ	
C.45	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	コムギ	
C.46	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	梨果	
C.47	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	石果	
C.48	ニトリラーゼ	ブロモキシニル、ロキシニル	かんきつ類	
C.49	IPS	クロロアセトアニリド類&&&	綿	

【 0 1 8 4 】

【 表 2 5 】

40

	原理	寛容性の対象	作物	
C.50	IPS	クロロアセトアニリド類&&&	イネ	
C.51	IPS	クロロアセトアニリド類&&&s	ブラシカ	
C.52	IPS	クロロアセトアニリド類&&&	ジャガイモ	
C.53	IPS	クロロアセトアニリド類&&&	トマト	
C.54	IPS	クロロアセトアニリド類&&&	ウリ科	
C.55	IPS	クロロアセトアニリド類&&&	ダイズ	
C.56	IPS	クロロアセトアニリド類&&&	トウモロコシ	10
C.57	IPS	クロロアセトアニリド類&&&	コムギ	
C.58	IPS	クロロアセトアニリド類&&&	梨果	
C.59	IPS	クロロアセトアニリド類&&&	石果	
C.60	IPS	クロロアセトアニリド類&&&	かんきつ類	
C.61	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	綿	
C.62	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	イネ	
C.63	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	ブラシカ	
C.64	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	ジャガイモ	
C.65	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	トマト	20
C.66	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	ウリ科	
C.67	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	ダイズ	
C.68	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	トウモロコシ	
C.69	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	コムギ	
C.70	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	梨果	
C.71	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	石果	
C.72	HOM	2, 4-D, メコプロップ-P	かんきつ類	
C.73	PROTOX	Prottoxインヒビター類///	綿	
C.74	PROTOX	Prottoxインヒビター類///	イネ	
C.75	PROTOX	Prottoxインヒビター類///	ブラシカ	30
C.76	PROTOX	Prottoxインヒビター類///	ジャガイモ	
C.77	PROTOX	Prottoxインヒビター類///	トマト	
C.78	PROTOX	Prottoxインヒビター類///	ウリ科	
C.79	PROTOX	Prottoxインヒビター類///	ダイズ	
C.80	PROTOX	Prottoxインヒビター類///	トウモロコシ	
C.81	PROTOX	Prottoxインヒビター類///	コムギ	

【 0 1 8 5 】

【 表 2 6 】

40

	原理	寛容性の対象	作物	
C.82	PROTOX	Prot oxインヒビター類///	梨果	
C.83	PROTOX	Prot oxインヒビター類///	石果	
C.84	PROTOX	Prot oxインヒビター類///	かんきつ類	
C.85	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	綿	
C.86	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	イネ	
C.87	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	ブラシカ	
C.88	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	ジャガイモ	10
C.89	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	トマト	
C.90	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	ウリ科	
C.91	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	ダイズ	
C.92	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	トウモロコシ	
C.93	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	コムギ	
C.94	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	梨果	
C.95	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	石果	
C.96	EPSPS	グリホセートおよび/又はスルホセート	かんきつ類	
C.97	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	綿	20
C.98	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	イネ	
C.99	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	ブラシカ	
C.100	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	ジャガイモ	
C.101	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	トマト	
C.102	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	ウリ科	
C.103	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	ダイズ	
C.104	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	トウモロコシ	
C.105	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	コムギ	
C.106	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	梨果	
C.107	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	石果	30
C.108	GS	グリホシネートおよび/又はピアラホス	かんきつ類	

【 0 1 8 6 】

*** : スルホニル尿素類、イミダゾリノン類、トリアゾロピリミジン類、ジメトキシピリミジン類およびN - アシルスルフォナミド類が含まれる :

【 0 1 8 7 】

クロロスルフロン (Chlorsulfuron)、クロリムロン (Chlorimuron)、エタメトスルフロン (Ethamethsulfuron)、メトスルフロン (Metsulfuron)、プリミスルフロン (Primisulfuron)、プロスルフロン (Prosulfuron)、トリアスルフロン (Triasulfuron)、チノスルフロン (Cinosulfuron)、トリフスルフロン (Trifusulfuron)、オキサスルフロン (Oxasulfuron)、ベンスルフロン (Bensulfuron)、トリベヌロン (Tribenuron)、A C C 3 2 2 1 4 0、フルツアスルフロン (Fluzasulfuron)、エトキシスルフロン (Ethoxysulfuron)、フルツアズルフロン (Fluzasulfuron)、ニコスルフロン (Nicosulfuron)、リムスルフロン (Rimsulfuron)、チフェンスルフロン (Thifensulfuron)、ピラゾスルフロン (Pyrazosulfuron)、クロピラスルフロン (Clopyrasulfuron)、N C 3 3 0、アジムスルフロン (Azimsulfuron)、イマゾスルフロン (Imazosulfuron)、スルフォスルフロン (Suflosulfuron)、アミドスルフロン (Amidosulfuron)、フルピスルフロン (Flupyrsulfuron)、C G A 3 6 2 6 2 2 等のスルホニル尿素類 ;

【 0 1 8 8 】

イマザメタバズ (Imazamethabenz)、イマザキン (Imazaquin)、イマザメチピル (imazamethypyr)、イマゼタピル (Imazethapyr)、イマザピル (Imazapyr) およびイマザモクス (Imazamox) 等のイミダゾリノン類；

【 0 1 8 9 】

D E 5 1 1、フルメトスラム (Flumetsulam) およびクロランスラム (Chloransulam) 等のトリアゾロピリミジン類；

【 0 1 9 0 】

ピリチオバック (Pyriothiobac)、ピリミノバック (Pyriminobac)、ビスピリバック (Bispyribac) およびピリベンゾキシム (Pyribenzoxim) 等のジメトキシピリミジン類。

10

【 0 1 9 1 】

+++ : ジクロフォップ - メチル (Diclofop-methyl)、フルアジフォップ - P - ブチル (Fluazifop-P-butyl)、ハロキシフォップ - P - メチル (Haloxyfop-P-methyl)、ハロキシフォップ - P - エチル (Haloxyfop-P-ethyl)、キザラフォップ - P - エチル (Ouzalafop-P-ethyl)、クロディナフォッププロパルギル (clodinafop propargyl)、フェノキサプロップ - エチル (fenoxaprop-ethyl)、- テプラロキシジム (Tepraloxym)、アロキシジム (Alloxym)、セトキシジム (Sethoxym)、シクロキシジム (Cycloxydim)、クロプロキシジム (Cloproxydim)、トラルコキシジム (Tralkoxydim)、ブトキシジム (Butoxydim)、カロキシジム (Caloxydim)、クレフォキシジム (Clefoxydim)、クレトジム (Clethodim) に寛容性を有する。

20

【 0 1 9 2 】

&&& : アラクロル (Alachlor)、アセトクロル (Acetochlor)、ジメテナミド (Dime thanamid) 等のクロロアセトアニリド類。

【 0 1 9 3 】

/// : Protoxインヒビター：例えば、アシフルオルフェン (Acifluorfen)、アクロニフェン (Aclonifen)、ピフェノックス (Bifenox)、クロルニトロフェン (Chlomitrofen)、エトキシフェン (Ethoxyfen)、フルオログリコフェン (Fluoroglycofen)、フオメサフェン (Fomesafen)、ラクトフェン (Lactofen)、オキシフルオルフェン (Oxyfluorfen) 等のジフェニエーテル類；アザフェニジン (Azafenidin)、カルフェントラゾン - エチル (Carfentrazone-ethyl)、シニドン - エチル (Cinidon-ethyl)、フルミクロラック - ペンチル (Flumiclorac-pentyl)、フルミオキサジン (Flumioxazin)、フルチアセット - メチル (Fluthiacet-methyl)、オキサジアアルギル (Oxadiargyl)、オキサジアゾン (Oxadiazon)、ペントキサゾン (Pentoxazone)、スルフェントラゾン (Sulfentrazone) 等のイミド類；フルミプロピン (Flumipropyn)、フルプロパシル (Flupro pacil)、ニピラクロフェン (Nipyraclofen) およびチアジアジミン (Thidiazimin) 等のイミド類その他；および、更にフルアゾレート (Fluazolate) およびピラフルフェン - エチル (Pyraflufen-ethyl)。

30

【 0 1 9 4 】

生物学的例

表 4 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 Adoxophyes の代表的なものを防除する方法。

40

【 0 1 9 5 】

表 5 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 Agrotis の代表的なものを防除する方法。

【 0 1 9 6 】

表 5 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき

50

作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含むアラバマargillaceaeを防除する方法。

【0197】

表52：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含むAnticarsia gemmatalisを防除する方法。

【0198】

表53：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Chiloの代表的なものを防除する方法。

10

【0199】

表54：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含むClysia ambiguellaを防除する方法。

【0200】

表55：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Cnephalocrocisの代表的なものを防除する方法。

20

【0201】

表56：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含むCrocidolomia binotalisを防除する方法。

【0202】

表57：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Cydiaの代表的なものを防除する方法。

30

【0203】

表58：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含むDiparopsis castaneaを防除する方法。

【0204】

表59：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Eariasの代表的なものを防除する方法。

40

【0205】

表60：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Ephestiaの代表的なものを防除する方法。

【0206】

表61：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき

50

作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属*Heliothis*の代表的なものを防除する方法。

【0207】

表62：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む*Helicoverpa undalis*を防除する方法。

【0208】

表63：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む*Keiferia lycopersicella*を防除する方法。

10

【0209】

表64：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む*Leucoptera scitella*を防除する方法。

【0210】

表65：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属*Lithocolletis*の代表的なものを防除する方法。

20

【0211】

表66：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属*Lobesia botrana*を防除する方法。

【0212】

表67：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む*Ostrinia nubilalis*を防除する方法。

30

【0213】

表68：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属*Pandemis*の代表的なものを防除する方法。

【0214】

表69：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む*Pectinophora gossypiella*を防除する方法。

40

【0215】

表70：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む*Phyllocnistis citrella*を防除する方法。

【0216】

表71：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC. 1 ~ C. 108のいずれか一つに対応する、除草剤

50

耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Pierisの代表的なものを防除する方法。

【0217】

表72：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含むPlutella xylostellaを防除する方法。

【0218】

表73：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Scirpophagaを防除する方法。

10

【0219】

表74：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Sesamiaの代表的なものを防除する方法。

【0220】

表75：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Sparganthisの代表的なものを防除する方法。

20

【0221】

表76：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含むSpodopteraの代表的なものを防除する方法。

【0222】

表77：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Tortrixの代表的なものを防除する方法。

30

【0223】

表78：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含むTrichoplusia niを防除する方法。

【0224】

表79：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Agriotesの代表的なものを防除する方法。

40

【0225】

表80：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含むAnthonomus grandisを防除する方法。

【0226】

表81：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Curculioの代表的なものを防除する方法。

50

【 0 2 2 7 】

表 8 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む *Diabrotica balteata* を防除する方法。

【 0 2 2 8 】

表 8 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Leptinotarsa* の代表的なものを防除する方法。

10

【 0 2 2 9 】

表 8 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Lissorhoptus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 3 0 】

表 8 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Otiiorhynchus* の代表的なものを防除する方法。

20

【 0 2 3 1 】

表 8 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Aleurothrixus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 3 2 】

表 8 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Aleyrodes* の代表的なものを防除する方法。

30

【 0 2 3 3 】

表 8 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Aonidiella* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 3 4 】

表 8 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む科 *Aphididae* の代表的なものを防除する方法。

40

【 0 2 3 5 】

表 9 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Aphis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 3 6 】

表 9 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Bemisia tabaci* を防除する方法。

【 0 2 3 7 】

50

表 9 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Empoasca* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 3 8 】

表 9 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Mycus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 3 9 】

表 9 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Nephotettix* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 4 0 】

表 9 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Nilaparvata* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 4 1 】

表 9 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Pseudococcus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 4 2 】

表 9 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Psylla* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 4 3 】

表 9 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Quadraspidiotus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 4 4 】

表 9 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Schizaphis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 4 5 】

表 1 0 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Trialeurodes* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 4 6 】

表 1 0 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Lyriomyza* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 4 7 】

10

20

30

40

50

表102：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Oscinellaの代表的なものを防除する方法。

【0248】

表103：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Phorbiaの代表的なものを防除する方法。

【0249】

表104：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Frankliniellaの代表的なものを防除する方法。

【0250】

表105：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Thripsの代表的なものを防除する方法。

【0251】

表106：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含むScirtothrips aurantiiを防除する方法。

【0252】

表107：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Aceriaの代表的なものを防除する方法。

【0253】

表108：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Aculusの代表的なものを防除する方法。

【0254】

表109：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Brevipalpusの代表的なものを防除する方法。

【0255】

表110：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Panonychusの代表的なものを防除する方法。

【0256】

表111：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属Phyllocoptrutaの代表的なものを防除する方法。

【0257】

10

20

30

40

50

表 1 1 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Tetranychus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 5 8 】

表 1 1 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Heterodera* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 5 9 】

表 1 1 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Meloidogyne* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 6 0 】

表 1 1 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのチアメトキサムの適用を含む属 *Mamestra brassica* を防除する方法。

【 0 2 6 1 】

表 1 1 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Adoxophyes* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 6 2 】

表 1 1 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Agrotis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 6 3 】

表 1 1 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含むアラバマ *argillaceae* を防除する方法。

【 0 2 6 4 】

表 1 1 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Anticarsia gemmatalis* を防除する方法。

【 0 2 6 5 】

表 1 2 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Chilo* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 6 6 】

表 1 2 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Clysia ambiguella* を防除する方法。

【 0 2 6 7 】

10

20

30

40

50

表 1 2 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Cnephalocrocis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 6 8 】

表 1 2 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Crocidolomia binotalis* を防除する方法。

【 0 2 6 9 】

表 1 2 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Cydia* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 7 0 】

表 1 2 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Diparopsis castanea* を防除する方法。

【 0 2 7 1 】

表 1 2 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Earias* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 7 2 】

表 1 2 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Ephestia* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 7 3 】

表 1 2 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Heliothis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 7 4 】

表 1 2 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Helicella undalis* を防除する方法。

【 0 2 7 5 】

表 1 3 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Keiferia lycopersicella* を防除する方法。

【 0 2 7 6 】

表 1 3 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Leucoptera scitella* を防除する方法。

【 0 2 7 7 】

10

20

30

40

50

表 1 3 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Lithocolletis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 7 8 】

表 1 3 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Lobesia botrana* を防除する方法。

【 0 2 7 9 】

表 1 3 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Ostrinia nubialalis* を防除する方法。

【 0 2 8 0 】

表 1 3 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Pandemis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 8 1 】

表 1 3 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Pectinophora gossypiella* を防除する方法。

【 0 2 8 2 】

表 1 3 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Phyllocnistis citrella* を防除する方法。

【 0 2 8 3 】

表 1 3 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Pieris* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 8 4 】

表 1 3 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Plutella xylostella* を防除する方法。

【 0 2 8 5 】

表 1 4 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Scirpophaga* を防除する方法。

【 0 2 8 6 】

表 1 4 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Sesamia* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 8 7 】

10

20

30

40

50

表 1 4 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Sparganothis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 8 8 】

表 1 4 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Spodoptera* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 8 9 】

表 1 4 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Tortrix* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 9 0 】

表 1 4 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Trichoplusia ni* を防除する方法。

【 0 2 9 1 】

表 1 4 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Agriotes* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 9 2 】

表 1 4 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Anthonomus grandis* を防除する方法。

【 0 2 9 3 】

表 1 4 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Curculio* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 9 4 】

表 1 4 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Diabrotica balteata* を防除する方法。

【 0 2 9 5 】

表 1 5 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Leptinotarsa* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 9 6 】

表 1 5 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Lissorhoptrus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 9 7 】

10

20

30

40

50

表 1 5 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Otiorhynchus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 9 8 】

表 1 5 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Aleurothrixus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 2 9 9 】

表 1 5 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Aleyrodes* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 0 0 】

表 1 5 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Aonidiella* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 0 1 】

表 1 5 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む科 *Aphididae* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 0 2 】

表 1 5 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Aphis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 0 3 】

表 1 5 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Bemisia tabaci* を防除する方法。

【 0 3 0 4 】

表 1 5 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Empoasca* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 0 5 】

表 1 6 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Mycus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 0 6 】

表 1 6 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Nephotettix* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 0 7 】

10

20

30

40

50

表 1 6 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Nilaparvata* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 0 8 】

表 1 6 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Pseudococcus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 0 9 】

表 1 6 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Psylla* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 1 0 】

表 1 6 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Quadraspidotus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 1 1 】

表 1 6 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Schizaphis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 1 2 】

表 1 6 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Trialeurodes* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 1 3 】

表 1 6 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Lyriomyza* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 1 4 】

表 1 6 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Oscinella* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 1 5 】

表 1 7 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Phorbia* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 1 6 】

表 1 7 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Frankliniella* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 1 7 】

10

20

30

40

50

表 1 7 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Thrips* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 1 8 】

表 1 7 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む *Scirtothrips aurantii* を防除する方法。

【 0 3 1 9 】

表 1 7 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Aceria* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 2 0 】

表 1 7 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Aculus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 2 1 】

表 1 7 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Brevipalpus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 2 2 】

表 1 7 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Panonychus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 2 3 】

表 1 7 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む科 *Phyllocoptruta* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 2 4 】

表 1 7 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Tetranychus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 2 5 】

表 1 8 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Heterodera* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 2 6 】

表 1 8 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのイミダクロプリドの適用を含む属 *Meloidogyne* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 2 7 】

10

20

30

40

50

表182：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのTi-435の適用を含む属Adoxophyesの代表的なものを防除する方法。

【0328】

表183：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのTi-435の適用を含む属Agrotisの代表的なものを防除する方法。

【0329】

表184：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのTi-435の適用を含むアラバマargillaceaeを防除する方法。

【0330】

表185：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのTi-435の適用を含むAnticarsia gemmatalisを防除する方法。

【0331】

表186：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのTi-435の適用を含む属Chiloの代表的なものを防除する方法。

【0332】

表187：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのTi-435の適用を含むClysia ambiguellaを防除する方法。

【0333】

表188：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのTi-435の適用を含むCrocidolomia binotalisを防除する方法。

【0334】

表189：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのTi-435の適用を含む属Cydiaの代表的なものを防除する方法。

【0335】

表190：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのTi-435の適用を含むDiparopsis castaneaを防除する方法。

【0336】

表191：形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表CのラインC.1～C.108のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物へのTi-435の適用を含む属Eariasの代表的なものを防除する方法。

【0337】

10

20

30

40

50

表 1 9 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Ephestia* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 3 8 】

表 1 9 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Heliothis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 3 9 】

表 1 9 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Hellula undalis* を防除する方法。

【 0 3 4 0 】

表 1 9 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Keiferia lycopersicella* を防除する方法。

【 0 3 4 1 】

表 1 9 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Leucoptera scitella* を防除する方法。

【 0 3 4 2 】

表 1 9 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Lithocolletis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 4 3 】

表 1 9 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Lobesia botrana* を防除する方法。

【 0 3 4 4 】

表 1 9 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Ostrinia nubialalis* を防除する方法。

【 0 3 4 5 】

表 2 0 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Pandemis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 4 6 】

表 2 0 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Pectinophora gossypiella* を防除する方法。

【 0 3 4 7 】

表 2 0 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草

10

20

30

40

50

剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Phyllocnistis citrella* を防除する方法。

【 0 3 4 8 】

表 2 0 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Pieris* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 4 9 】

表 2 0 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Plutella xylostella* を防除する方法。

10

【 0 3 5 0 】

表 2 0 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Scirpophaga* を防除する方法。

【 0 3 5 1 】

表 2 0 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Sesamia* の代表的なものを防除する方法。

20

【 0 3 5 2 】

表 2 0 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Sparganothis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 5 3 】

表 2 0 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Spodoptera* の代表的なものを防除する方法。

30

【 0 3 5 4 】

表 2 0 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Tortrix* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 5 5 】

表 2 1 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Trichoplusia ni* を防除する方法。

40

【 0 3 5 6 】

表 2 1 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Agriotes* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 5 7 】

表 2 1 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Anthonomus grandis* を防除する方法。

50

【 0 3 5 8 】

表 2 1 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Curculio* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 5 9 】

表 2 1 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Diabrotica balteata* を防除する方法。

10

【 0 3 6 0 】

表 2 1 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Leptinotarsa* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 6 1 】

表 2 1 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Lissorhoptus* の代表的なものを防除する方法。

20

【 0 3 6 2 】

表 2 1 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Otiorhynchus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 6 3 】

表 2 1 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Aleurothrixus* の代表的なものを防除する方法。

30

【 0 3 6 4 】

表 2 1 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Aleyrodes* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 6 5 】

表 2 2 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Aonidiella* の代表的なものを防除する方法。

40

【 0 3 6 6 】

表 2 2 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む科 *Aphididae* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 6 7 】

表 2 2 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Aphis* の代表的なものを防除する方法。

50

【 0 3 6 8 】

表 2 2 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Bemisia tabaci* を防除する方法。

【 0 3 6 9 】

表 2 2 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Empoasca* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 7 0 】

表 2 2 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Mycus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 7 1 】

表 2 2 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Nephotettix* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 7 2 】

表 2 2 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Nilaparvata* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 7 3 】

表 2 2 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Pseudococcus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 7 4 】

表 2 2 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Psylla* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 7 5 】

表 2 3 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Quadraspidiotus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 7 6 】

表 2 3 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Schizaphis* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 7 7 】

表 2 3 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Trialeurodes* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 7 8 】

10

20

30

40

50

表 2 3 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Lyriomyza* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 7 9 】

表 2 3 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Oscinella* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 8 0 】

表 2 3 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Phorbia* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 8 1 】

表 2 3 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Frankliniella* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 8 2 】

表 2 3 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Thrips* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 8 3 】

表 2 3 8 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む *Scirtothrips aurantii* を防除する方法。

【 0 3 8 4 】

表 2 3 9 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Aceria* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 8 5 】

表 2 4 0 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Aculus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 8 6 】

表 2 4 1 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Brevipalpus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 8 7 】

表 2 4 2 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 *Panonychus* の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 8 8 】

10

20

30

40

50

表 2 4 3 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む科 Phyllocoptruta の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 8 9 】

表 2 4 4 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 Tetranychus の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 9 0 】

表 2 4 5 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 Heterodera の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 9 1 】

表 2 4 6 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 Meloidogyne の代表的なものを防除する方法。

【 0 3 9 2 】

表 2 4 7 : 形質転換植物により発現された活性の原理と、有害生物に対して保護されるべき作物との組合せが、表 C のライン C . 1 ~ C . 1 0 8 のいずれか一つに対応する、除草剤耐性の形質転換作物への T i - 4 3 5 の適用を含む属 Mamestra brassica を防除する方法。

【 0 3 9 3 】

例 B 1 : Anthonomus grandis 成虫、Spodoptera littoralis または Heliothis virescens に対する作用

- エンドトキシン CryIIIA を発現している形質転換の若い綿植物を、100、50、10、5、1 ppm のイミダクロプリドをそれぞれ含む水性エマルジョンスプレー混合物でスプレーする。そのスプレーコーティングが乾いた後、10匹の Anthonomus grandis 成虫、10匹の Spodoptera littoralis 幼虫または10匹の Heliothis virescens 幼虫を綿植物にそれぞれ植え付け、プラスチックの容器内に導入する。3~10日後に評価を行う。個体群におけるパーセンテージ低減または摂食ダメージにおけるパーセンテージ低減(%作用)は、形質転換の綿植物上で死滅した甲虫類および摂食ダメージの数を、イミダクロプリドおよび従来の CryIIIA - 毒を個々の場合に100、50、10、5、1 ppm の濃度でそれぞれ含むエマルジョンスプレー混合物で処理した非形質転換の綿植物上でのそれと比較することにより決定する。

【 0 3 9 4 】

このテストにおいて、形質転換の植物においてテストされた虫の防除は、非形質転換の植物におけるものより優れている。

【 0 3 9 5 】

例 B 2 : Anthonomus grandis 成虫、Spodoptera littoralis または Heliothis virescens に対する作用

- エンドトキシン CryIIIA を発現している形質転換の若い綿植物を、100、50、10、5、1 ppm のチアメトキサムをそれぞれ含む水性エマルジョンスプレー混合物でスプレーする。そのスプレーコーティングが乾いた後、綿植物に10匹の Anthonomus grandis 成虫、10匹の Spodoptera littoralis 幼虫または10匹の Heliothis virescens 幼虫をそれぞれ植え付け、プラスチックの容器内に導入する。3~10日後に評価を行う。個体群におけるパーセンテージ低減または摂食ダメージにおけるパーセンテージ低減(%作用)は、形質転換の綿植物上で死滅した甲虫類および摂食ダメージの数を、チアメトキ

10

20

30

40

50

サムおよび従来のCryIIIA-毒を個々の場合に100、50、10、5、1ppmの濃度でそれぞれ含むエマルジョンスプレー混合物で処理した非形質転換の綿植物上でのそれと比較することにより決定する。

【0396】

このテストにおいて、形質転換の植物においてテストされた虫の防除は優れており、他方、非形質転換の植物におけるそれは不十分である。

【0397】

例B3: Anthonomus grandis成虫、Spodoptera littoralis またはHeliothis virescens に対する作用

- エンドトキシン CryIIIAを発現している形質転換の若い綿植物を、100、50、10、5、1ppmのTi-435をそれぞれ含む水性エマルジョンスプレー混合物でスプレーする。そのスプレーコーティングが乾いた後、綿植物に10匹のAnthonomus grandis成虫、10匹のSpodoptera littoralis 幼虫または10匹のHeliothis virescens 幼虫をそれぞれ植え付け、プラスチックの容器内に導入する。3~10日後に評価を行う。個体群におけるパーセンテージ低減または摂食ダメージにおけるパーセンテージ低減(%作用)は、形質転換の綿植物上で死滅した甲虫類および摂食ダメージの数を、Ti-435および従来のCryIIIA-毒を個々の場合に100、50、10、5、1ppmの濃度でそれぞれ含むエマルジョンスプレー混合物で処理した非形質転換の綿植物上でのそれと比較することにより決定する。

10

【0398】

このテストにおいて、形質転換の植物においてテストされた虫の防除は優れており、他方、非形質転換の植物におけるそれは不十分である。

20

【0399】

例B4: Anthonomus grandis成虫、Spodoptera littoralis またはHeliothis virescens に対する作用

- エンドトキシン CryI(c)を発現している形質転換の若い綿植物を、100、50、10、5、1ppmのTi-435をそれぞれ含む水性エマルジョンスプレー混合物でスプレーする。そのスプレーコーティングが乾いた後、綿植物に10匹のAnthonomus grandis成虫、10匹のSpodoptera littoralis 幼虫または10匹のHeliothis virescens 幼虫をそれぞれ植え付け、プラスチックの容器内に導入する。3~10日後に評価を行う。個体群におけるパーセンテージ低減または摂食ダメージにおけるパーセンテージ低減(%作用)は、形質転換の綿植物上で死滅した甲虫類および摂食ダメージの数を、Ti-435および従来のCryIIIA-毒を個々の場合に100、50、10、5、1ppmの濃度でそれぞれ含むエマルジョンスプレー混合物で処理した非形質転換の綿植物上でのそれと比較することにより決定する。

30

【0400】

このテストにおいて、形質転換の植物においてテストされた虫の防除は優れており、他方、非形質転換の植物におけるそれは不十分である。

【0401】

例B5: Anthonomus grandis成虫、Spodoptera littoralis またはHeliothis virescens に対する作用

40

- エンドトキシン CryI(c)を発現している形質転換の若い綿植物を、100、50、10、5、1ppmのチアメトキサムをそれぞれ含む水性エマルジョンスプレー混合物でスプレーする。そのスプレーコーティングが乾いた後、綿植物に10匹のAnthonomus grandis成虫、10匹のSpodoptera littoralis 幼虫または10匹のHeliothis virescens 幼虫をそれぞれ植え付け、プラスチックの容器内に導入する。3~10日後に評価を行う。個体群におけるパーセンテージ低減または摂食ダメージにおけるパーセンテージ低減(%作用)は、形質転換の綿植物上で死滅した甲虫類および摂食ダメージの数を、チアメトキサムおよび従来のCryIIIA-毒を個々の場合に100、50、10、5、1ppmの濃度でそれぞれ含むエマルジョンスプレー混合物で処理した非形質転換の綿植物上

50

でのそれと比較することにより決定する。

【0402】

このテストにおいて、形質転換の植物においてテストされた虫の防除は優れており、他方、非形質転換の植物におけるそれは不十分である。

【0403】

例 B 6 : Anthonomus grandis 成虫、Spodoptera littoralis または Heliothis virescens に対する作用

- エンドトキシン Cryla (c) を発現している形質転換の若い綿植物を、100、50、10、5、1 ppm のイミダクロプリドをそれぞれ含む水性エマルジョンスプレー混合物でスプレーする。そのスプレーコーティングが乾いた後、綿植物に10匹の *Anthonomus grandis* 成虫、10匹の *Spodoptera littoralis* 幼虫または10匹の *Heliothis virescens* 幼虫をそれぞれ植え付け、プラスチックの容器内に導入する。3~10日後に評価を行う。個体群におけるパーセンテージ低減または摂食ダメージにおけるパーセンテージ低減(%作用)は、形質転換の綿植物上で死滅した甲虫類および摂食ダメージの数を、イミダクロプリドおよび従来の Cry I I I A - 毒を個々の場合に100、50、10、5、1 ppm の濃度でそれぞれ含むエマルジョンスプレー混合物で処理した非形質転換の綿植物上でのそれと比較することにより決定する。

【0404】

このテストにおいて、形質転換の植物においてテストされた虫の防除は優れており、他方、非形質転換の植物におけるそれは不十分である。

【0405】

例 B 7 : Ostrinia nubilalis、Spodoptera 種または Heliothis 種に対する作用

共に自然の *Ostrinia nubilalis*、*Spodoptera* 種または *Heliothis* による侵襲を示しているトウモロコシ品種 Knockout (登録商標) を植えた区画 (a) と、従来のトウモロコシを植えた同じサイズの隣接の区画 (b) とを、200、100、50、10、5、1 ppm の Ti - 435 を含む水性エマルジョンスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画 (b) を、Knockout (登録商標) により発現されたエンドトキシンの200、100、50、10、5、1 ppm を含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。評価を、6日後に行う。個体群におけるパーセンテージ低減(%作用)は、区画 (a) の植物上で死滅した有害生物の数を、区画 (b) の植物上のそれと比較することにより決定する。

【0406】

Ostrinia nubilalis、*Spodoptera* 種または *Heliothis* の改善された防除が区画 (a) の植物上で観察され、他方、区画 (b) は60%以下の防除レベルを示す。

【0407】

例 B 8 : Ostrinia nubilalis、Spodoptera 種または Heliothis 種に対する作用

共に自然の *Ostrinia nubilalis*、*Spodoptera* 種または *Heliothis* による侵襲を示しているトウモロコシ品種 Knockout (登録商標) を植えた区画 (a) と、従来のトウモロコシを植えた同じサイズの隣接の区画 (b) とを、200、100、50、10、5、1 ppm のチアメトキサムを含む水性エマルジョンスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画 (b) を、Knockout (登録商標) により発現されたエンドトキシンの200、100、50、10、5、1 ppm を含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。評価を、6日後に行う。個体群におけるパーセンテージ低減(%作用)は、区画 (a) の植物上で死滅した有害生物の数を、区画 (b) の植物上のそれと比較することにより決定する。

【0408】

Ostrinia nubilalis、*Spodoptera* 種または *Heliothis* の改善された防除が区画 (a) の植物上で観察され、他方、区画 (b) は60%以下の防除レベルを示す。

【0409】

例 B 9 : Ostrinia nubilalis、Spodoptera 種または Heliothis 種に対する作用

共に自然の *Ostrinia nubilalis*、*Spodoptera* 種または *Heliothis* による侵襲を示しているトウモロコシ品種 Knockout (登録商標) を植えた区画 (a) と、従来のトウモロコシを

10

20

30

40

50

植えた同じサイズの隣接の区画 (b) とを、 2 0 0 、 1 0 0 、 5 0 、 1 0 、 5 、 1 p p m のイミダクロプリドを含む水性エマルジョンスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画 (b) を、 Knockout (登録商標) により発現されたエンドトキシンの 2 0 0 、 1 0 0 、 5 0 、 1 0 、 5 、 1 p p m を含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。評価を、 6 日後に行う。個体群におけるパーセンテージ低減 (% 作用) は、区画 (a) の植物上で死滅した有害生物の数を、区画 (b) の植物上のそれと比較することにより決定する。

【 0 4 1 0 】

Ostrinia nubilalis、Spodoptera種またはHeliothis の改善された防除が区画 (a) の植物上で観察され、他方、区画 (b) は 6 0 % 以下の防除レベルを示す。

【 0 4 1 1 】

例 B 1 0 : Diabrotica balteata に対する作用

トウモロコシ品種 Knockout (登録商標) の実生を植えた区画 (a) と、従来のトウモロコシを植えた同じサイズの隣接の区画 (b) とを、 4 0 0 p p m のチアメトキサムを含む水性エマルジョンスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画 (b) を、 Knockout (登録商標) により発現されたエンドトキシンの 4 0 0 p p m を含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。スプレーコーティングが乾燥した後、それらの実生に 1 0 匹の第 2 期の Diabrotica balteata 幼虫を植え付け、プラスチック容器に移す。6 日後に、そのテストを評価する。個体群におけるパーセンテージ低減 (% 作用) は、区画 (a) の植物上で死滅した有害生物の数を、区画 (b) の植物上のそれと比較することにより決定する。

【 0 4 1 2 】

Diabrotica balteata の改善された防除が区画 (a) の植物上で観察され、他方、区画 (b) は 6 0 % 以下の防除レベルを示す。

【 0 4 1 3 】

例 B 1 1 : Aphis gossypii に対する作用

区画 (a) 上で - エンドトキシン C r y III a を発現している区画 (a) 上の綿の実生と、区画 (b) 上の従来の綿の実生とに、Aphis gossypii を感染させ、続いてそれらを 4 0 0 p p m のチアメトキサムを含むスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画 (b) を、 - エンドトキシン C r y III a の 4 0 0 p p m を含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。それらの実生を、次いで 2 0 でインキュベートする。そのテストを、 3 日および 6 日後に評価する。

【 0 4 1 4 】

個体群におけるパーセンテージ低減 (% 作用) は、区画 (a) の植物上で死滅した有害生物の数を、区画 (b) の植物上のそれと比較することにより決定する。Aphis gossypii の改善された防除が区画 (a) の植物上で観察され、他方、区画 (b) は 6 0 % 以下の防除レベルを示す。

【 0 4 1 5 】

例 B 1 2 : Frankliniella occidentalis に対する作用

区画 (a) 上の - エンドトキシン C r y III a を発現している綿の実生と、区画 (b) 上の従来の綿の実生とに、Frankliniella occidentalis を感染させ、続いてそれらを 4 0 0 p p m のチアメトキサムを含むスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画 (b) を、 - エンドトキシン C r y III a の 4 0 0 p p m を含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。それらの実生を、次いで 2 0 でインキュベートする。そのテストを、 3 日および 6 日後に評価する。

【 0 4 1 6 】

個体群におけるパーセンテージ低減 (% 作用) は、区画 (a) の植物上で死滅した有害生物の数を、区画 (b) の植物上のそれと比較することにより決定する。Frankliniella occidentalis の改善された防除が区画 (a) の植物上で観察され、他方、区画 (b) は 6 0 % 以下の防除レベルを示す。

【 0 4 1 7 】

例 B 1 3 : Aphis gossypii に対する作用

10

20

30

40

50

区画 (a) 上の - エンドトキシン *CryIA(c)* を発現している綿の実生と、区画 (b) 上の従来の綿の実生とに、*Aphis gossypii* を感染させ、続いてそれらを 400 ppm のチアメトキサムを含むスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画 (b) を、 - エンドトキシン *CryIIIa* の 400 ppm を含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。それらの実生を、次いで 20 でインキュベートする。そのテストを、3日および6日後に評価する。

【0418】

個体群におけるパーセンテージ低減 (% 作用) は、区画 (a) の植物上で死滅した有害生物の数を、区画 (b) の植物上のそれと比較することにより決定する。*Aphis gossypii* の改善された防除が区画 (a) の植物上で観察され、他方、区画 (b) は 60 % 以下の防除レベルを示す。

10

【0419】

例 B 1 4 : *Frankliniella occidentalis* に対する作用

区画 (a) 上の - エンドトキシン *CryIA(c)* を発現している綿の実生と、区画 (b) 上の従来の綿の実生とに、*Frankliniella occidentalis* を感染させ、続いてそれらを 400 ppm のチアメトキサムを含むスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画 (b) を、 - エンドトキシン *CryIA(c)* の 400 ppm を含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。それらの実生を、次いで 20 でインキュベートする。そのテストを、3日および6日後に評価する。

【0420】

20

個体群におけるパーセンテージ低減 (% 作用) は、区画 (a) の植物上で死滅した有害生物の数を、区画 (b) の植物上のそれと比較することにより決定する。*Frankliniella occidentalis* の改善された防除が区画 (a) の植物上で観察され、他方、区画 (b) は 60 % 以下の防除レベルを示す。

【0421】

例 B 1 5 : *Nephotettix cincticeps* に対する作用

区画 (a) 上の - エンドトキシン *CryIA(b)* を発現しているイネ植物と、区画 (b) 上の従来のイネ植物とを 400 ppm のチアメトキサムを含むスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画 (b) を、 - エンドトキシン *CryIA(b)* 400 ppm を含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。スプレーコーティングが乾燥した後、それらの植物を第2期および第3期の *Nephotettix cincticeps* で感染させる。区画 (a) および (b) の実生を、次いで 20 でインキュベートする。そのテストを、21日後に評価する。

30

【0422】

個体群におけるパーセンテージ低減 (% 作用) は、区画 (a) の植物上で死滅した有害生物の数を、区画 (b) の植物上のそれと比較することにより決定する。*Nephotettix cincticeps* の改善された防除が区画 (a) の植物上で観察され、他方、区画 (b) は 60 % 以下の防除レベルを示す。

【0423】

例 B 1 6 : *Nephotettix cincticeps* に対する作用 (全身的)

40

- エンドトキシン *CryIA(b)* を発現しているイネ植物をポット (a) に植え、従来のイネ植物をポット (b) に植える。ポット (a) を、400 ppm のチアメトキサムを含む水性エマルジョン中に配置し、他方、区画 (b) を、400 ppm のチアメトキサムおよび 400 ppm の - エンドトキシン *CryI(b)* を含むポット中に配置する。それらの植物を、続いて第2期および第3期の *Nephotettix cincticeps* 幼虫で感染させる。6日後に、そのテストを評価する。

【0424】

個体群におけるパーセンテージ低減 (% 作用) は、ポット (a) の植物上で死滅した有害生物の数を、ポット (b) の植物上のそれと比較することにより決定する。*Nephotettix cincticeps* の改善された防除がポット (a) の植物上で観察され、他方、ポット (b)

50

は60%以下の防除レベルを示す。

【0425】

例B17：Nilaparvata lugensに対する作用

区画(a)上の - エンドトキシンCryIA(b)を発現しているイネ植物と、区画(b)上の従来のイネ植物とをNilaparvata lugensで感染させ、続いて400ppmのチアメトキサムを含むスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画(b)を、400ppmの - エンドトキシンCryIA(b)を含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。区画(a)および(b)の実生を20 でインキュベートする。そのテストを、21日後に評価する。

【0426】

個体群におけるパーセンテージ低減(%作用)は、区画(a)の植物上で死滅した有害生物の数を、区画(b)の植物上のそれと比較することにより決定する。Nilaparvata lugensの改善された防除が区画(a)の植物上で観察され、他方、区画(b)は60%以下の防除レベルを示す。

【0427】

例B18：Nilaparvata lugensに対する作用(全身的)

- エンドトキシンCryIA(b)を発現しているイネ植物を、ポット(a)に植え、従来のイネ植物をポット(b)に植える。ポット(a)を、400ppmのチアメトキサムを含む水性エマルジョン中に配置し、他方、区画(b)を、400ppmのチアメトキサムおよび400ppmの - エンドトキシンCryIA(b)を含むポット中に配置する。それらの植物を、続いて第2期および第3期のNilaparvata lugens幼虫で感染させる。6日後に、そのテストを評価する。

【0428】

個体群におけるパーセンテージ低減(%作用)は、ポット(a)の植物上で死滅した有害生物の数を、ポット(b)の植物上のそれと比較することにより決定する。Nilaparvata lugensの改善された防除がポット(a)の植物上で観察され、他方、ポット(b)は60%以下の防除レベルを示す。

【0429】

例B19：Nephotettix cincticepsに対する作用

区画(a)上の - エンドトキシンCryIA(c)を発現しているイネ植物と、区画(b)上の従来のイネ植物とを400ppmのチアメトキサムを含むスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画(b)を、 - エンドトキシンCryIA(c)400ppmを含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。スプレーコーティングが乾燥した後、それらの植物を第2期および第3期のNephotettix cincticepsで感染させる。区画(a)および(b)の実生を、次いで20 でインキュベートする。そのテストを、21日後に評価する。

【0430】

個体群におけるパーセンテージ低減(%作用)は、区画(a)の植物上で死滅した有害生物の数を、区画(b)の植物上のそれと比較することにより決定する。Nephotettix cincticepsの改善された防除が区画(a)の植物上で観察され、他方、区画(b)は60%以下の防除レベルを示す。

【0431】

例B20：Nephotettix cincticepsに対する作用(全身的)

- エンドトキシンCryIA(c)を発現しているイネ植物を、ポット(a)に植え、従来のイネ植物をポット(b)に植える。ポット(a)を、400ppmのチアメトキサムを含む水性エマルジョン中に配置し、他方、区画(b)を、400ppmのチアメトキサムおよび400ppmの - エンドトキシンCryI(b)を含むポット中に配置する。それらの植物を、続いて第2期および第3期のNephotettix cincticeps幼虫で感染させる。6日後に、そのテストを評価する。

【0432】

10

20

30

40

50

個体群におけるパーセンテージ低減（%作用）は、ポット（a）の植物上で死滅した有害生物の数を、ポット（b）の植物上のそれと比較することにより決定する。Nephotettix cincticepsの改善された防除がポット（a）の植物上で観察され、他方、ポット（b）は60%以下の防除レベルを示す。

【0433】

例B21：Nilaparvata lugensに対する作用

区画（a）上の - エンドトキシンCryIA（c）を発現しているイネ植物と、区画（b）上の従来のイネ植物とをNilaparvata lugensで感染させ、続いて400ppmのチアメトキサムを含むスプレー混合物でスプレーする。その直後に、区画（b）を、400ppmの - エンドトキシンCryIA（c）を含むエマルジョンスプレー混合物で処理する。区画（a）および（b）の実生を20でインキュベートする。そのテストを、21日後に評価する。

10

【0434】

個体群におけるパーセンテージ低減（%作用）は、区画（a）の植物上で死滅した有害生物の数を、区画（b）の植物上のそれと比較することにより決定する。Nilaparvata lugensの改善された防除が区画（a）の植物上で観察され、他方、区画（b）は60%以下の防除レベルを示す。

【0435】

例B22：Nilaparvata lugensに対する作用（全身的）

- エンドトキシンCryIA（c）を発現しているイネ植物をポット（a）に植え、従来のイネ植物をポット（b）に植える。ポット（a）を、400ppmのチアメトキサムを含む水性エマルジョン中に配置し、他方、区画（b）を、400ppmのチアメトキサムおよび400ppmの - エンドトキシンCryIA（c）を含むポット中に配置する。それらの植物を、続いて第2期および第3期のNilaparvata lugens幼虫で感染させる。6日後に、そのテストを評価する。

20

【0436】

個体群におけるパーセンテージ低減（%作用）は、ポット（a）の植物上で死滅した有害生物の数を、ポット（b）の植物上のそれと比較することにより決定する。Nephotettix cincticepsの改善された防除がポット（a）の植物上で観察され、他方、ポット（b）は60%以下の防除レベルを示す。

30

フロントページの続き

- (74)代理人 100111903
弁理士 永坂 友康
- (74)代理人 100082898
弁理士 西山 雅也
- (74)代理人 100081330
弁理士 樋口 外治
- (72)発明者 リー, ブルース
ドイツ連邦共和国, デー - 7 9 1 8 9 パート クロツィンゲン, シュバルツバルトシュトラッセ
3 4 ベー
- (72)発明者 ズッター, マリウス
スイス国, ツェーハー - 4 1 0 2, ビニンゲン, マルガレーテンシュトラッセ 7 5
- (72)発明者 ブホルツァー, フーベルト
スイス国, ツェーハー - 4 1 0 2, ビニンゲン, ブリュエデルホルツライン 4 2 エー

審査官 今井 周一郎

- (56)参考文献 特開平 0 6 - 1 8 3 9 1 8 (J P , A)
国際公開第 9 7 / 0 4 5 0 1 7 (W O , A 1)
特開平 0 8 - 2 5 2 0 9 2 (J P , A)
特開平 0 7 - 2 7 8 0 9 4 (J P , A)
国際公開第 9 7 / 0 1 3 4 0 2 (W O , A 1)
特開平 0 7 - 2 8 5 8 1 8 (J P , A)
特開平 0 7 - 0 5 9 4 1 1 (J P , A)

- (58)調査した分野(Int.Cl., D B 名)
A01N 47/44